

6 尼崎市の住宅・住環境に関する調査結果

(1) 尼崎市の住宅・住環境に関する市民アンケート調査結果

1) アンケート調査の概要

○調査目的：市民の居住実態や住宅選択の状況、住宅・住環境に関する意識・意向などを把握し、住宅マスタープラン改定に向けた基礎資料とする。

○調査対象：市内に住む世帯の世帯主 2,000 世帯

(回答者の居住地・年齢等が偏らないように考慮して抽出)

※調査対象の抽出方法

条件 1	条件 2	条件 3						行政区	合計
世帯主	生年月日	中央	小田	大庄	立花	武庫	園田	全地区	-
	20 歳代	50	72	51	103	72	91	439	2,000
	30 歳代	38	54	38	77	54	68	329	
	40 歳代	47	68	48	97	69	87	416	
	50 歳代	33	47	33	67	47	59	286	
	60 歳代以上	61	87	61	124	87	110	530	

○調査期間：令和元年 8 月 14 日（水）～ 9 月 1 日（日）

○調査方法：郵送配布・郵送回収

○配布数/回収率：配布 2,000 世帯、回収数 506 世帯（回収率 25.3%）

○集計について

・各調査項目について単純集計を行ったうえで、「世帯属性」「地域別」「新規転居者」の軸でクロス集計を行っている。

■世帯属性

若中年単身世帯：「65 歳未満の単身世帯」

高齢者世帯：「65 歳以上の単身世帯」又は「どちらかあるいは両方が 65 歳以上の夫婦のみ世帯」

子育て世帯：「一番年下の子が中学生以下のファミリー世帯」

■地域別

住まいから最も近い鉄道路線「阪急」「JR」「阪神」

■新規転居者

市外転入者：「尼崎市の居住期間5年以下」かつ「直前居住地が市外」

持家購入者：「尼崎市の居住期間10年以下」かつ「現在の住まいが持家（戸建て・マンション）」

※自己所有のみ。親族所有は含まない

2) アンケート分析結果

- ・特徴的な調査結果について分析を行い、市民の居住実態や住宅選択の状況、住宅・住環境に関する意識・意向等の特徴の整理を行う。

【1】回答者の基本属性

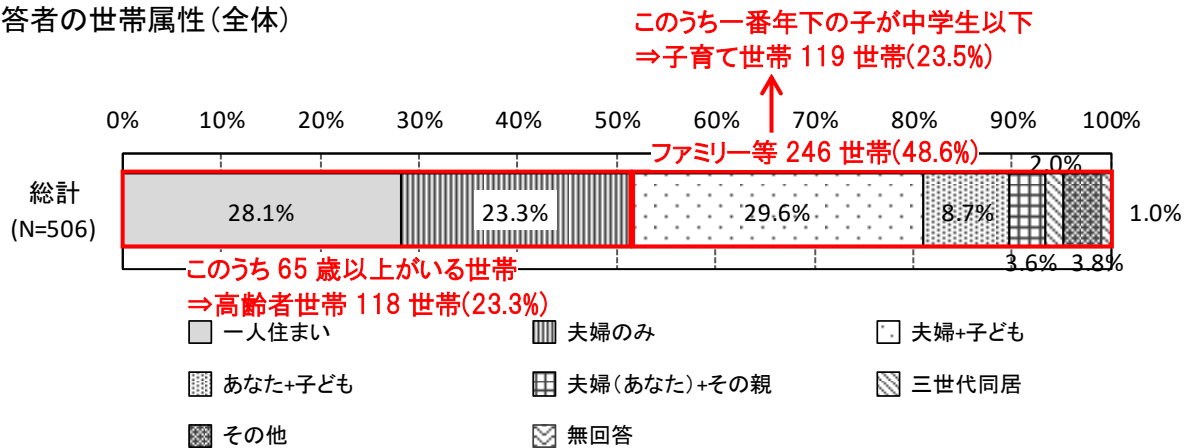
①回答者の世帯属性と居住している住宅種別

○世帯属性は「夫婦+子ども」が 29.6%、「一人住まい」が 28.1%、「夫婦のみ」が 23.3%。
このうち、「若中年単身世帯(65歳未満)」(18.0%)、一番年下の子が中学生以下の「子育て世帯」(23.5%)、「高齢者世帯」(23.3%)に注目して以降の分析を行っている。

○さらに住宅種別を見ると、全体では「民間賃貸住宅」が 35.0%、「戸建住宅」が 33.6%。

- ・若中年単身世帯は「民間賃貸住宅(65.9%)」が中心となっている。
- ・子育て世帯は「戸建住宅(39.5%)」「民間賃貸住宅(36.1%)」が中心となっている。
- ・高齢者世帯は「戸建住宅(43.2%)」が中心となっている。

■回答者の世帯属性(全体)



■回答者の世帯属性と居住している住宅種別(全体)

(全体を 100%とした割合)

	戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身 若中年★	5	11	60	15	91
それ以外	16	7	20	8	51
夫婦のみ	47	22	36	13	118
ファミ 子育て世帯★	47	19	43	10	119
リ-等 それ以外	55	36	18	18	127
計	170	95	177	64	506

	戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身 若中年★	1.0%	2.2%	11.9%	3.0%	18.0%
それ以外	3.2%	1.4%	4.0%	1.6%	10.1%
夫婦のみ	9.3%	4.3%	7.1%	2.6%	23.3%
ファミ 子育て世帯★	9.3%	3.8%	8.5%	2.0%	23.5%
リ-等 それ以外	10.9%	7.1%	3.6%	3.6%	25.1%
計	33.6%	18.8%	35.0%	12.6%	100.0%

(再掲)高齢者世帯★	戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
	51	20	30	17	118

(再掲)高齢者世帯★	戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
	10.1%	4.0%	5.9%	3.4%	23.3%

※「★」はこれ以降の分析のクロス集計軸として用いている世帯種別

※「ファミリー等」は[夫婦+子ども][あなた+子ども][夫婦(あなた)+その親][三世代同居][その他][不明]の合計

※「戸建」「マンション」は[自己所有][親族所有]の合計、「民間賃貸」は[戸建て][マンション・アパート・長屋]の合計

※「高齢者世帯」は「単身-それ以外」「夫婦のみ」と重複している。

(各世帯属性の合計を 100%とした割合)

	戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身 若中年★	5.5%	12.1%	65.9%	16.5%	100.0%
それ以外	31.4%	13.7%	39.2%	15.7%	100.0%
夫婦のみ	39.8%	18.6%	30.5%	11.0%	100.0%
ファミ 子育て世帯★	39.5%	16.0%	36.1%	8.4%	100.0%
リ-等 それ以外	43.3%	28.3%	14.2%	14.2%	100.0%
計	33.6%	18.8%	35.0%	12.6%	100.0%

(再掲)高齢者世帯★	戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
	43.2%	16.9%	25.4%	14.4%	100.0%

○沿線別に見ると、

- ・ 阪急沿線は、「民間賃貸住宅」割合が高く、若中年単身世帯だけでなく、民間賃貸住宅に居住する「子育て世帯」割合も比較的高い。
- ・ JR沿線は、「マンション」割合が高く、特にマンションに居住する「ファミリー等」の割合が高い。
- ・ 阪神沿線は、大きくは回答者全体の傾向と変わらないが、やや「戸建」割合が高く、なかでも戸建住宅に居住する「夫婦のみ」「ファミリー等」の割合が高い。

■地域(沿線)ごとの回答者の世帯属性と居住している住宅種別

【阪急】

(全体を100%とした割合)

		戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身	若中年★	1	4	30	3	38
	それ以外	7	3	12	3	25
夫婦のみ		16	8	17	6	47
ファミ	子育て世帯★	19	5	23	6	53
リ等	それ以外	28	6	5	5	44
計		71	26	87	23	207

		戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身	若中年★	0.5%	1.9%	14.5%	1.4%	18.4%
	それ以外	3.4%	1.4%	5.8%	1.4%	12.1%
夫婦のみ		7.7%	3.9%	8.2%	2.9%	22.7%
ファミ	子育て世帯★	9.2%	2.4%	11.1%	2.9%	25.6%
リ等	それ以外	13.5%	2.9%	2.4%	2.4%	21.3%
計		34.3%	12.6%	42.0%	11.1%	100.0%

(再掲)高齢者世帯★	19	8	16	7	50
------------	----	---	----	---	----

(再掲)高齢者世帯★	9.2%	3.9%	7.7%	3.4%	24.2%
------------	------	------	------	------	-------

【JR】

		戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身	若中年★	2	5	18	7	32
	それ以外	5	3	3	3	14
夫婦のみ		18	10	12	5	45
ファミ	子育て世帯★	13	13	17	4	47
リ等	それ以外	15	25	7	6	53
計		53	56	57	25	191

		戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身	若中年★	1.0%	2.6%	9.4%	3.7%	16.8%
	それ以外	2.6%	1.6%	1.6%	1.6%	7.3%
夫婦のみ		9.4%	5.2%	6.3%	2.6%	23.6%
ファミ	子育て世帯★	6.8%	6.8%	8.9%	2.1%	24.6%
リ等	それ以外	7.9%	13.1%	3.7%	3.1%	27.7%
計		27.7%	29.3%	29.8%	13.1%	100.0%

(再掲)高齢者世帯★	19	10	7	7	43
------------	----	----	---	---	----

(再掲)高齢者世帯★	9.9%	5.2%	3.7%	3.7%	22.5%
------------	------	------	------	------	-------

【阪神】

		戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身	若中年★	2	2	12	5	21
	それ以外	3	1	5	2	11
夫婦のみ		13	4	7	1	25
ファミ	子育て世帯★	13	1	3	0	17
リ等	それ以外	11	5	6	5	27
計		42	13	33	13	101

		戸建	マンション	民間賃貸	その他	計
単身	若中年★	2.0%	2.0%	11.9%	5.0%	20.8%
	それ以外	3.0%	1.0%	5.0%	2.0%	10.9%
夫婦のみ		12.9%	4.0%	6.9%	1.0%	24.8%
ファミ	子育て世帯★	12.9%	1.0%	3.0%	0.0%	16.8%
リ等	それ以外	10.9%	5.0%	5.9%	5.0%	26.7%
計		41.6%	12.9%	32.7%	12.9%	100.0%

(再掲)高齢者世帯★	12	2	7	2	23
------------	----	---	---	---	----

(再掲)高齢者世帯★	11.9%	2.0%	6.9%	2.0%	22.8%
------------	-------	------	------	------	-------

○新規転居者の属性別に見ると、

- ・市外転入者は「民間賃貸住宅」割合が高く、特に民間賃貸住宅に居住する「若中年単身世帯」や「子育て世帯」の割合が高い。
- ・持家購入者は「子育て世帯」が約半数を占めている。

■新規転居者ごとの回答者の世帯属性と居住している住宅種別

【市外転入者】

(全体を 100%とした割合)

	戸建	マンション	民間賃貸	その他	
単身 若中年★	0	0	27	7	34
それ以外	0	2	2	0	4
夫婦のみ	2	1	13	5	21
ファミ 子育て世帯★	8	3	16	3	30
リ等 それ以外	1	0	7	4	12
計	11	6	65	19	101

	戸建	マンション	民間賃貸	その他	
単身 若中年★	0.0%	0.0%	26.7%	6.9%	33.7%
それ以外	0.0%	2.0%	2.0%	0.0%	4.0%
夫婦のみ	2.0%	1.0%	12.9%	5.0%	20.8%
ファミ 子育て世帯★	7.9%	3.0%	15.8%	3.0%	29.7%
リ等 それ以外	1.0%	0.0%	6.9%	4.0%	11.9%
計	10.9%	5.9%	64.4%	18.8%	100.0%

(再掲)高齢者世帯★	0	1	3	2	6
------------	---	---	---	---	---

(再掲)高齢者世帯★	0.0%	1.0%	3.0%	2.0%	5.9%
------------	------	------	------	------	------

【持家購入者】

	戸建	マンション	民間賃貸	その他	
単身 若中年★	1	5	-	-	6
それ以外	0	2	-	-	2
夫婦のみ	5	5	-	-	10
ファミ 子育て世帯★	19	11	-	-	30
リ等 それ以外	8	6	-	-	14
計	33	29	-	-	62

	戸建	マンション	民間賃貸	その他	
単身 若中年★	1.6%	8.1%	-	-	9.7%
それ以外	0.0%	3.2%	-	-	3.2%
夫婦のみ	8.1%	8.1%	-	-	16.1%
ファミ 子育て世帯★	30.6%	17.7%	-	-	48.4%
リ等 それ以外	12.9%	9.7%	-	-	22.6%
計	53.2%	46.8%	-	-	100.0%

(再掲)高齢者世帯★	0	2	0	0	2
------------	---	---	---	---	---

(再掲)高齢者世帯★	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%
------------	------	------	------	------	------

【2】住宅選択の状況

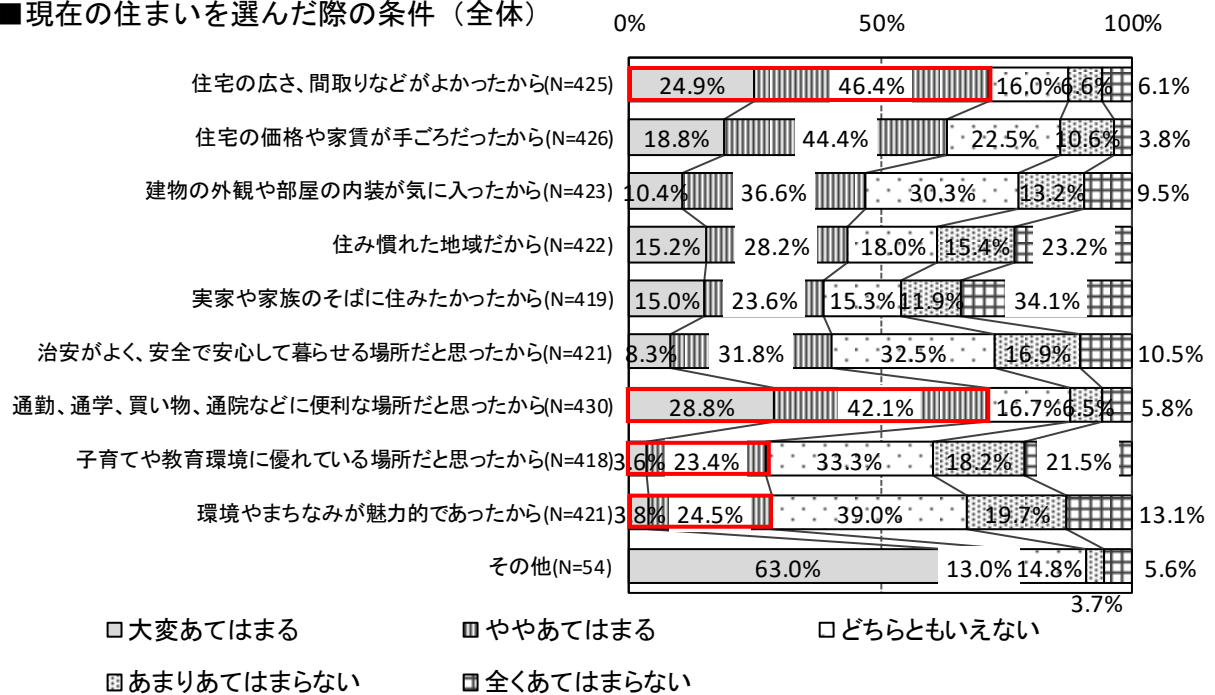
①現在の住まいを選んだ際の条件（生まれた時から現在の住まいに住んでいる世帯を除く）

○「住宅の広さ・間取り」や「通勤、通学、買い物、病院などに便利」が高い一方、現在の住まいを「子育てや教育環境」「環境やまちなみ」で選んだ割合は低い。

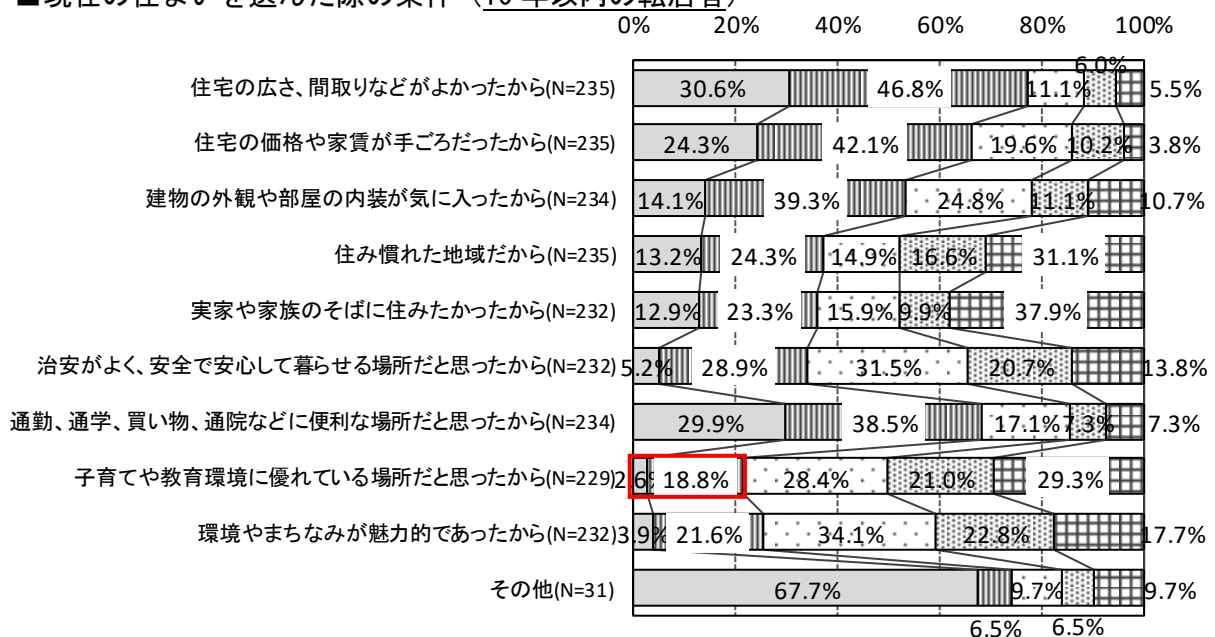
⇒生活利便性の高さという利点を生かした施策の展開が考えられる。

○10年以内の転居者に絞ると、「子育てや教育環境」の割合はさらに低い状況。

■現在の住まいを選んだ際の条件（全体）



■現在の住まいを選んだ際の条件（10年以内の転居者）

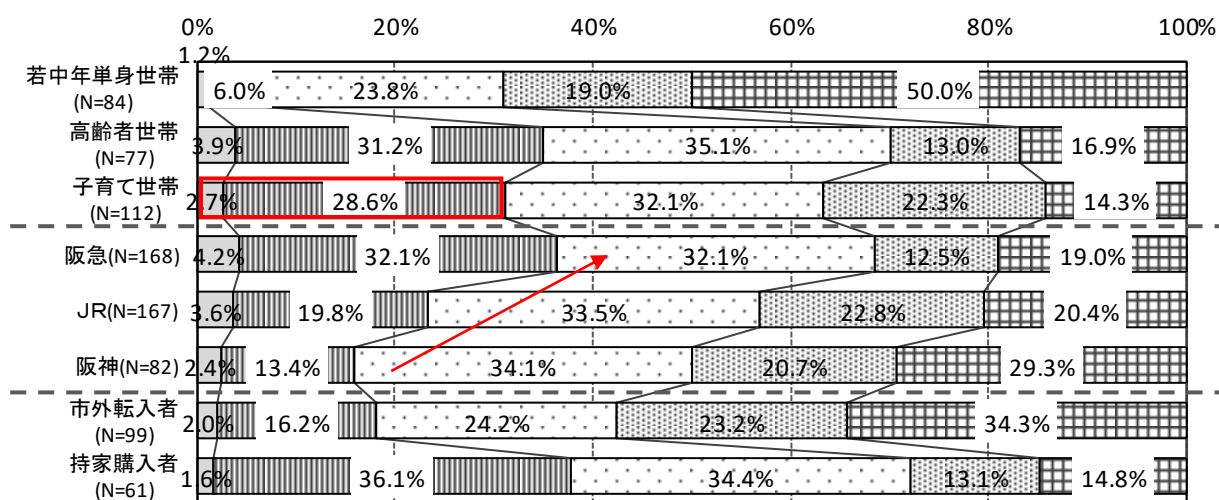


○現在の住まいを「子育てや教育環境」「環境やまちなみ」で選んだ割合は、子育て世帯に絞って見ても低調。

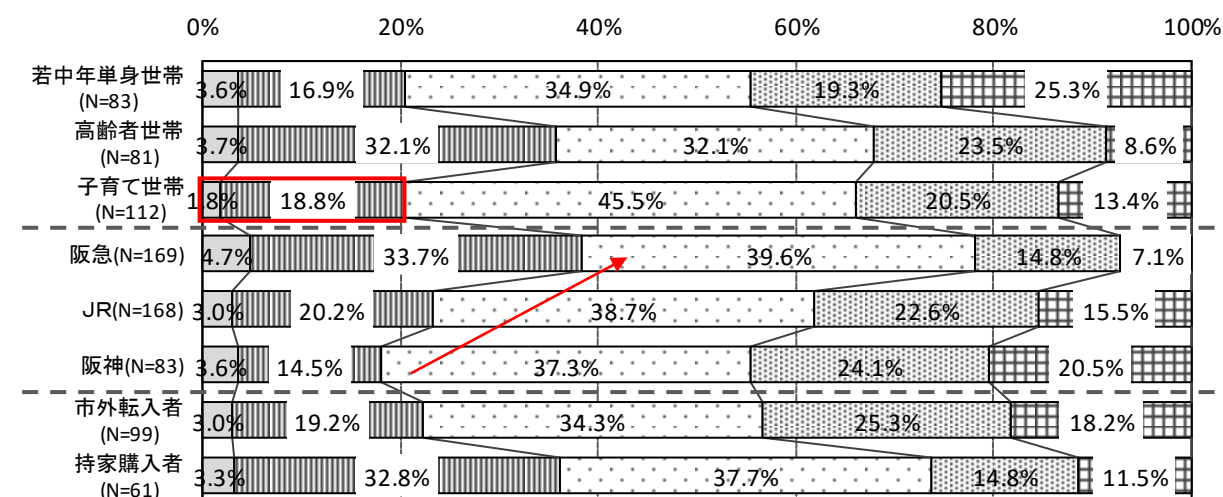
○阪神沿線から JR 沿線、阪急沿線と北に行くほど、その割合は高くなる。

⇒生活利便性の高さという利点を生かしつつ、働きながら子育てしやすいという付加価値を PR し、子育て世帯に選ばれる住まいの供給を進めていく。

■項目「子育てや教育環境に優れている場所だと思ったから」(属性別集計)



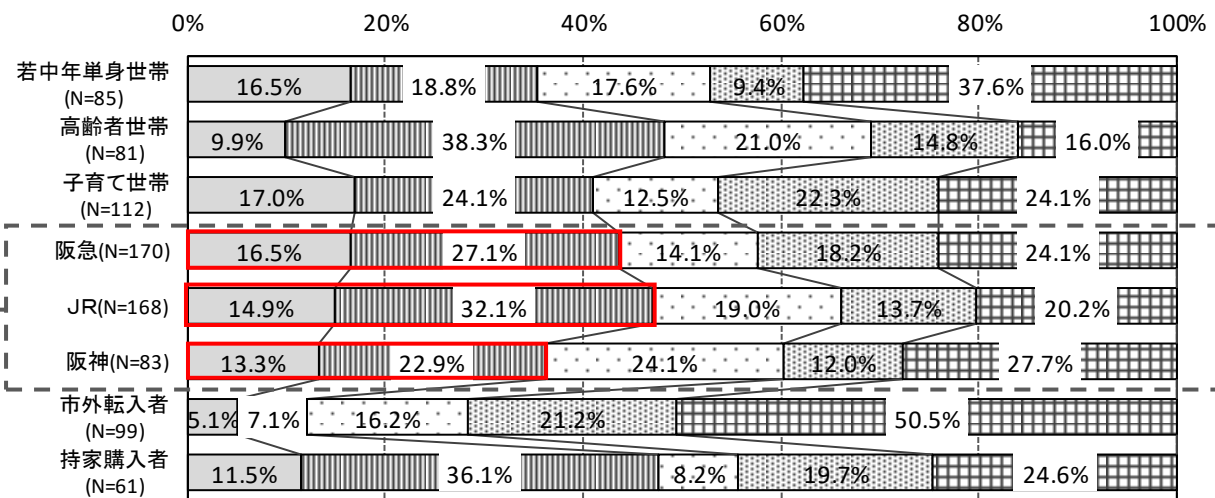
■項目「環境やまちなみが魅力的であったから」(属性別集計)



○阪神沿線に比べて、阪急・JR 沿線では「住み慣れた地域だから」現在の住まいを選んだ割合が高い。「実家や家族のそばに住みたかったから」については、どの沿線も同程度。

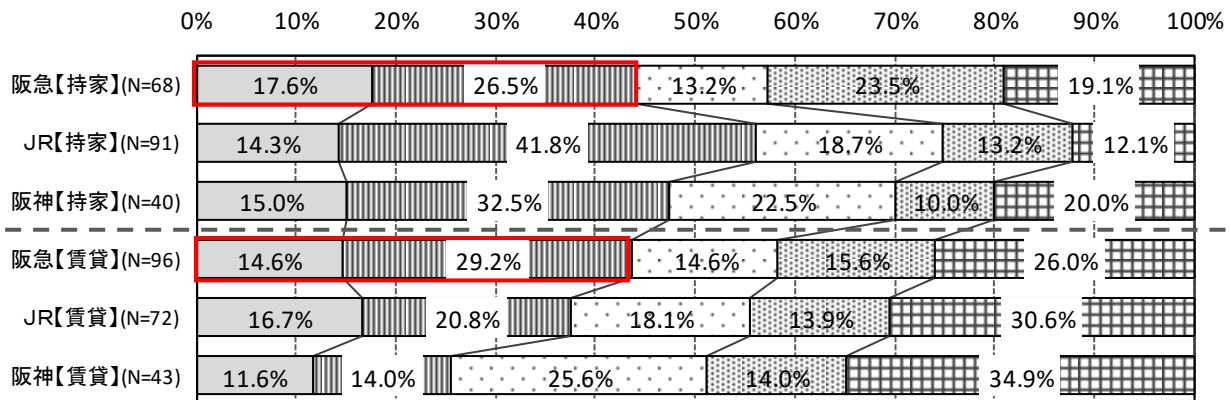
○これらの項目を選択した割合は賃貸より持家居住者のほうが高い傾向にあるが、阪急沿線の賃貸居住者については、持家と同程度の割合で「住み慣れた地域だから」現在の住まいを選んだ層がいる。

■項目「住み慣れた地域だから」（属性別集計）

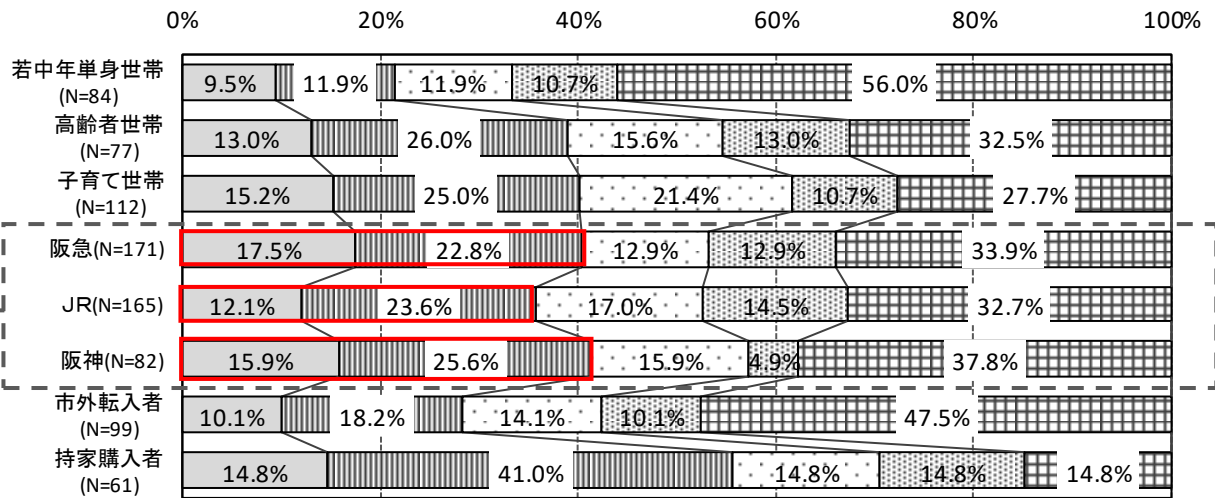


持家・賃貸別集計

■項目「住み慣れた地域だから」（沿線・持家/賃貸別集計）

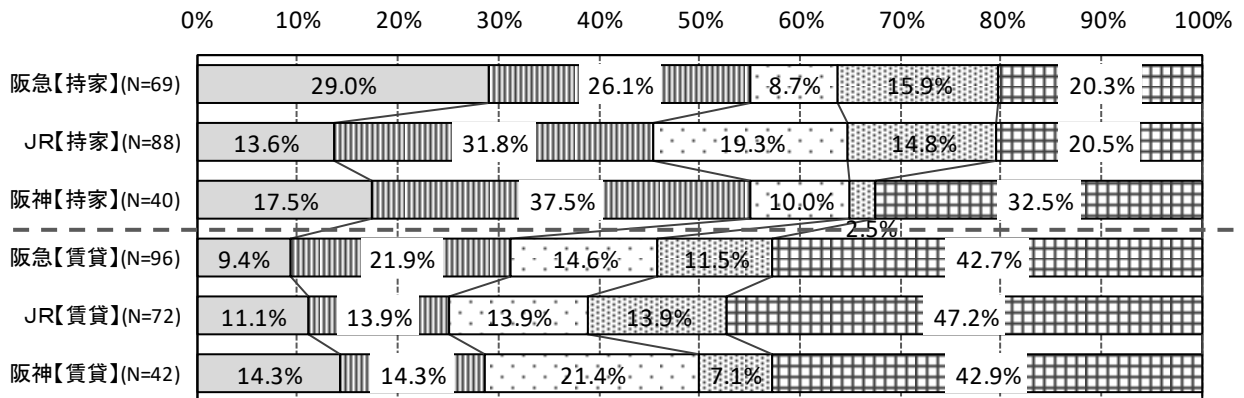


■項目「実家や家族のそばに住みたかったから」(属性別集計)



持家・賃貸別
集計

→ ■項目「実家や家族のそばに住みたかったから」(沿線・持家/賃貸別集計)



②現在の住まいの直前に住んでいた場所（生まれた時から現在の住まいに住んでいる世帯を除く）

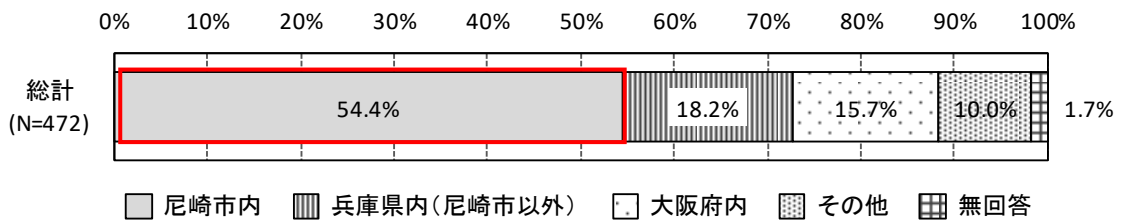
○全体でみると半数超が尼崎市内からの住み替えである。ここ10年の持家購入者で見ても、同様の傾向にある。

⇒ライフステージに応じた住まいの選択肢を用意し、市内に定住してもらえる施策が求められる。

○JR沿線では尼崎市内からの住み替え割合が高く、特に持家居住者で顕著である。

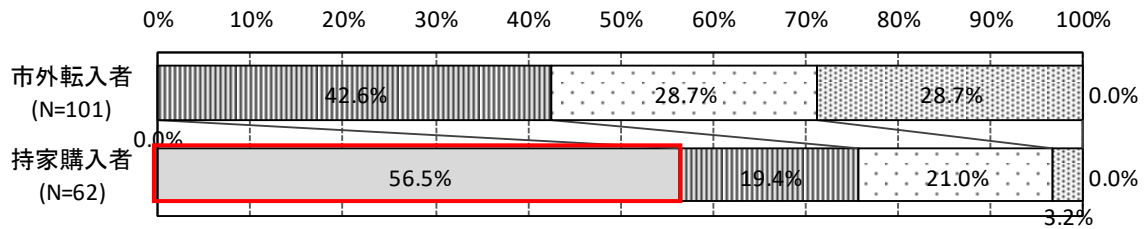
○また、阪神沿線では大阪府内からの転居の割合が他と比べて高い傾向。この傾向は持家・賃貸別で見ても変わらない。

■現在の住まいの直前に住んでいた場所（全体）

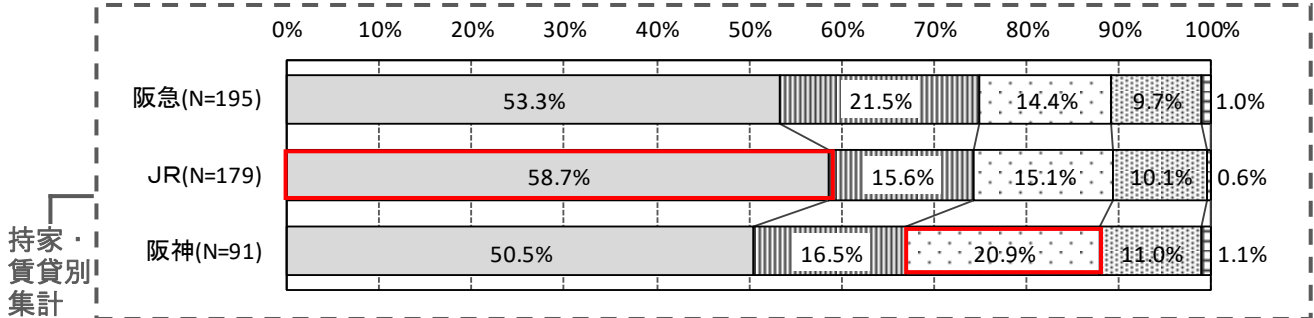


■現在の住まいの直前に住んでいた場所（属性別集計）

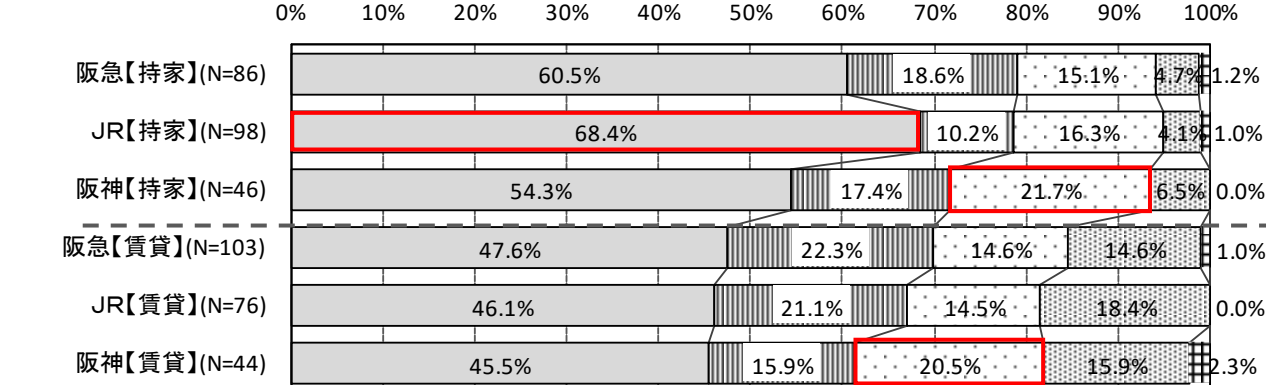
【新規転居者別】



【地域別】



【地域・持家賃貸別】



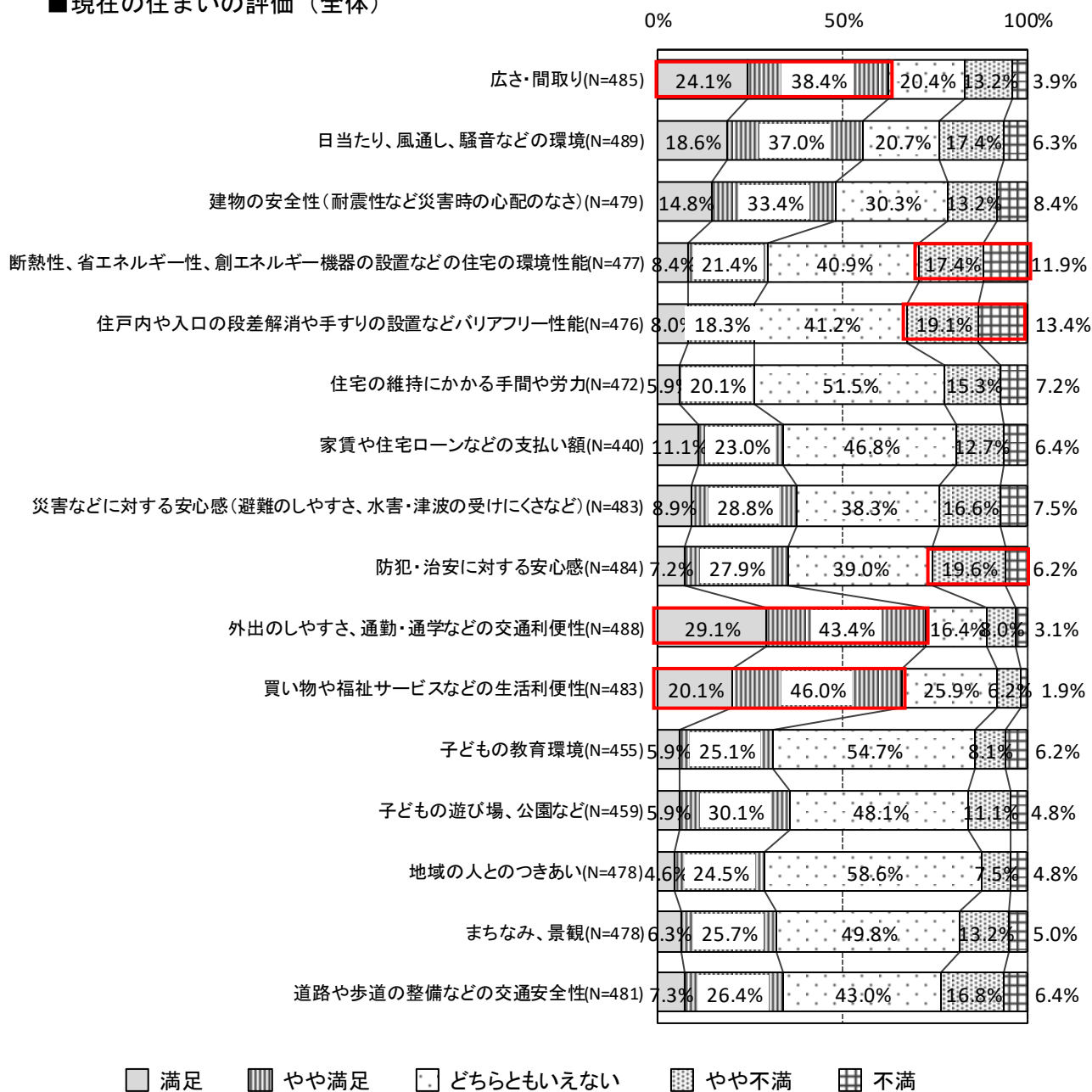
【3】住宅・住環境に対する意識

①現在の住まいの評価

○評価が高い（満足・やや満足）項目は「交通利便性」「生活利便性」「広さ・間取り」。

○評価が低い（不満・やや不満）項目は「バリアフリー性能」「断熱性、省エネルギー性、創エネルギー機器の設置などの住宅の環境性能」「防犯・治安に対する安心感」。

■現在の住まいの評価（全体）



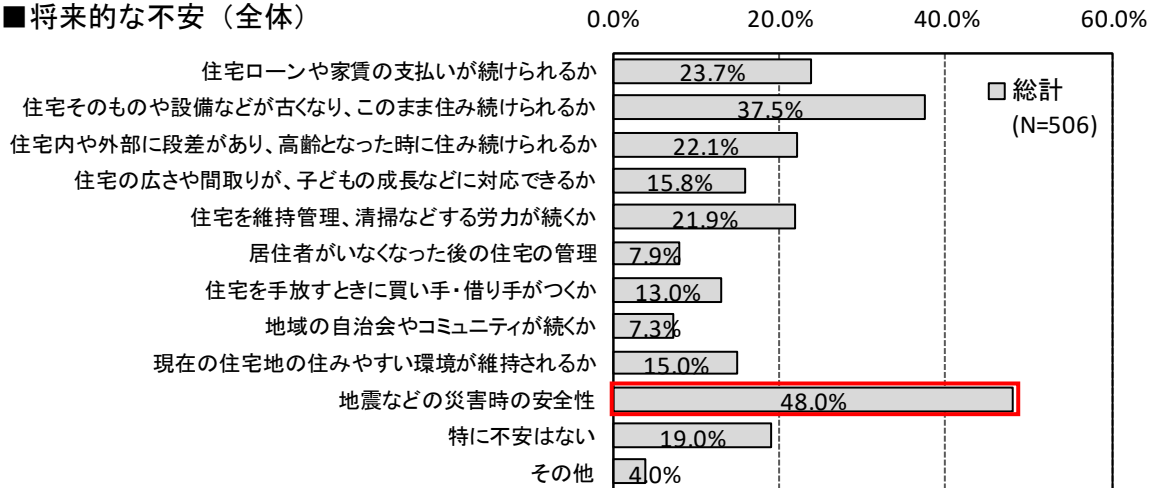
②将来的な不安

○約半数が「地震などの災害時の安全性」を不安に感じている。

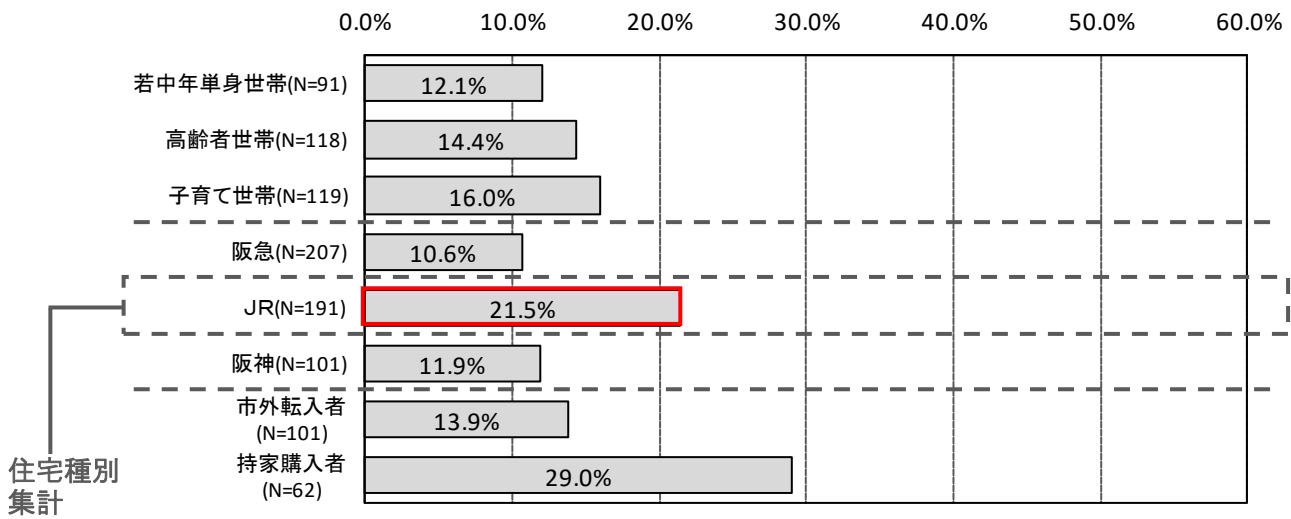
○JR 沿線では他の沿線に比べ将来にわたって「現在の住みやすい環境が維持されるか」の不安が高い。このうち4割が「自己所有のマンション（分譲マンション）居住者」であり、分譲マンションが将来にわたって、適切に維持されていくか不安に感じていると推察される。

⇒引き続き分譲マンションの適切な管理に向けた支援に取り組んでいく必要がある。

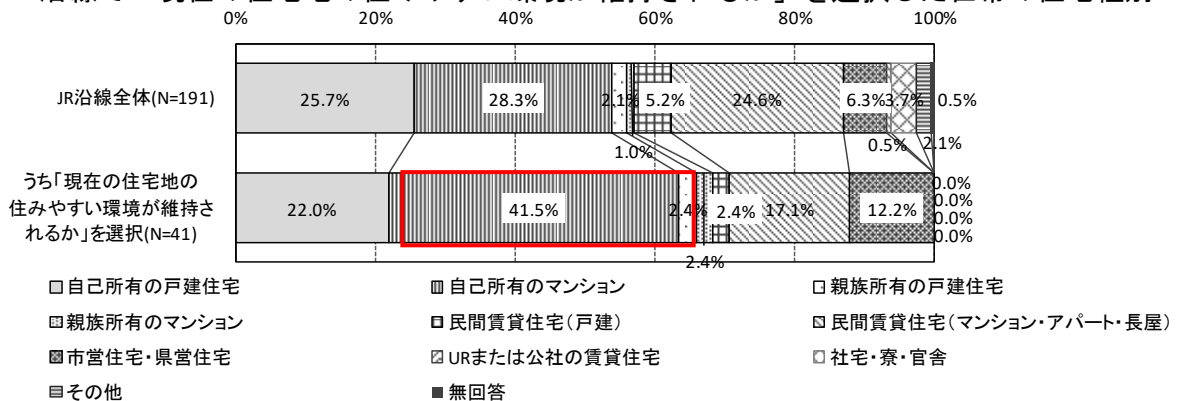
■将来的な不安（全体）



■項目「現在の住宅地の住みやすい環境が維持されるか」（属性別集計）



■JR 沿線で「現在の住宅地の住みやすい環境が維持されるか」を選択した世帯の住宅種別



【4】将来の居住継続・住み替え意向

①現在の住まいに住み続けたいか

○「できるだけ住み続けたい」は約5割。(定住意識は低め)

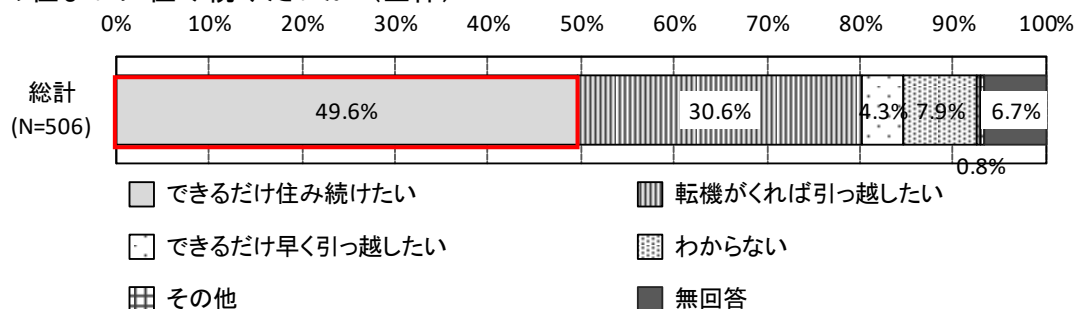
○子育て世帯の1割は「できるだけ早く引っ越したい」。この大半は、住宅の広さや間取りが子どもの成長などに対応できるか不安に思っている民間賃貸住宅居住者であり、居住年数5年未満と短めの人も多い。

⇒子育て世帯の市内定住に向けては、ファミリー向け賃貸住宅や持ち家を市内で取得しやすくすることが必要と考えられる。

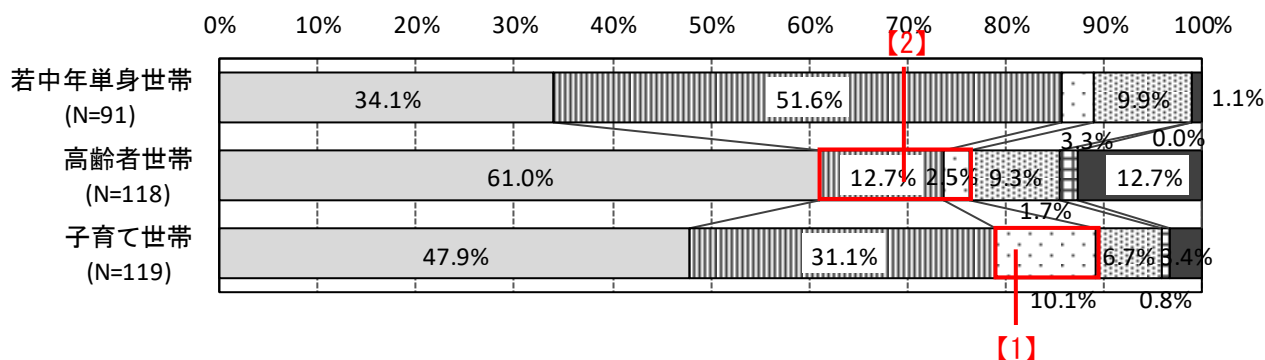
○高齢者世帯の1割強は「転機がくれば引っ越したい」および「できるだけ早く引っ越したい」。自己所有の戸建住宅・分譲マンション居住者は、比較的居住年数も長く、住宅の古さや維持管理、コミュニティが続くかを不安に思っており、賃貸住宅居住者は、住宅費負担や高齢化時のバリアフリー対応を不安に思っている。

⇒高齢者が地域に住み続けるために、暮らしを支えるコミュニティの継続支援や、住宅のバリアフリー性能を確保することが必要である。

■現在の住まいに住み続けたいか（全体）



■現在の住まいに住み続けたいか（世帯属性別）



<参考>【1】できるだけ早く引っ越したい「子育て世帯」の属性

世帯構成	同居人数	最も年下の方の就学等の状況	現在の住宅種別	最寄り駅路線	従前居住地	希望住替先	居住年数	将来的な不安
あなた+子ども	2	保育所・幼稚園等	母子支援施設	阪急	市内	市内	1	その他
あなた+子ども	2	保育所・幼稚園等	市営住宅・県営住宅	J R	市内	市内	2	住居費負担/古さ/高齢対応/災害安全
夫婦+子ども	3	未就園・未就学	民間賃貸住宅	阪急	大阪	市外	2	広さや間取り
夫婦+子ども	3	未就園・未就学	民間賃貸住宅	J R	県内	市外	3	広さや間取り/維持管理
夫婦+子ども	4	未就園・未就学	民間賃貸住宅	阪急	県内	市内	3	広さや間取り
夫婦+子ども	3	未就園・未就学	民間賃貸住宅	阪神	大阪	市外	4	広さや間取り
夫婦+子ども	5	未就園・未就学	民間賃貸住宅	阪急	大阪	市内	4	広さや間取り/古さ/災害安全
夫婦+子ども	4	未就園・未就学	民間賃貸住宅	阪急	市内	市内	5	広さや間取り
あなた+子ども	2	保育所・幼稚園等	民間賃貸住宅	阪急	市内	市外	6	広さや間取り
夫婦+子ども	5	保育所・幼稚園等	民間賃貸住宅	J R	市内	—	7	広さや間取り
夫婦+子ども	4	保育所・幼稚園等	民間賃貸住宅	J R	市内	市内	8	広さや間取り/古さ/災害安全
夫婦+子ども	4	小中学校	民間賃貸住宅(戸建)	阪急	市内	市内	34	広さや間取り/古さ/災害安全

【2】転機が来れば引っ越したい、できるだけ早く引っ越したい「高齢者世帯」の属性

世帯構成	同居人数	現在の住宅種別	最寄り駅路線	従前居住地	希望住替先	居住年数	将来的な不安
夫婦のみ	2	自己所有の戸建住宅	J R	—	—	—	古さ/維持管理/コミュニティ/その他(衛生面)
夫婦のみ	2	自己所有の戸建住宅	阪神	市内	—	14	古さ/買い手・借り手/コミュニティ/その他(近隣住民)
夫婦のみ	2	自己所有の戸建住宅	阪急	市内	—	24	住宅費負担/古さ/コミュニティ/住宅地の環境/災害安全
一人住まい	1	自己所有の戸建住宅	阪急	市内	—	25	高齢対応/維持管理/退去後の住宅管理/買い手・借り手/コミュニティ/災害安全/その他(高齢)
夫婦のみ	2	自己所有の戸建住宅	阪急	県内	市外	40	古さ/高齢対応/維持管理/災害安全
一人住まい	1	自己所有の戸建住宅	阪急	市内	—	68	古さ/高齢対応/維持管理/災害安全/その他(税金)
一人住まい	1	自己所有のマンション	阪神	大阪	市外	12	住宅費負担/古さ/高齢対応/維持管理/コミュニティ
一人住まい	1	自己所有のマンション	J R	県内	市外	38	古さ/買い手・借り手/災害安全
一人住まい	1	民間賃貸住宅	阪急	市内	—	2	住宅費負担/古さ/高齢対応/広さや間取り/維持管理
夫婦のみ	2	民間賃貸住宅	阪急	市内	市内	2	住宅費負担
一人住まい	1	民間賃貸住宅	阪神	その他	市内	4	住宅費負担/古さ/災害安全
一人住まい	1	民間賃貸住宅	阪急	市内	—	4	住宅費負担/高齢対応/環境/災害安全
一人住まい	1	民間賃貸住宅	J R	市内	市外	15	住宅費負担/古さ/高齢対応/災害安全
夫婦のみ	2	民間賃貸住宅(戸建)	阪神	その他	市内	20	住宅費負担/古さ/高齢対応/維持管理/退去後の住宅管理/コミュニティ/住宅地の環境/災害安全
一人住まい	1	民間賃貸住宅	阪急	県内	—	25	特ご不安はない
夫婦のみ	2	市営住宅・県営住宅	J R	市内	市外	0	古さ/高齢対応/住宅地の環境/災害安全
夫婦のみ	2	URまたは公社の賃貸住宅	阪急	大阪	市外	2	住宅費負担
一人住まい	1	市営住宅・県営住宅	阪神	市内	市外	9	特ご不安はない

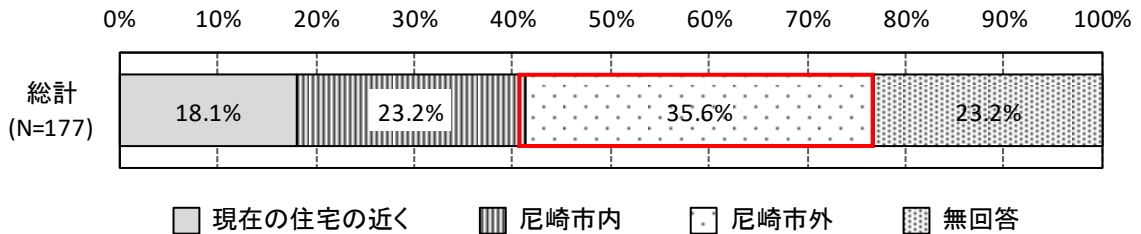
②引っ越し先の希望場所（転機がくれば引っ越したい、できるだけ早く引っ越したいと回答した世帯）

○引っ越し先の希望は「尼崎市外」が最も多く、4割弱を占める。

○「現在の住宅の近く+尼崎市外」を希望する世帯を比較すると、

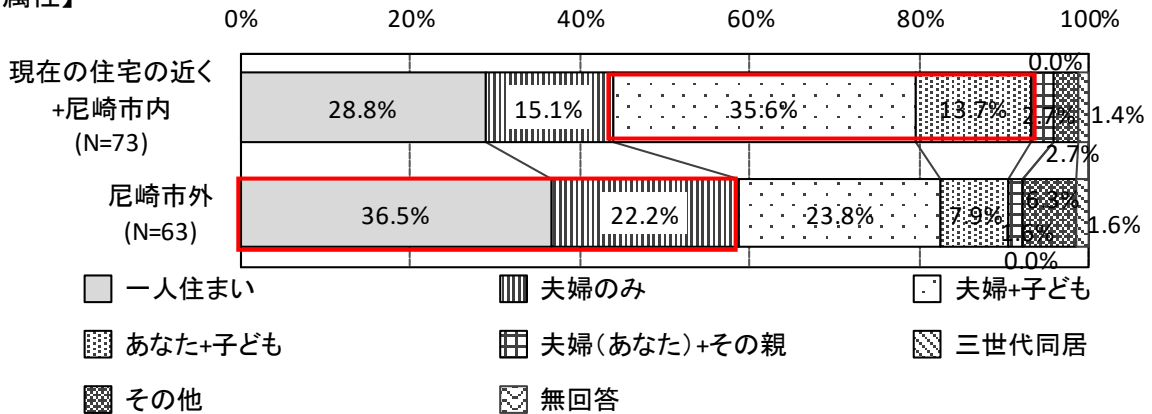
- ・「現在の住宅の近く+尼崎市外」を希望する世帯は、ファミリー世帯や低年収世帯（世帯年収200万円未満）割合が比較的高く、「いい住宅が見つかったら」「資金が貯まったら」引っ越したい意向を持っている。
- ・「尼崎市外」を希望する世帯は、単身世帯や夫婦のみ世帯の割合が比較的高く、「いい住宅が見つかったら」だけでなく「転勤など仕事の都合」「結婚」「子どもの成長」「子どもの就学」などのタイミングで引っ越したい意向を持っている。
- ・「現在の住宅の近く+尼崎市外」と「尼崎市外」で、現在の住まいの満足度に大きな差はない。つまり、必ずしも現在の住宅・住環境への不満から「尼崎市外」を希望しているわけではないと考えられる。

■引っ越し先の希望場所（全体）

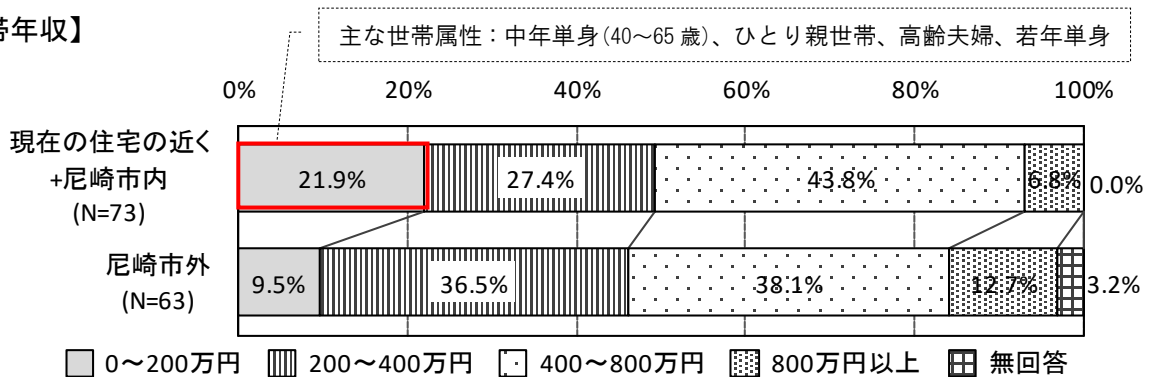


■引っ越し先の希望場所「現在の住宅の近く+尼崎市外」別 集計

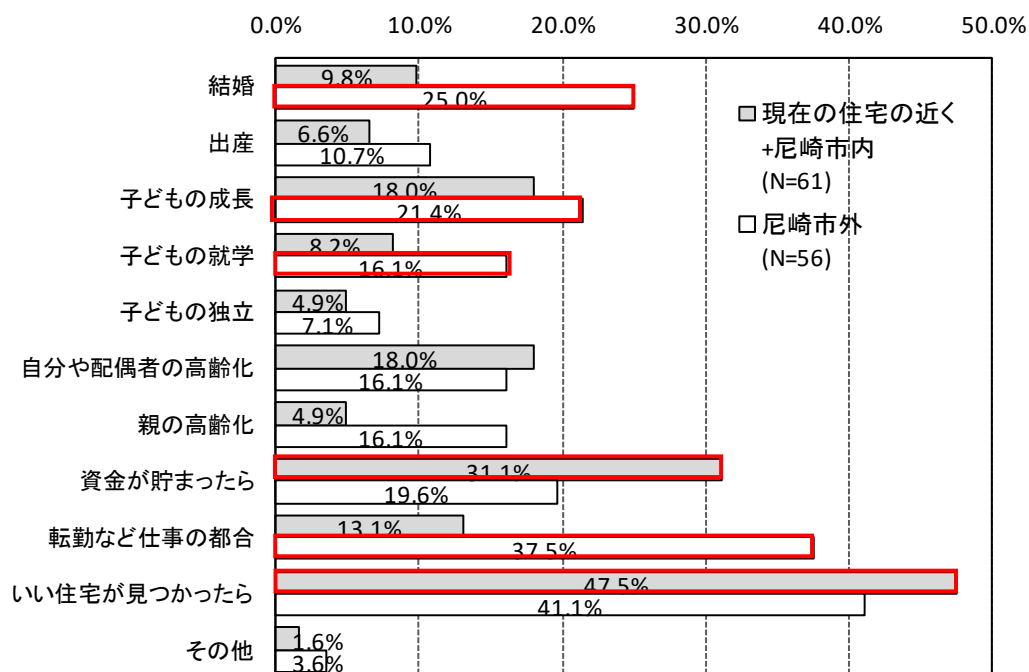
【世帯属性】



【世帯年収】



【どのような転機で引っ越すか】（転機がくれば引っ越したいと回答した世帯のみ）



【現在の住まいの評価】（平均値※）

	平均値		平均値の 差(B-A)
	現在の住 宅の近く+ 尼崎市 (A)	尼崎市外 (B)	
広さ・間取り	4.43	4.39	-0.04
日当たり、風通し、騒音などの環境	4.41	4.42	0.01
建物の安全性(耐震性など災害時の心配のなさ)	4.42	4.38	-0.05
断熱性、省エネルギー性、創エネルギー機器の設置などの住宅の環境性能	3.92	3.81	-0.10
住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能	3.66	3.45	-0.21
住宅の維持にかかる手間や労力	3.77	3.85	0.08
家賃や住宅ローンなどの支払い額	4.54	4.29	-0.25
災害などに対する安心感(避難のしやすさ、水害・津波の受けにくさなど)	4.28	4.16	-0.13
防犯・治安に対する安心感	4.45	4.33	-0.12
外出のしやすさ、通勤・通学などの交通利便性	4.38	4.35	-0.03
買い物や福祉サービスなどの生活利便性	4.28	4.34	0.06
子どもの教育環境	3.44	3.48	0.04
子どもの遊び場、公園など	3.37	3.48	0.11
地域の人とのつきあい	3.25	3.25	0.00
まちなみ、景観	3.63	3.58	-0.05
道路や歩道の整備などの交通安全性	3.92	3.98	0.07

※満足度の回答について各回答を下記のように得点化し算出した平均得点

「大変あてはまる」 = 5点	「ややあてはまる」 = 4点	「どちらともいえない」 = 3点
「あまりあてはまらない」 = 2点	「全くあてはまらない」 = 1点	

③引っ越し先の希望住宅種別（転機がくれば引っ越したい、できるだけ早く引っ越したいと回答した世帯）

○「民間賃貸住宅」の割合が最も高いが、「中古のマンション」や「中古の戸建住宅」も選択肢として一定挙げられている。

○引っ越し先の希望場所が「現在の住宅の近く+尼崎市外」「尼崎市外」別で見ると、

・「現在の住宅の近く+尼崎市外」を希望する世帯は「民間賃貸住宅」割合が顕著に高い。また、低年収世帯が比較的多いこともあり「市営住宅・県営住宅」を希望する割合も高い。

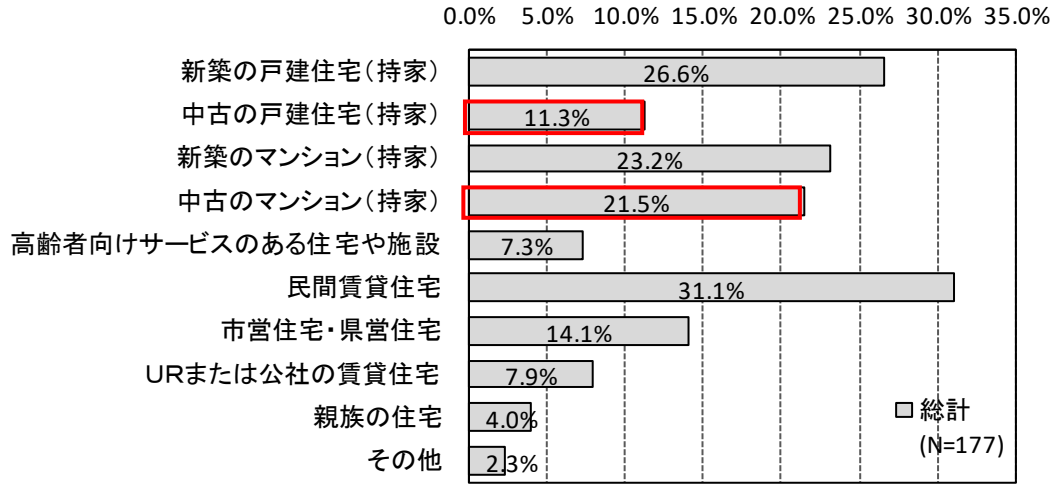
・「尼崎市外」を希望する世帯は、「結婚」「子どもの成長就学」をきっかけに引っ越したい層が比較的多いこともあり「新築マンション(持家)」割合が顕著に高い。逆に見ると、市内に希望に合う新築マンションがないため尼崎市外を希望しているとも考えられる。

・「住宅の購入」の種別について、割合の高い順を見ると、「現在の住宅の近く+尼崎市外」を希望する世帯は、「新築の戸建住宅」に次いで「中古マンション」が多く挙げられてる。

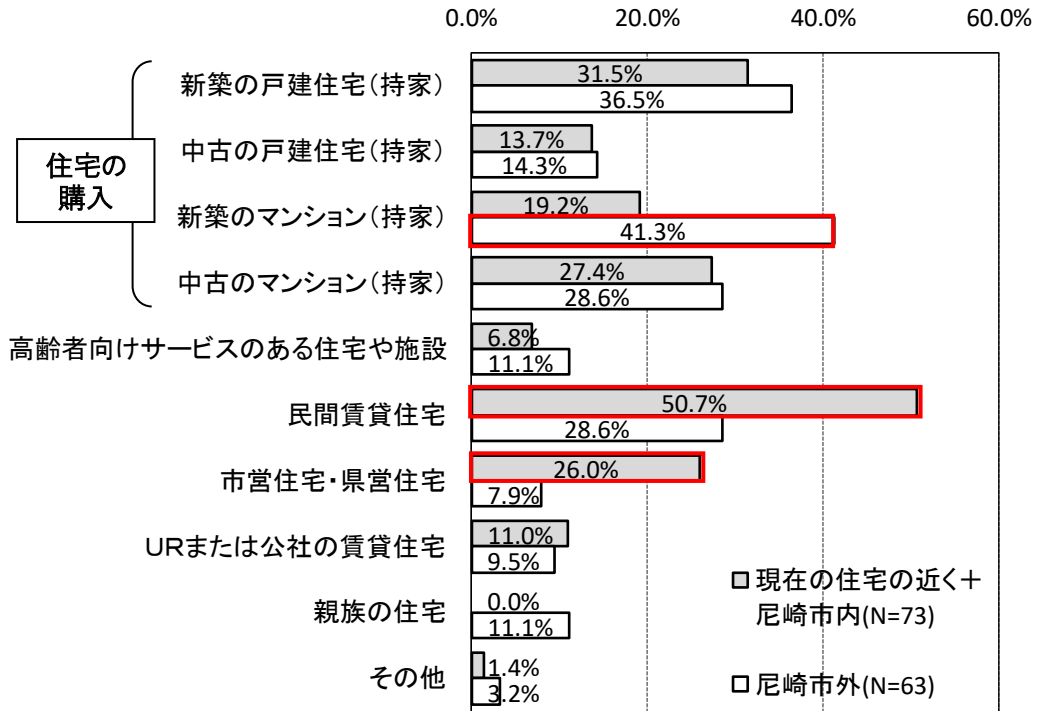
「尼崎市外」 ①新築のマンション②新築の戸建住宅③中古のマンション④中古の戸建住宅

「現在の住宅の近く+尼崎市外」 ①新築の戸建住宅②中古のマンション③新築のマンション④中古の戸建住宅

■引越し先の希望住宅種別（全体）



■引越し先の希望住宅種別（引越し先の希望場所「現在の住宅の近く+尼崎市内」「尼崎市外」別）

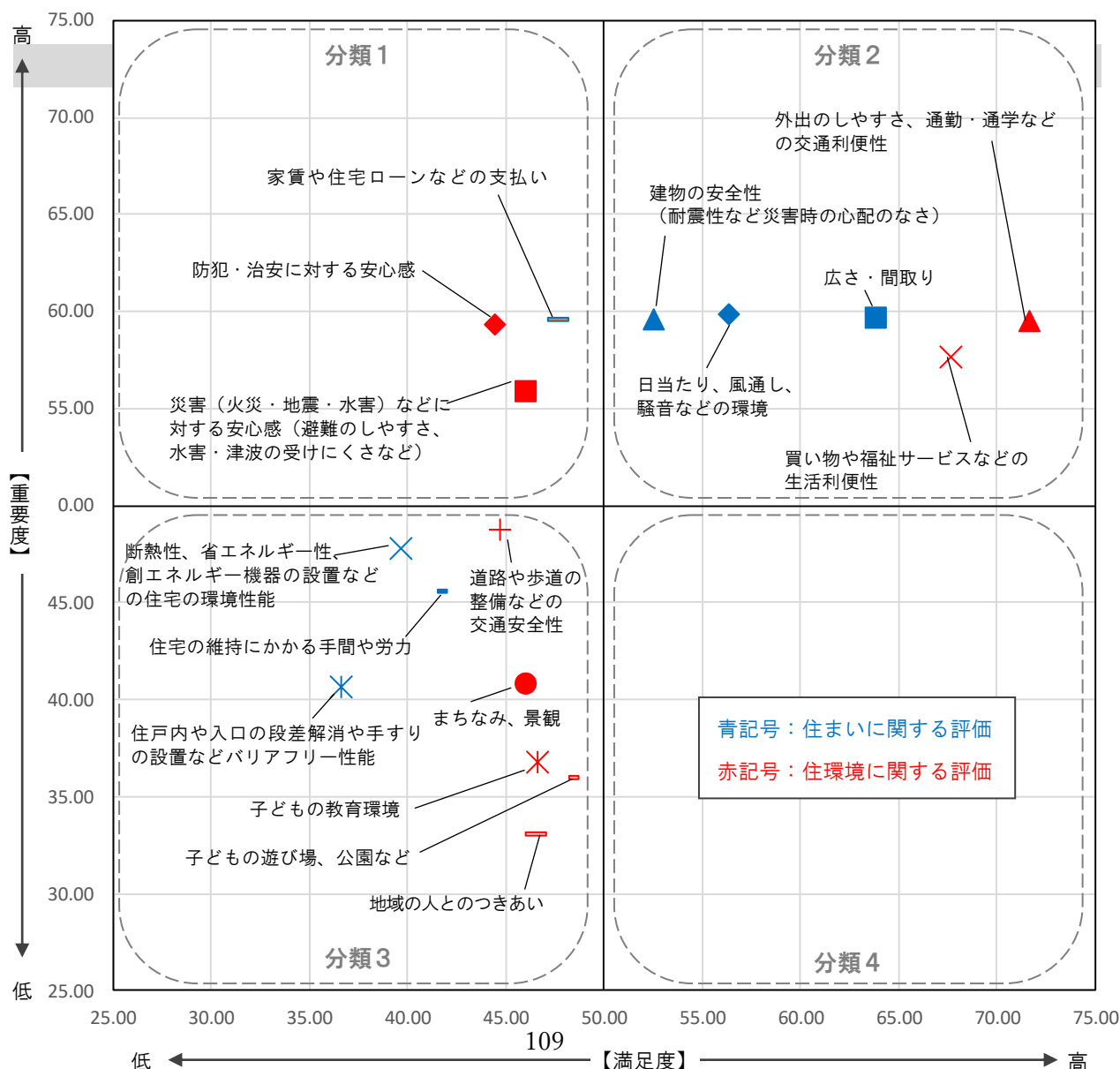


④ 「現在の満足度」と「今後の重要度」※からみた住まい・住環境項目の位置づけ
 (転機がくれば引っ越したい、できるだけ早く引っ越したいと回答した世帯)

※現在の満足度…現在の住まいの評価 (16項目それぞれについて5段階(満足～不満)で回答)
 今後の重要度…引っ越し先で重視する条件 (16項目それぞれについて5段階(高いから低い)で回答)
 ここでは、満足度と重要度の回答について各回答を得点化し、平均得点を算出。その平均得点を偏差値に変換して、各項目の満足度と重要度を整理している。

○将来的に住み替えを考えている世帯に対して、重視すべき取組項目は「防犯・治安」や「住居費負担」「災害に対する安心感」。
 ⇒適切な価格で、安心な住宅(災害安全性・防犯等)を取得できる環境を整備することが重要。
 ○省エネ・創エネや住宅の維持管理などについては、現時点の重要度はそれほど高くはないが、意識啓発などを通じて、今後重要度・満足度ともに向上させていくことも重要。

分類	満足度	重要度	位置づけ
分類1	低い	高い	現在の満足度が低く、今後の重要度が高い項目
分類2	高い	高い	現在すでにある程度満足しているが、今後も引き続き重要度が高い項目
分類3	低い	低い	現在の満足度が低く、相対的に今後の重要度も低い項目
分類4	高い	低い	現在すでにある程度満足しており、相対的に今後の重要度が低い項目

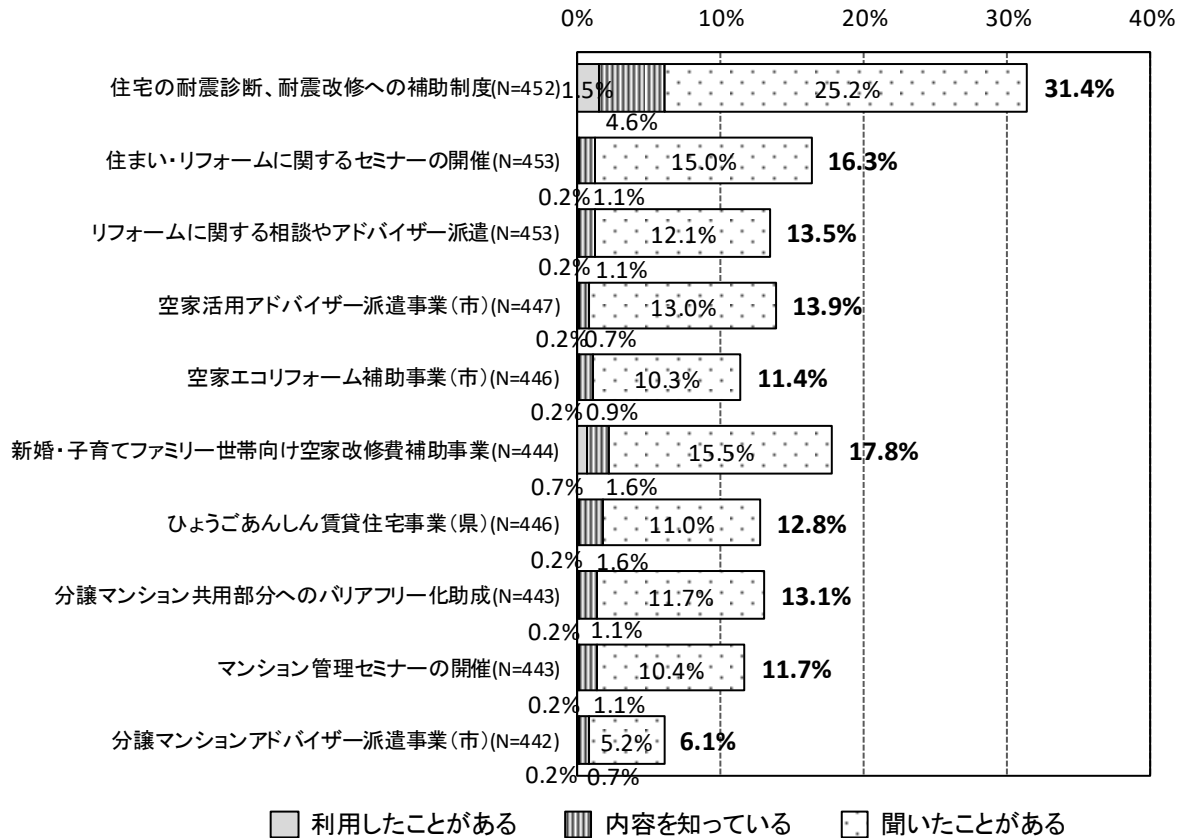


【5】住宅・住環境に関する市の取組について

①尼崎市や兵庫県等で行っている施策や制度について

○各種施策や制度について「利用したことがある」～「聞いたことがある」の合計でみると、耐震診断、耐震改修への補助制度が最も高く、約3割。それ以外は1～2割程度にとどまっている。

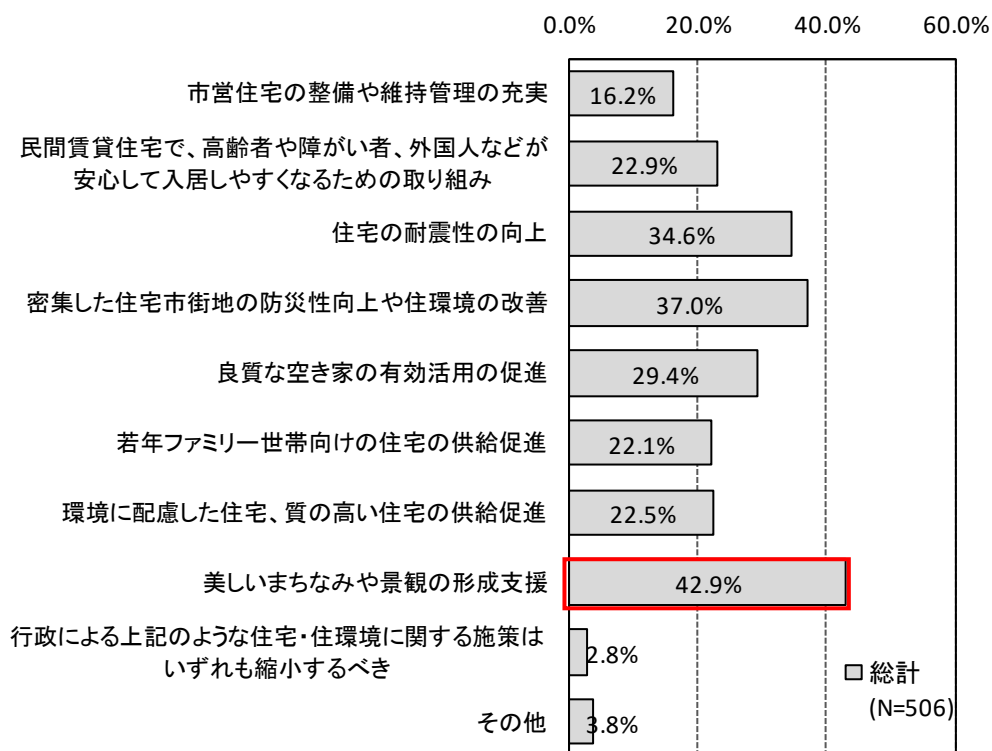
⇒さらなる既存施策の普及・PRに取組んでいく必要がある。



②尼崎市の住宅・住環境の施策で重点的に取り組むべきもの

○防災関係より「美しいまちなみや景観の形成支援」が多く挙げられている。

⇒まちなみや景観については、満足度が特別低いわけではない（P.11 参照）が、課題に感じている層が多いことから、これらを解消するための取組みを進めていく必要がある。

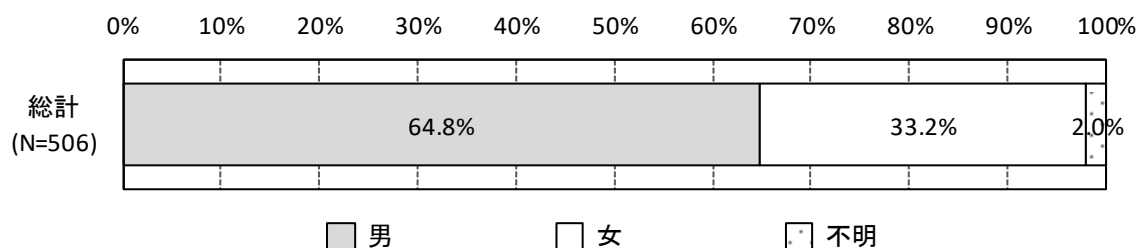


3) アンケート結果（基礎的な集計結果）

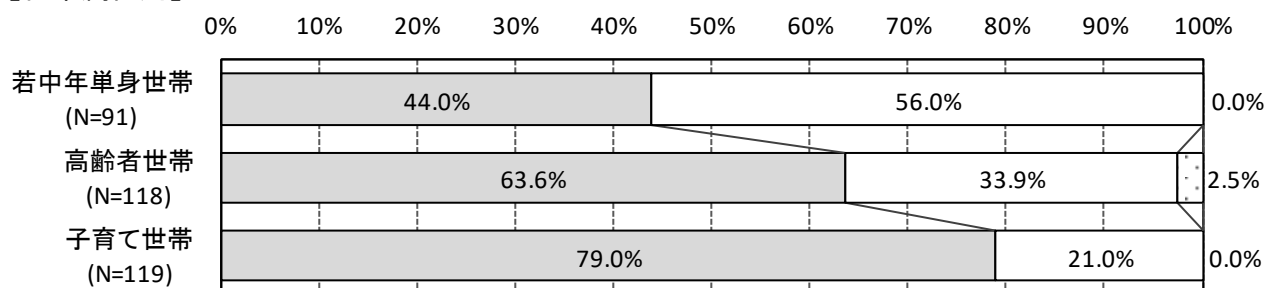
①回答者の性別・年齢

■性別

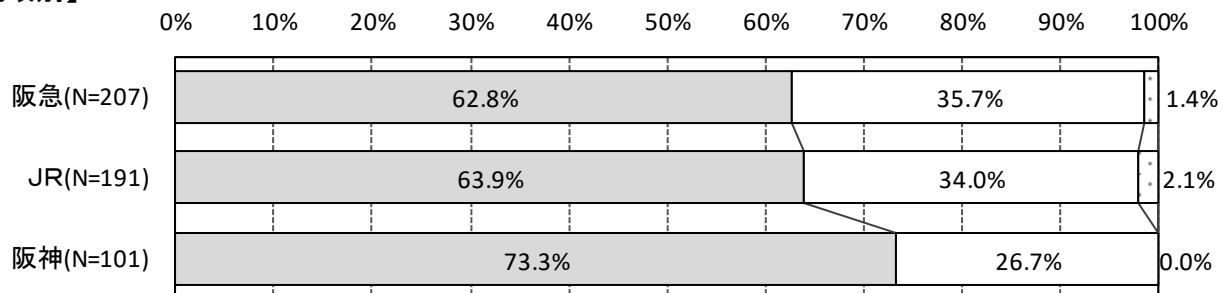
- ・回答者は男性が 64.8%、女性が 33.2%である。
- ・属性別にみると、若中年単身世帯は女性の割合が 56.0%と男性を上回っている。



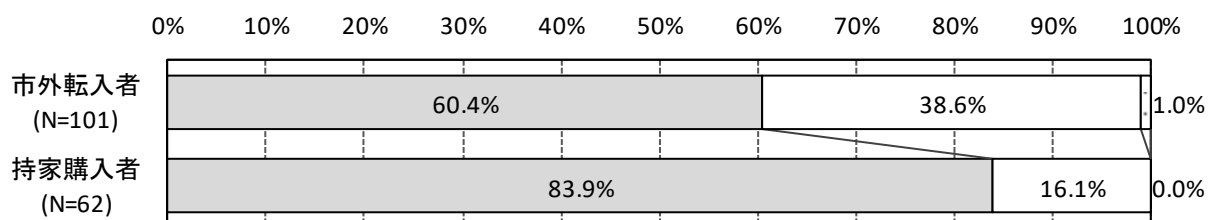
【世帯属性別】



【地域別】

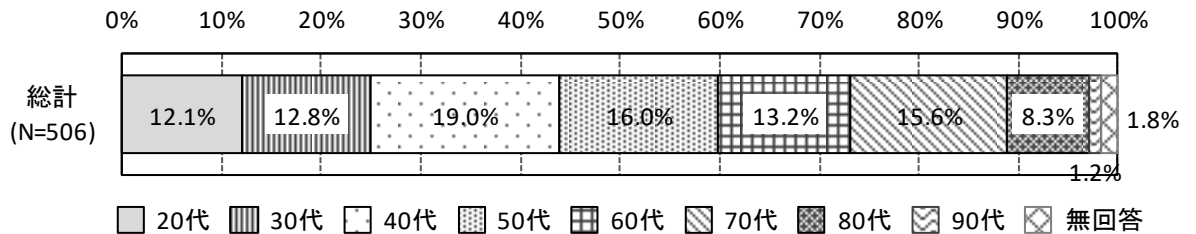


【新規転居者別】

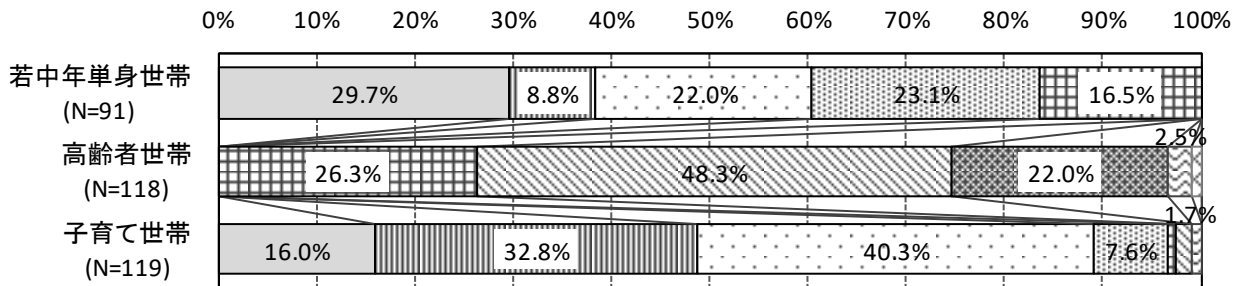


■年齢

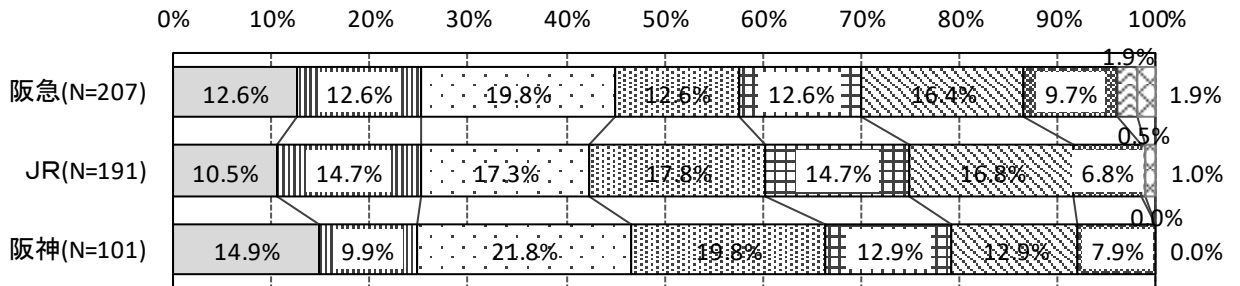
- ・回答者の年齢は40代・50代が多くなっている。
- ・属性別にみると、子育て世帯は40代が多くなっている。また、市外転入者は20代、持家購入者は30代が多くなっている。



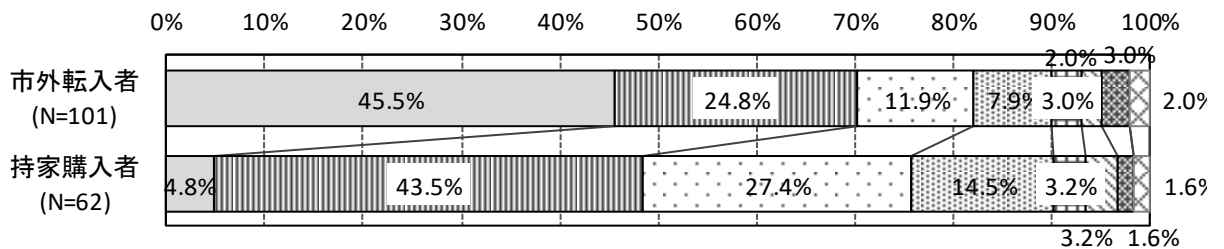
【世帯属性別】



【地域別】



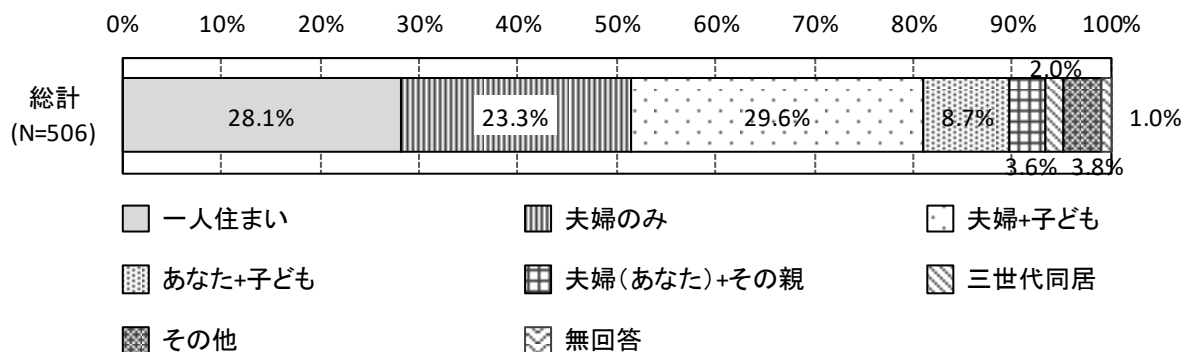
【新規転居者別】



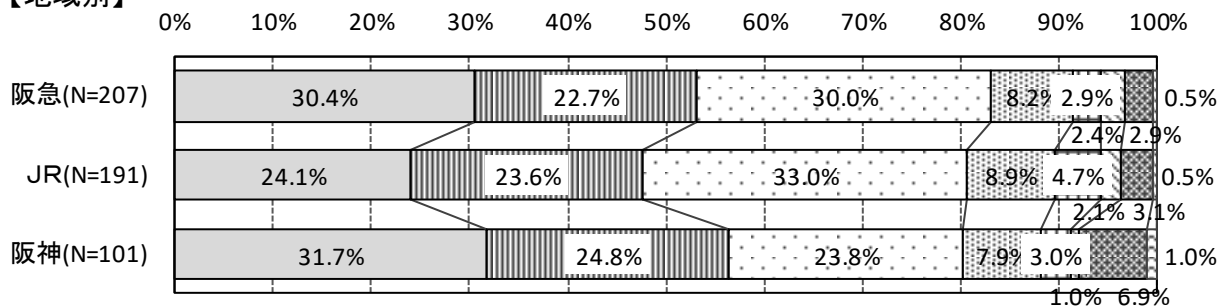
②世帯構成

・「夫婦+子ども」が29.6%と最も多く、次いで「一人住まい」が28.1%、「夫婦のみ」が23.3%となっている。

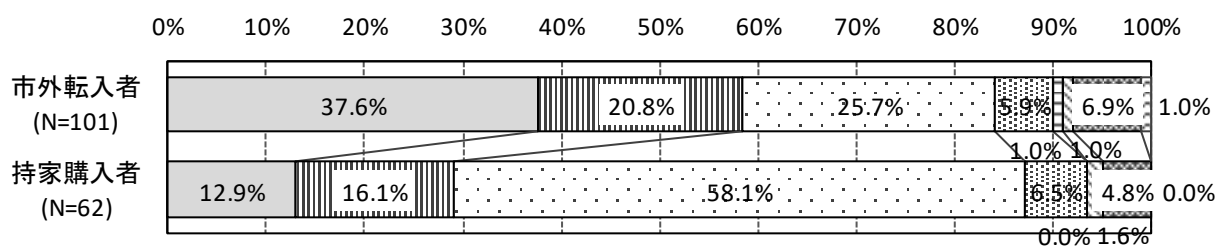
・属性別にみると、持家購入者は「夫婦+子ども」が58.1%と約6割を占めている。



【地域別】

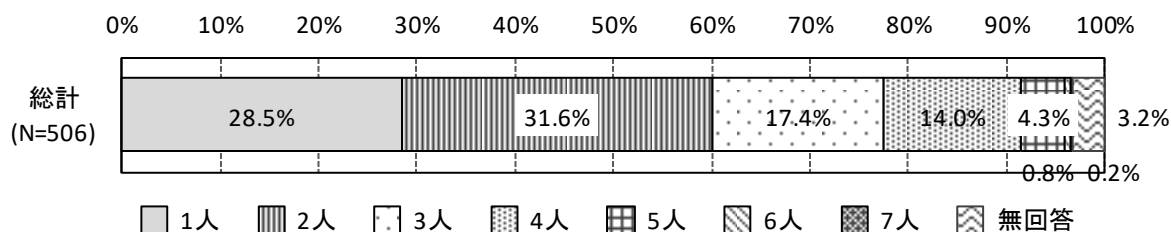


【新規転居者別】

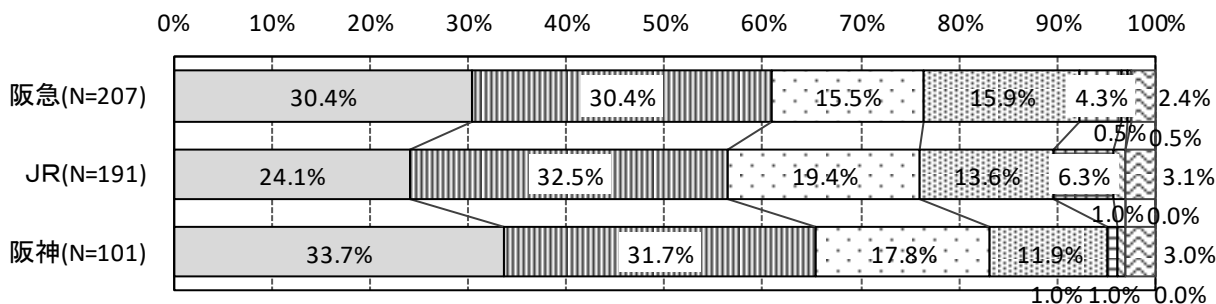


③同居の世帯人数（自分も含む）

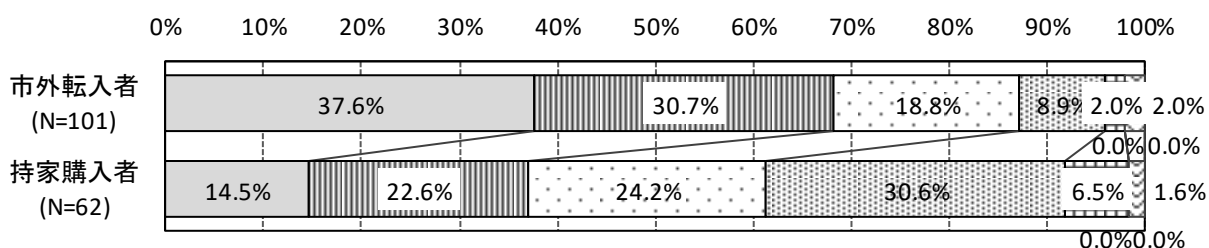
- ・「2人」が31.6%と最も多く、次いで「1人」が28.5%を占めており、1・2人世帯が全体の約6割を占めている。
- ・属性別にみると、持家購入者は夫婦と子どもからなる世帯が多いため、同居の世帯人数も3人と4人世帯が多くなっている。



【地域別】

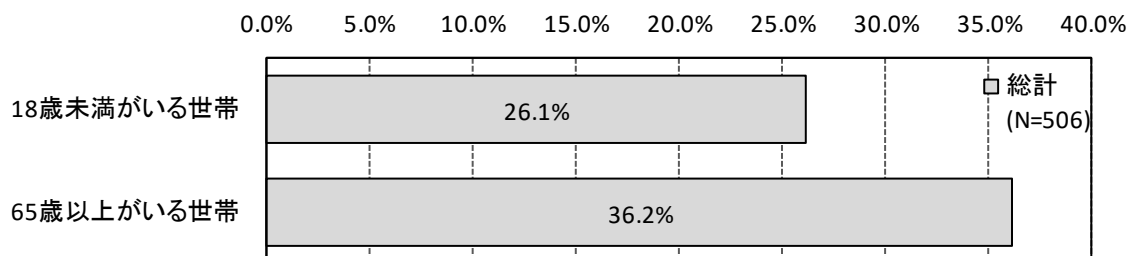


【新規転居者別】

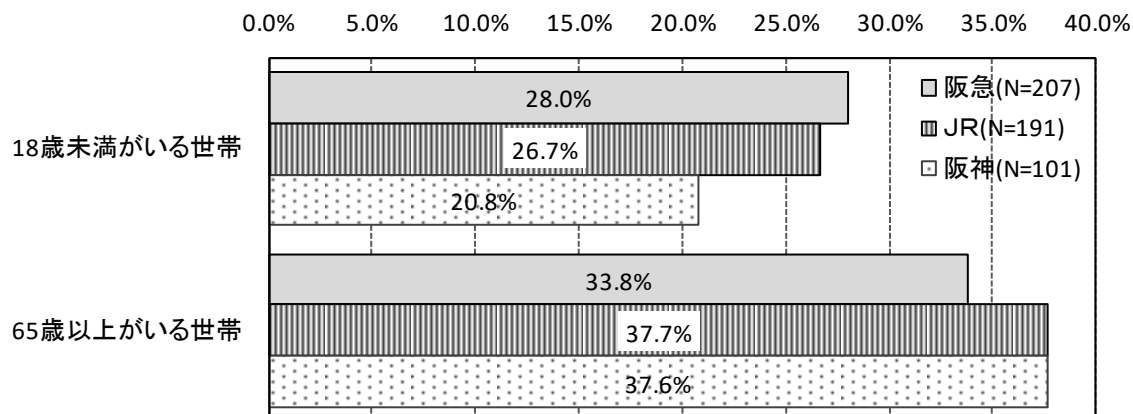


④未成年・高齢者を含む世帯

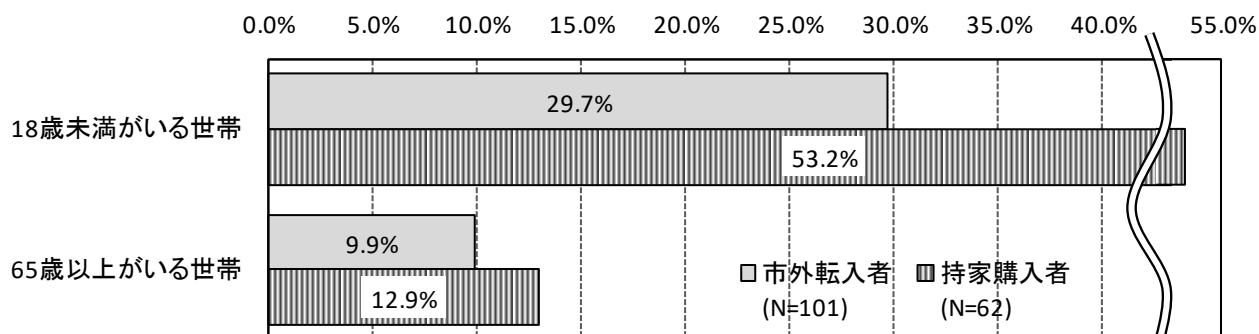
- ・「18歳未満がいる世帯」は全体の26.1%、「65歳以上がいる世帯」は全体の36.2%となっている。
- ・属性別にみると、持家購入者の半数以上は18歳未満がいる世帯となっている。また、市外転入者と持家購入者のうち65歳以上がいる世帯は約1割程度となっている。



【地域別】

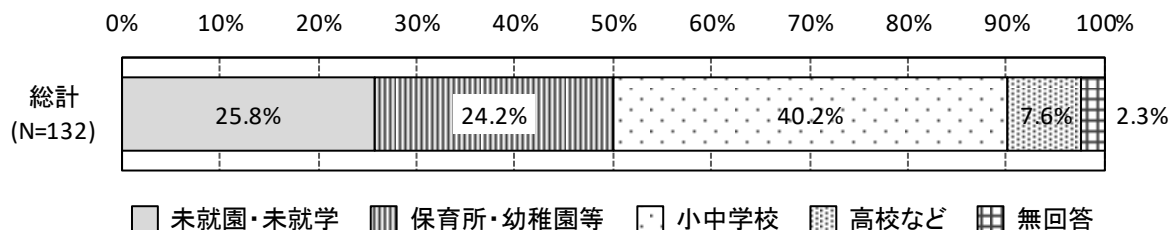


【新規転居者別】

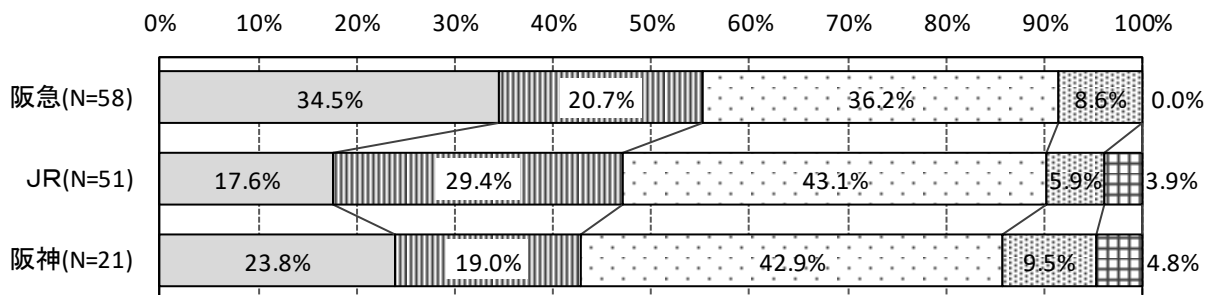


⑤最も年下の就学等の状況（18歳未満がいる世帯）

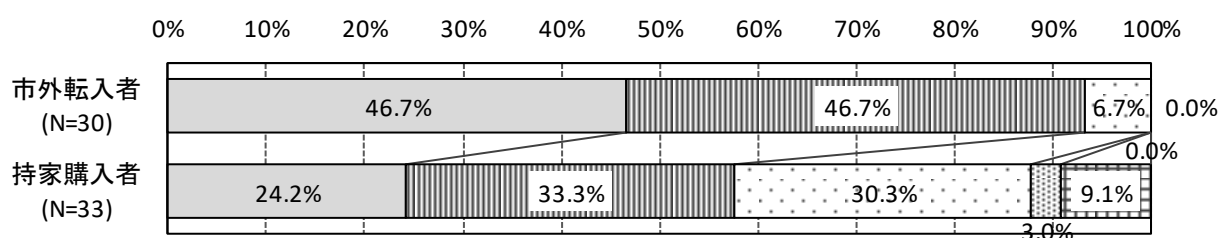
- ・「小中学校」が40.2%と最も多く、次いで「未就園・未就学」が25.8%、「保育所・幼稚園等」が24.2%となっている。
- ・属性別にみると、阪急沿線では「未就園・未就学」が比較的多いが、JR沿線では「未就園・未就学」は比較的少なくなっている。また、市外転入者は「未就園・未就学」と「保育所・幼稚園等」が9割以上を占めている。



【地域別】

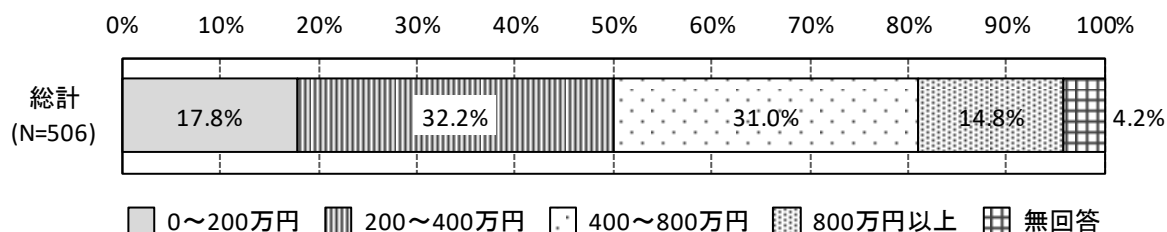


【新規転居者別】

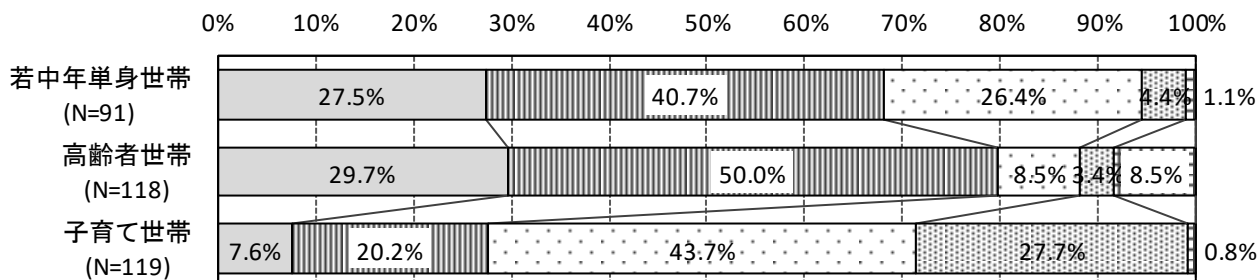


⑥世帯年収

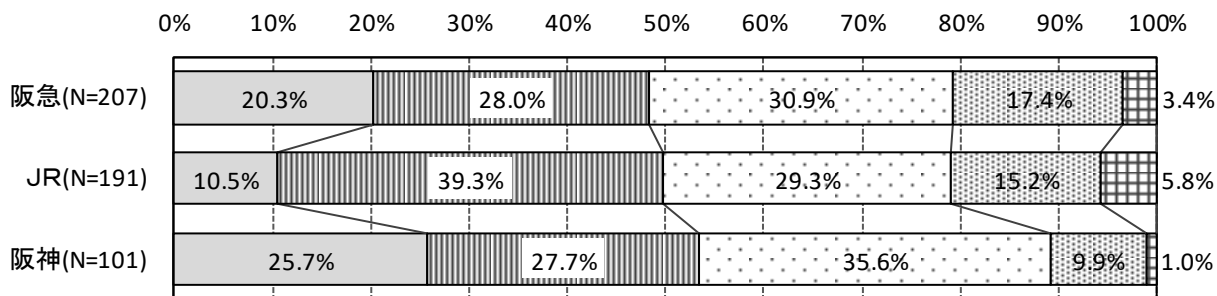
- ・「200～400万円」が32.2%と最も多く、次いで「400～800万円」が31.0%、「0～200万円」が17.8%となっている。
- ・属性別にみると、若中年単身世帯と高齢者世帯は「200～400万円」が多く、子育て世帯は「400～800万円」が多くなっている。また、持家購入者は「400～800万円」が約半数を占めている。



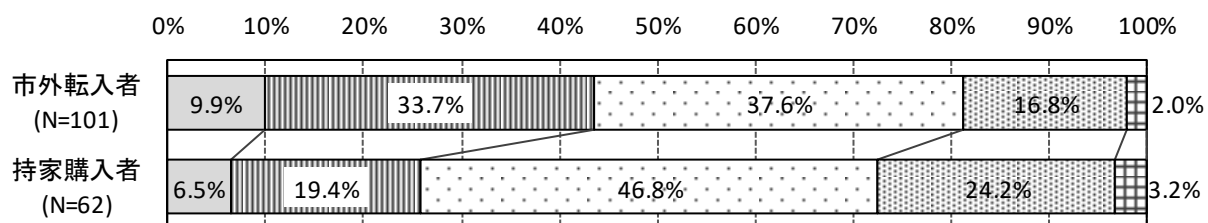
【世帯属性別】



【地域別】

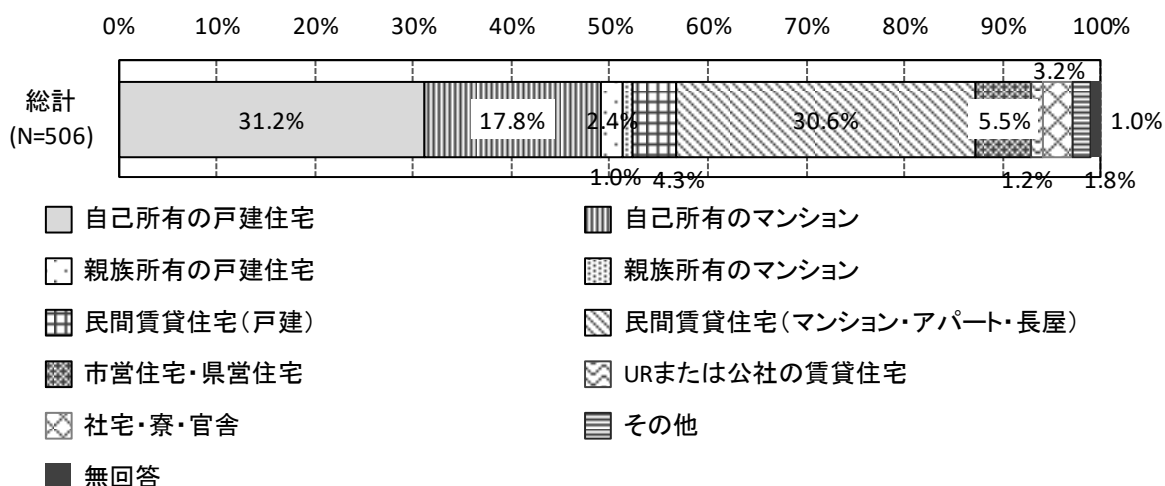


【新規転居者別】

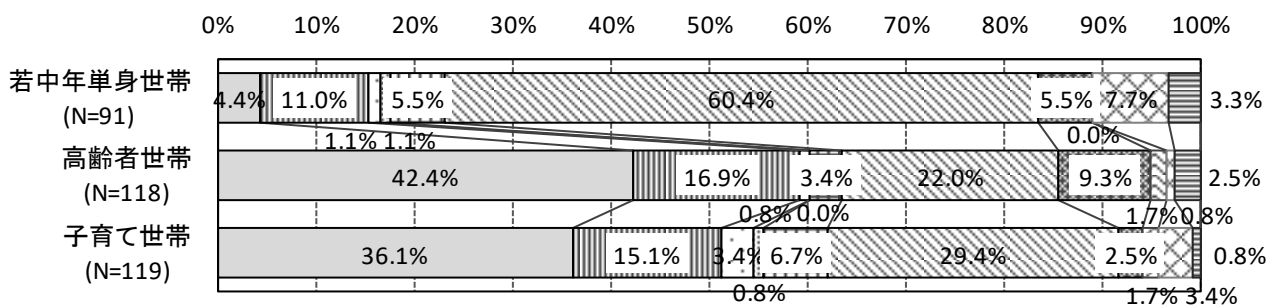


⑦住宅種別

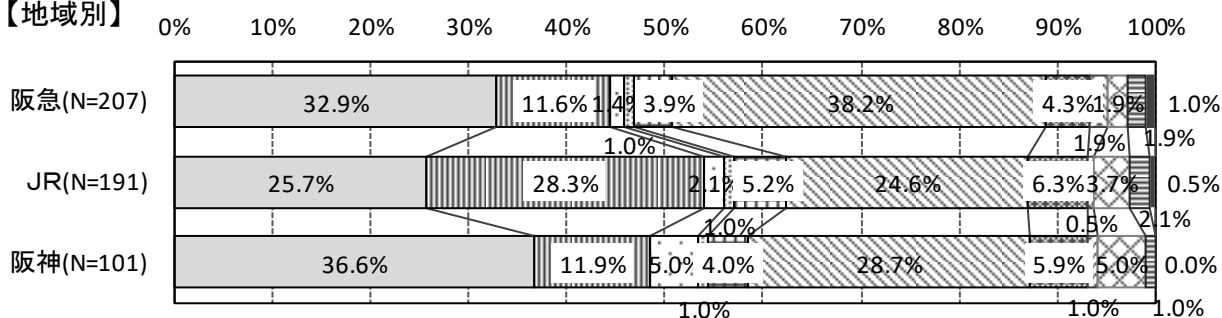
- ・「自己所有の戸建住宅」が31.2%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅(マンション・アパート・長屋)」が30.6%、「自己所有のマンション」が17.8%となっている。
- ・属性別にみると、若中年単身世帯は「民間賃貸住宅(マンション・アパート・長屋)」が約6割を占め、高齢者世帯と子育て世帯は「自己所有の戸建住宅」が比較的多くなっている。また、市外転入者も「民間賃貸住宅(マンション・アパート・長屋)」が約6割を占めている。



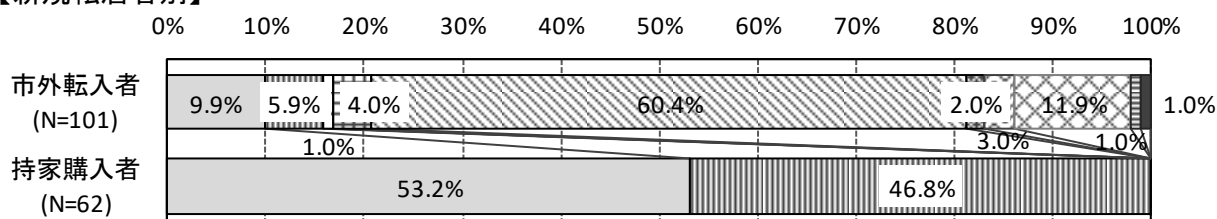
【世帯属性別】



【地域別】



【新規転居者別】

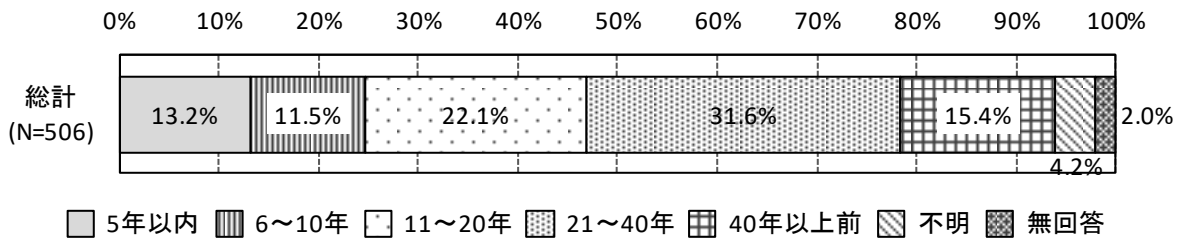


《その他（自由回答）》

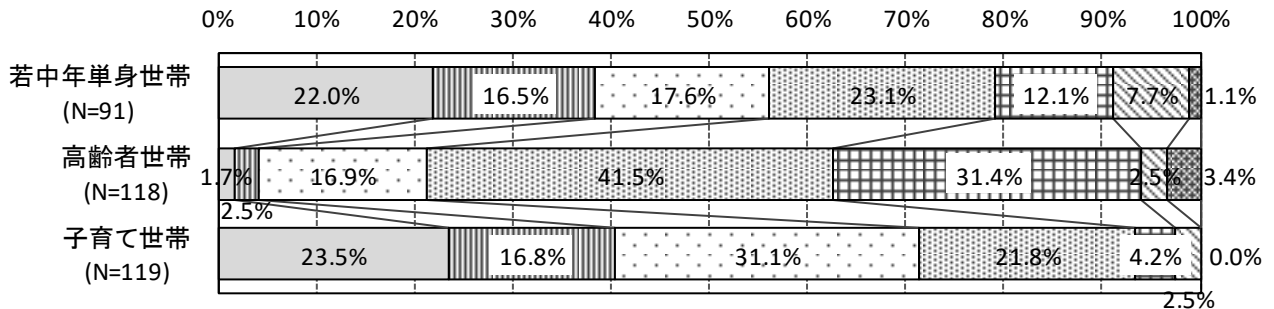
- ・自己所有の7戸建住宅の内1住宅
- ・知人宅
- ・地借、上は自己
- ・親族所有のアパート
- ・同居人が所有
- ・母子支援施設
- ・分譲マンション賃貸
- ・店舗付住宅

⑧築年数

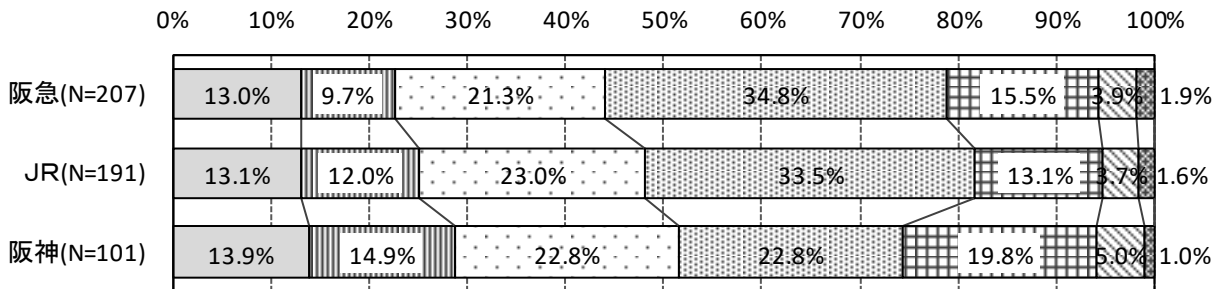
- ・「21～40年」が31.6%と最も多く、次いで「11～20年」が22.1%、「40年以上前」が15.4%となっている。
- ・属性別にみると、高齢者世帯の3割以上が築40年以上の住宅に居住している。また、持家購入者は約7割が築10年以内の住宅に居住している。



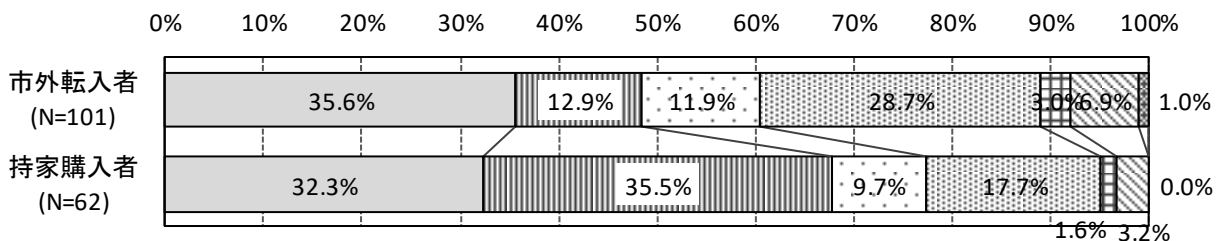
【世帯属性別】



【地域別】



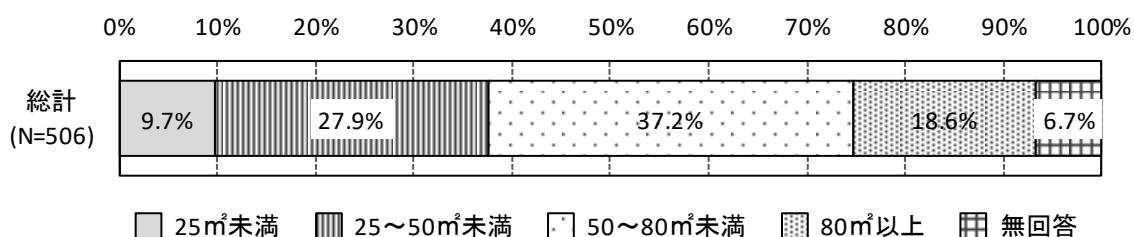
【新規転居者別】



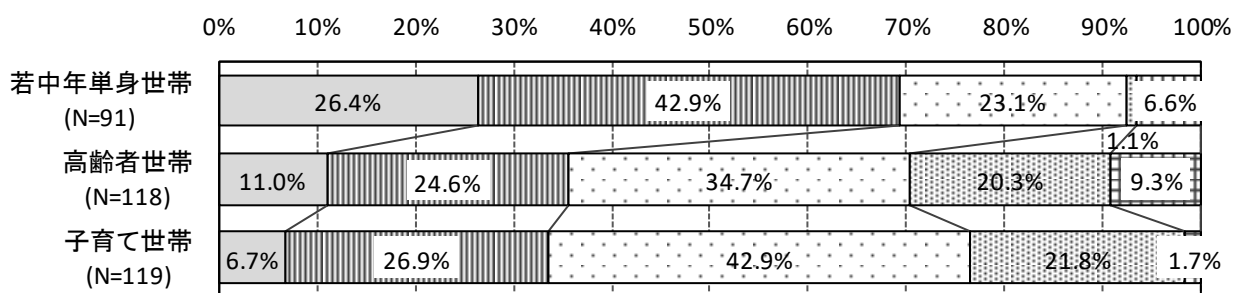
⑨広さ（延床面積）

・「50～80㎡未満」が37.2%と最も多く、次いで「25～50㎡未満」が27.9%、「80㎡以上」が18.6%となっている。

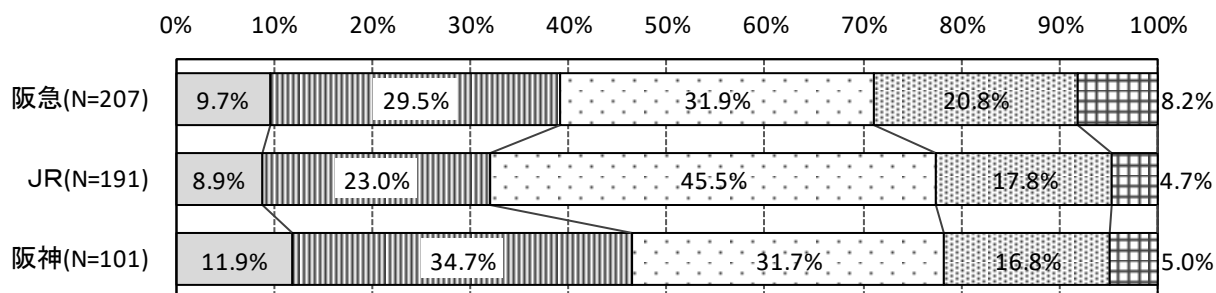
・属性別にみると、若中年単身世帯は「25～50㎡未満」が42.9%を占めている。地域別ではJR沿線の「50～80㎡未満」が比較的多くなっている。また、持家購入者は「50～80㎡未満」が45.2%、「80㎡以上」が32.3%となっており、比較的広い住宅に居住している世帯が多い。



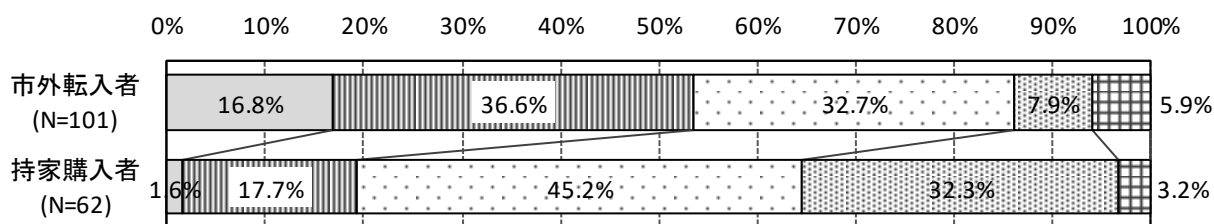
【世帯属性別】



【地域別】

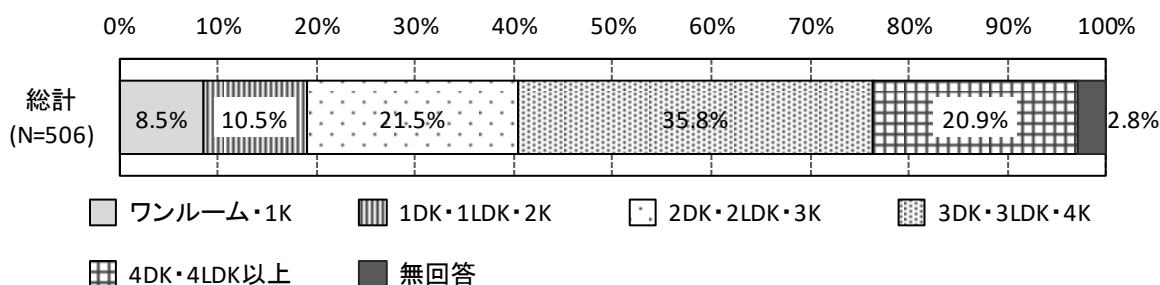


【新規転居者別】

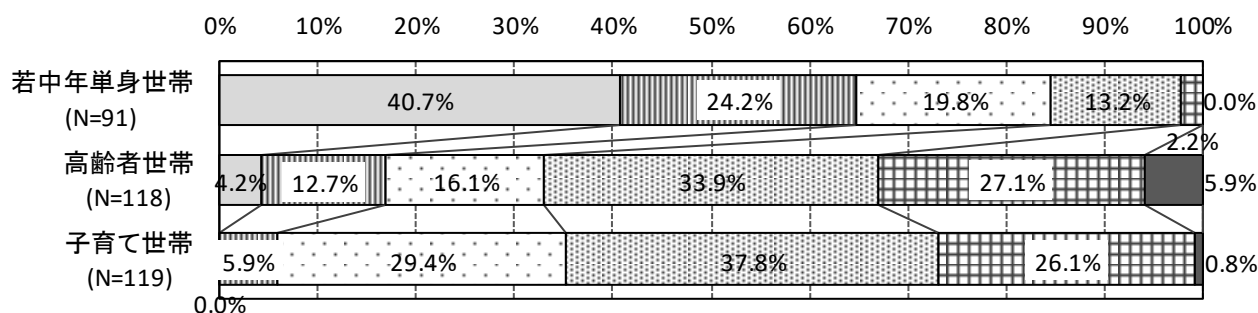


⑩間取り

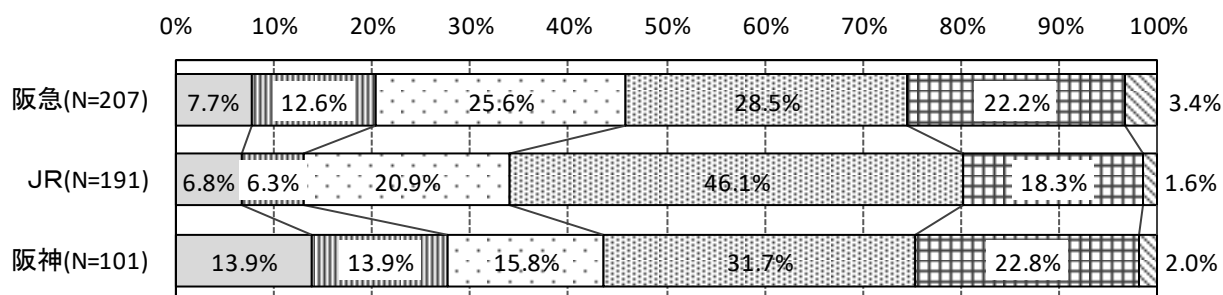
- ・「3DK・3LDK・4K」が35.8%と最も多く、次いで「2DK・2LDK・3K」が21.5%、「4DK・4LDK以上」が20.9%となっている。
- ・属性別にみると、若中年単身世帯は「ワンルーム・1K」が約4割を占めている。また、持家購入者は「3DK・3LDK・4K」が半数以上を占めている。



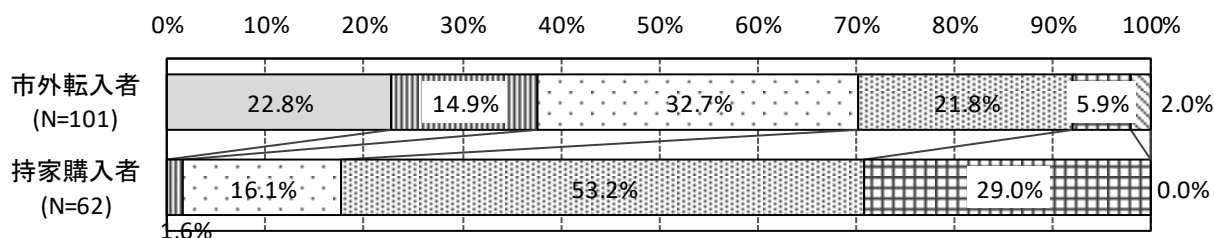
【世帯属性別】



【地域別】

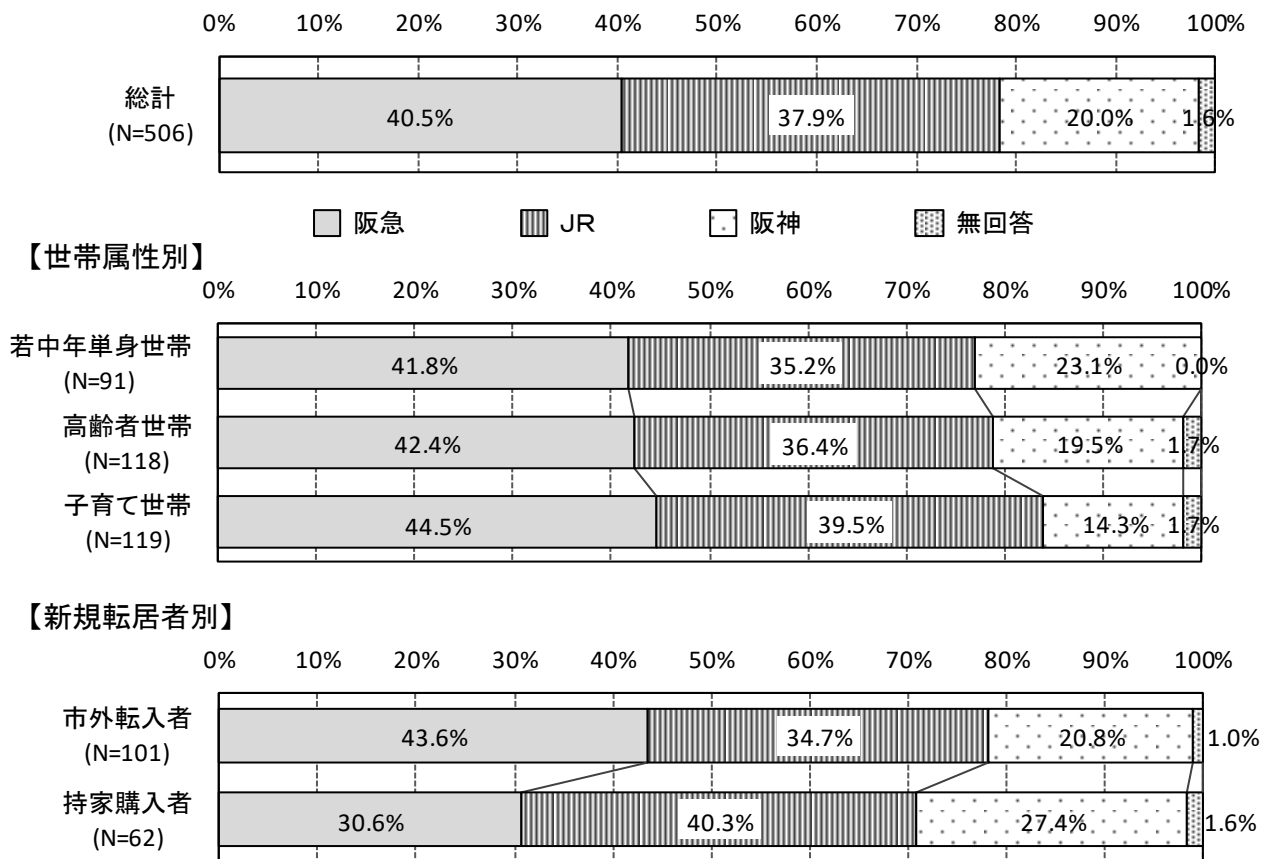


【新規転居者別】

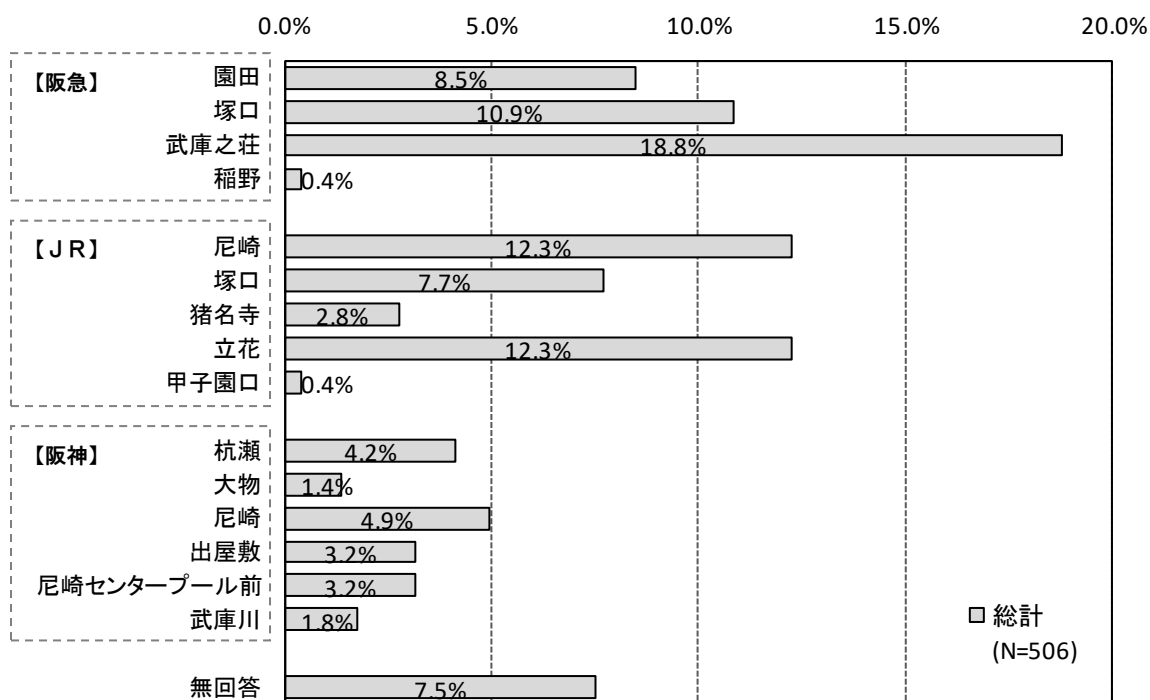


⑪最寄り駅

・最寄り駅の路線は「阪急」が40.5%と最も多く、次いで「JR」が37.9%、「阪神」が20.0%となっている。属性別にみると、子育て世帯と市外転入者は阪急沿線が比較的多く、若中年単身世帯と持家購入者は阪神沿線が比較的多くなっている。

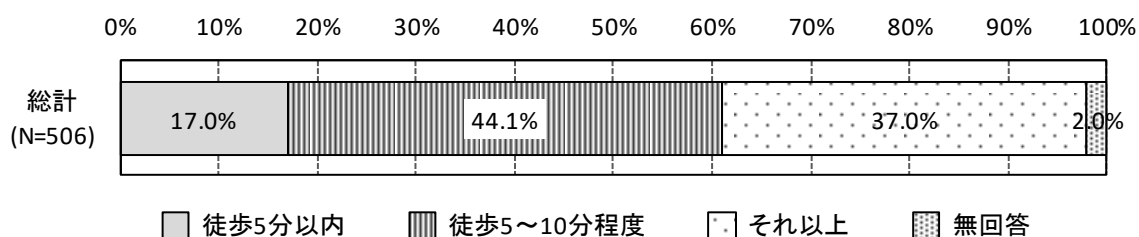


・最寄り駅は阪急では「武庫之荘」、JRでは「尼崎」と「立花」、阪神では「尼崎」が多くなっている。

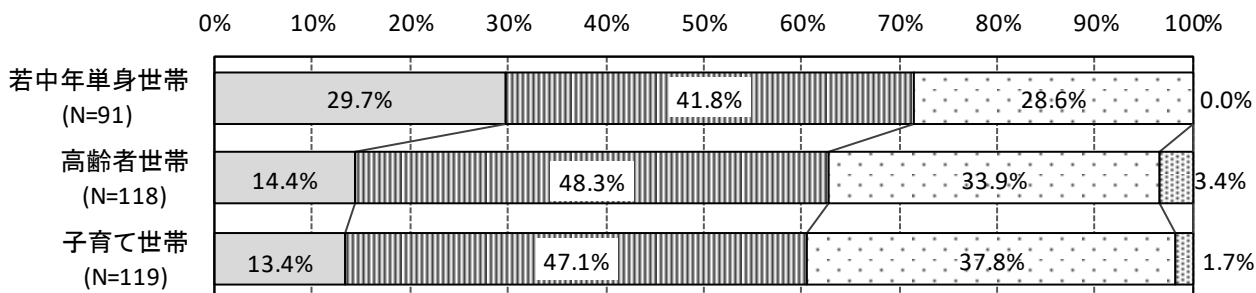


⑫最寄り駅までの距離

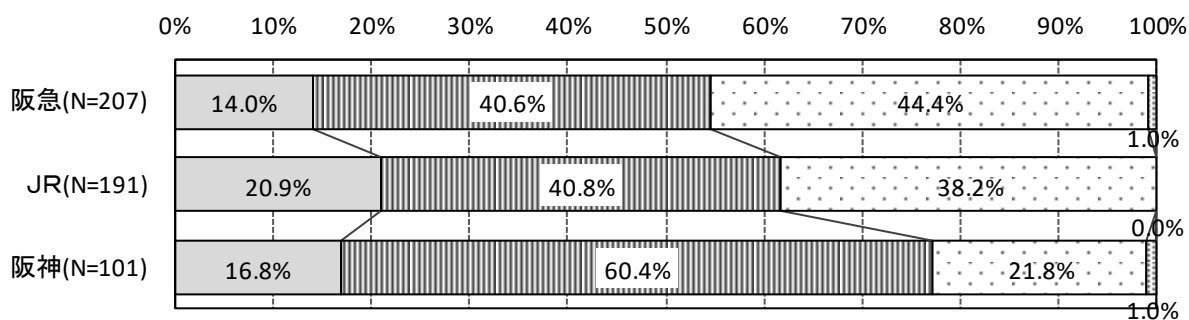
- ・駅からの距離は「徒歩5～10分程度」が44.1%と最も多く、次いで「それ以上」が37.0%となっている。
- ・属性別にみると、若中年単身世帯と市外転入者は約3割が徒歩5分以内となっており、他の属性と比べ駅近くに居住していることが多い。



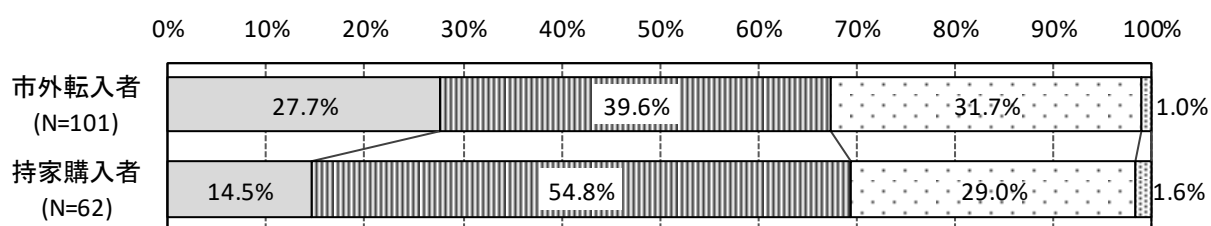
【世帯属性別】



【地域別】

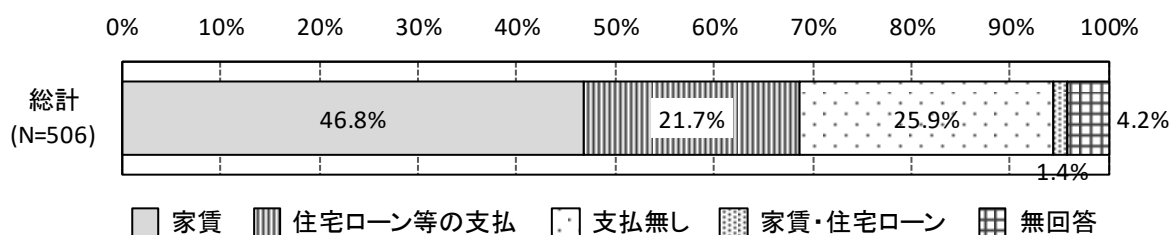


【新規転居者別】

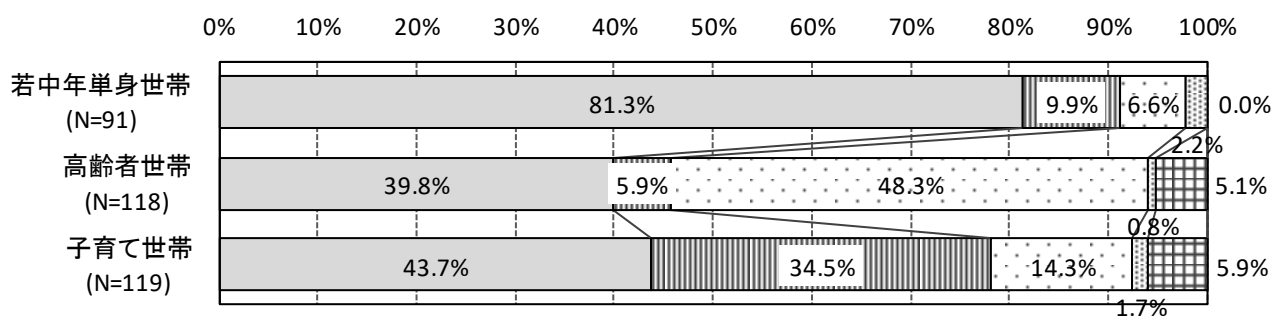


⑬家賃または住宅ローンの支払い

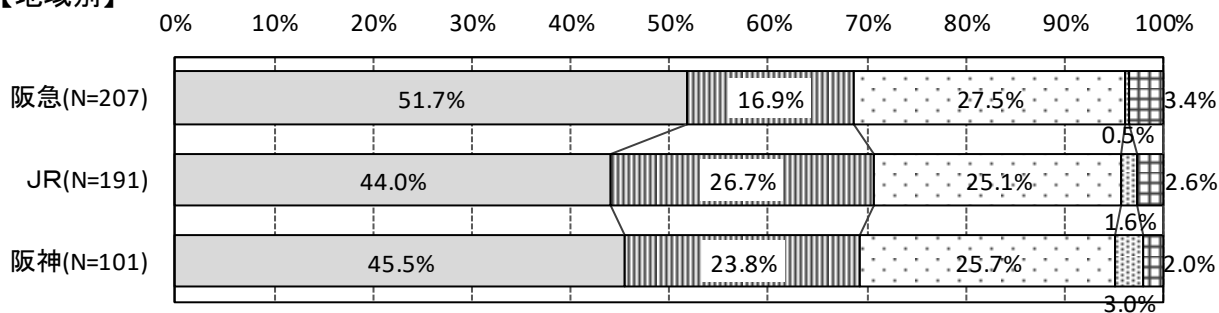
- ・「家賃」を支払っている世帯が46.8%、「住宅ローン等」を支払っている世帯が21.7%であり、その両方を支払っている世帯は「1.4%」となっている。また、「支払なし」は25.9%となっている。
- ・属性別にみると、若中年単身世帯と市外転入者は「家賃」の支払いが多くなっている。また、高齢者世帯の約半数は「支払無し」となっている。



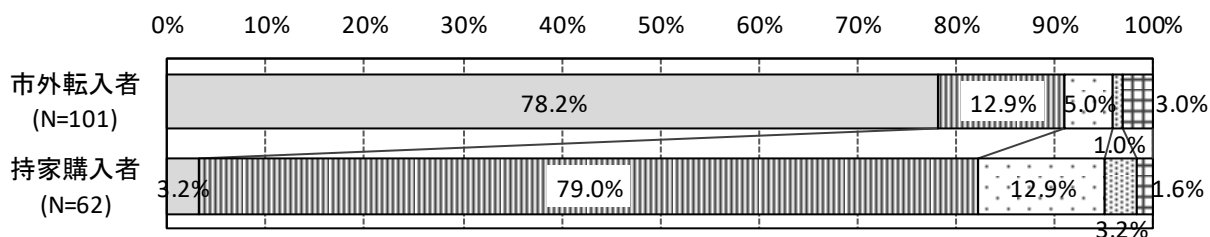
【世帯属性別】



【地域別】

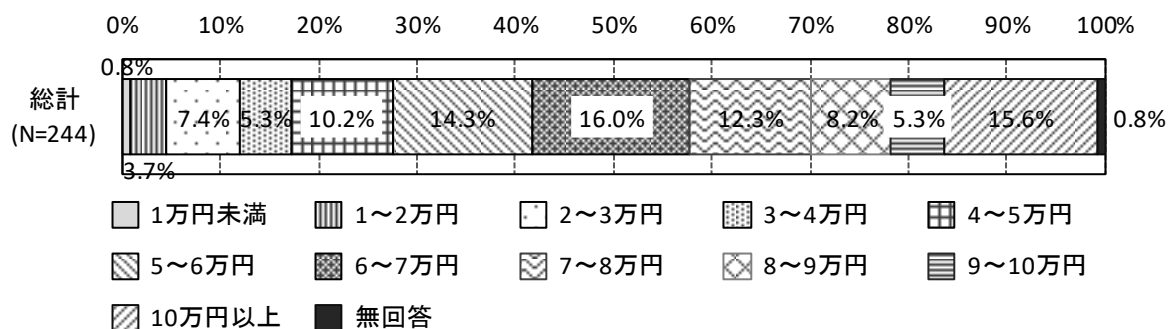


【新規転居者別】



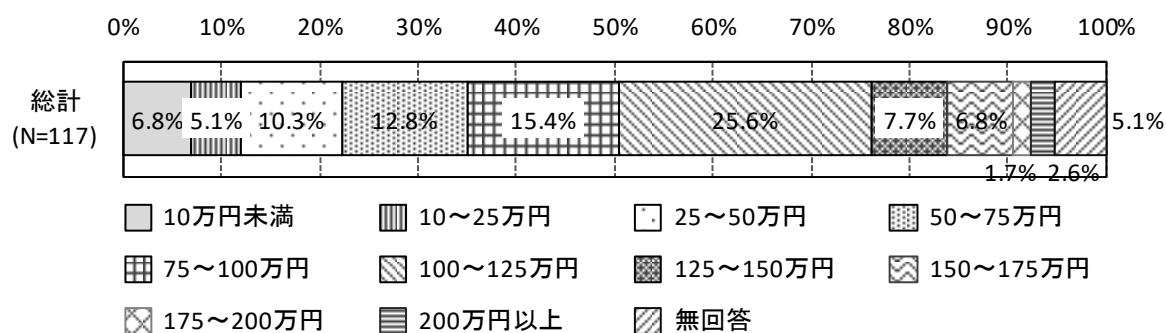
■家賃（月額）

・家賃の支払い額は「6～7万円」が16.0%と最も多い。

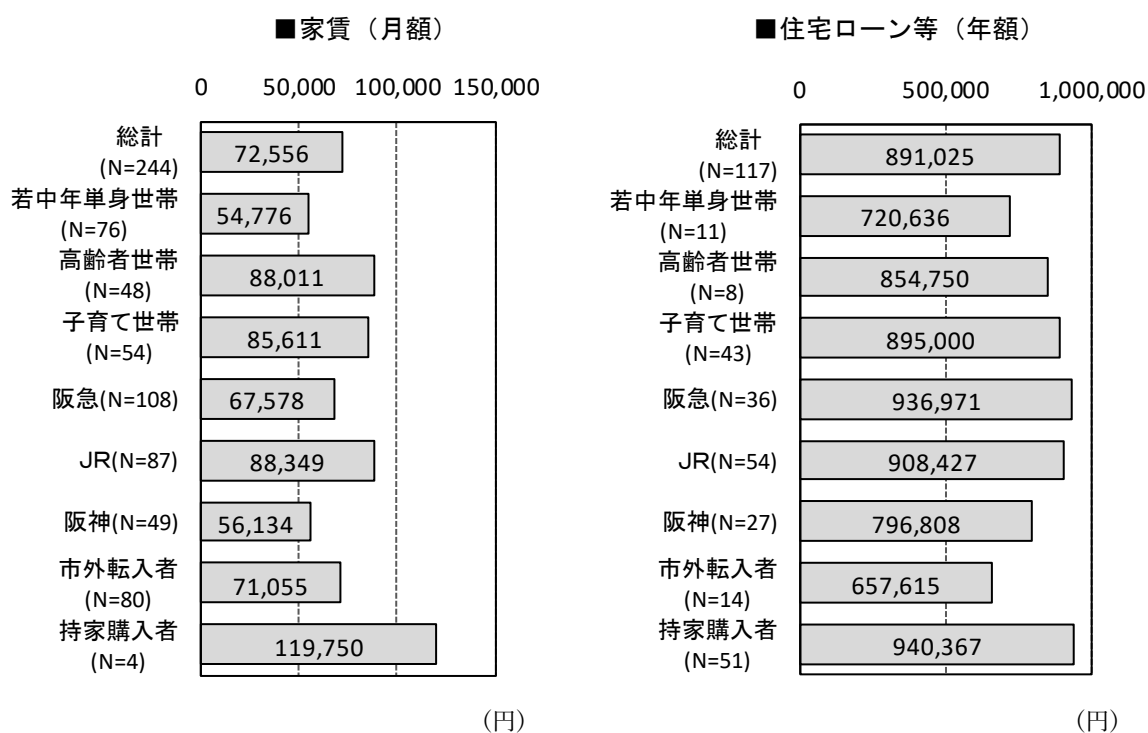


■住宅ローン等（年額）

・住宅ローン等の支払額は「100～125万円」が25.6%と最も多い。

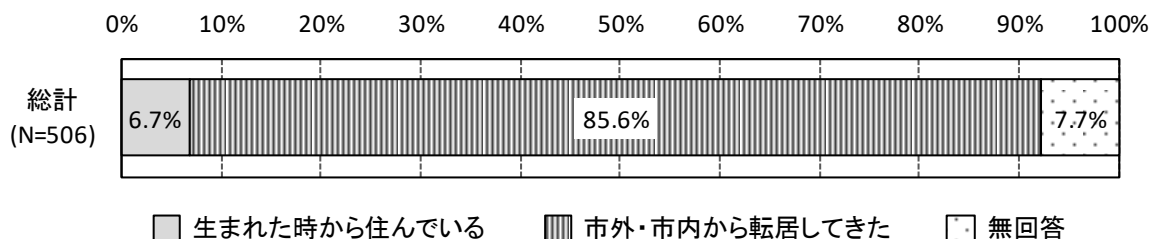


<参考>家賃（月額）及び住宅ローン等（年額）の平均額

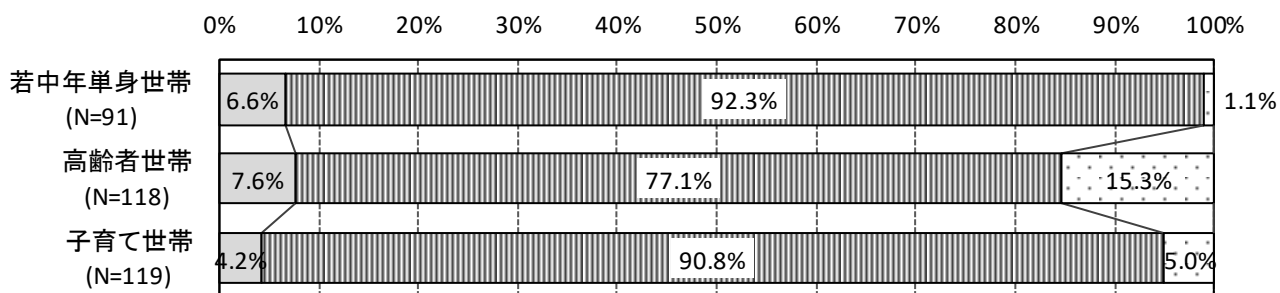


⑭ 居住期間

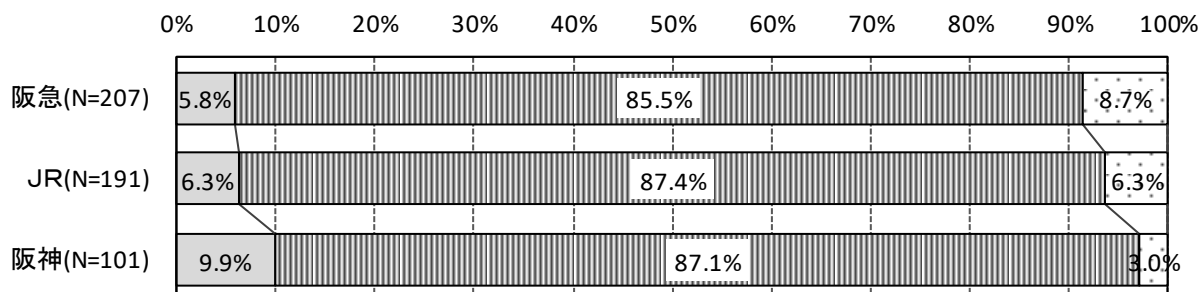
- ・「生まれた時から住んでいる」世帯は6.7%であり、「市外・市内から転居してきた」世帯が85.6%を占めている。
- ・属性別にみると、阪神沿線は比較的生まれた時から住んでいる世帯の割合が多い。



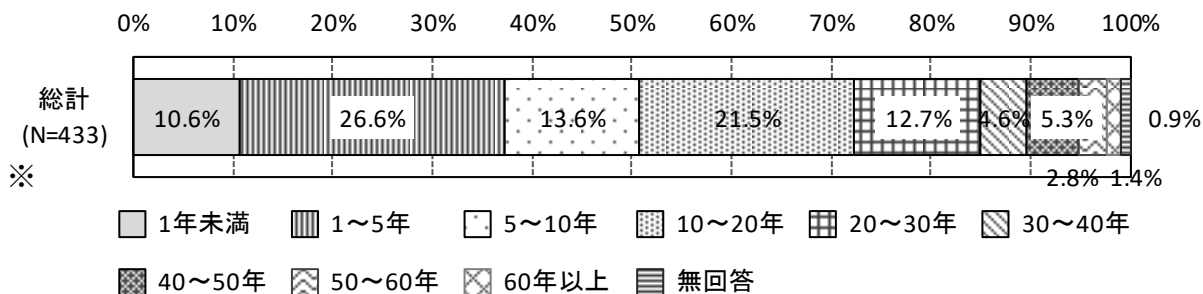
【世帯属性別】



【地域別】

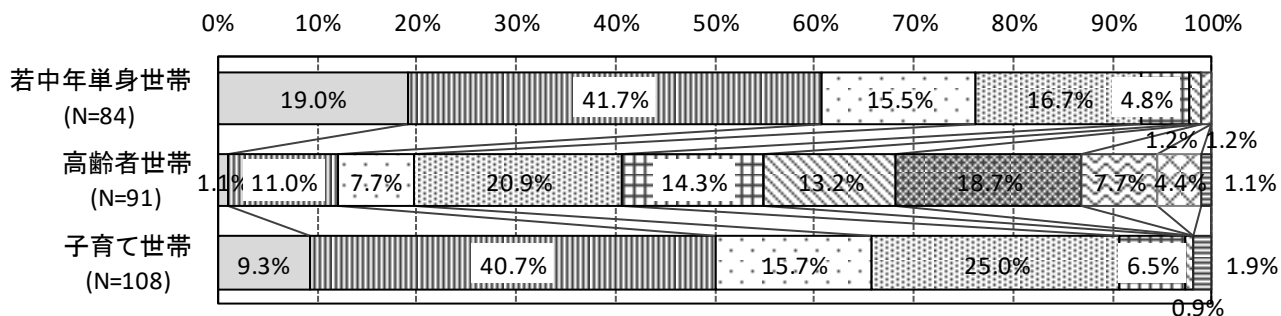


- ・転居してきた世帯の居住期間は「1～5年」が26.6%と最も多く、次いで「10～20年」が21.5%となっている。
- ・属性別にみると、若中年単身世帯と子育て世帯は「1～5年」が約4割を占める。高齢者世帯は「10～20年」「40～50年」がそれぞれ約2割を占めている。

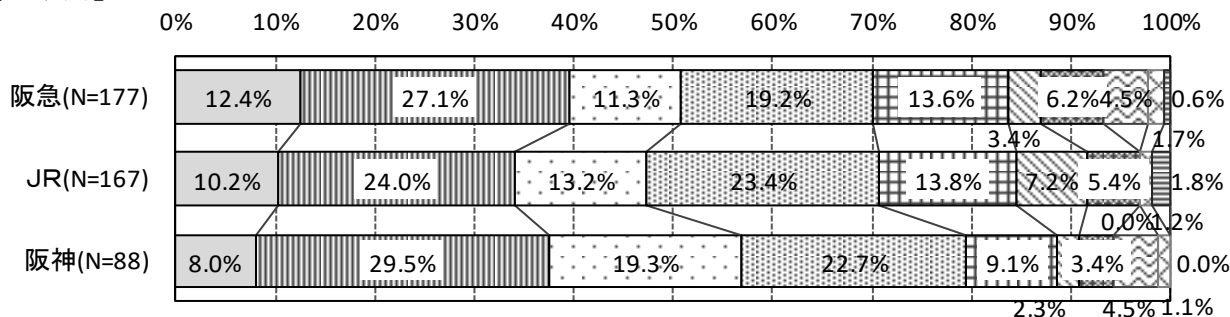


※市外・市内から転居してきた世帯のみ

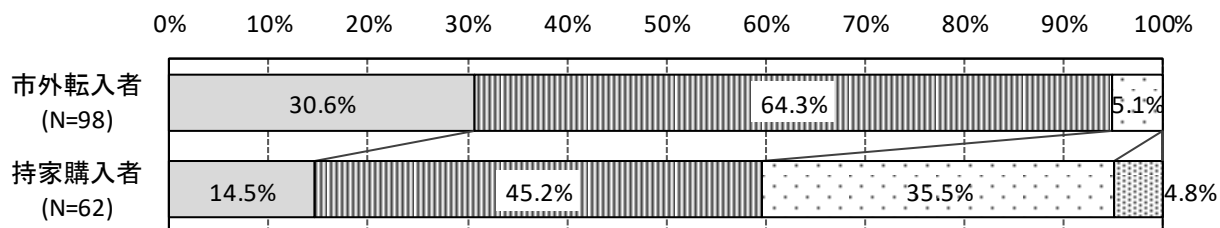
【世帯属性別】



【地域別】

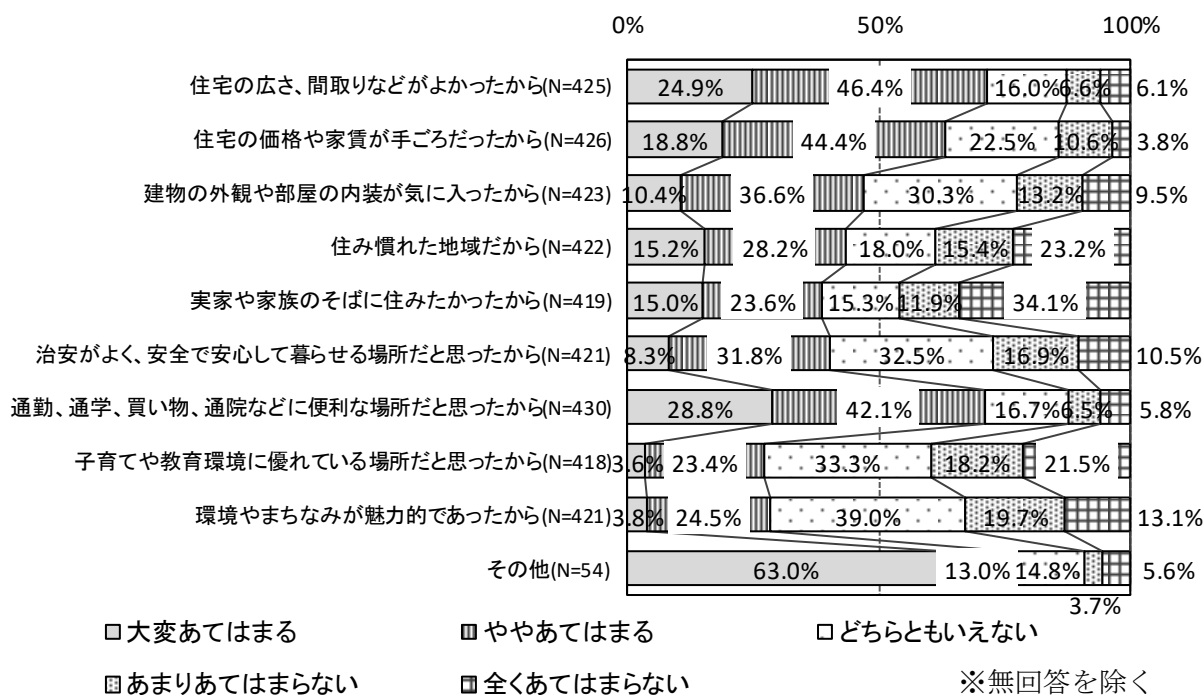


【新規転居者別】



⑮住まいを選んだ条件（生まれた時から住んでいる世帯を除く）

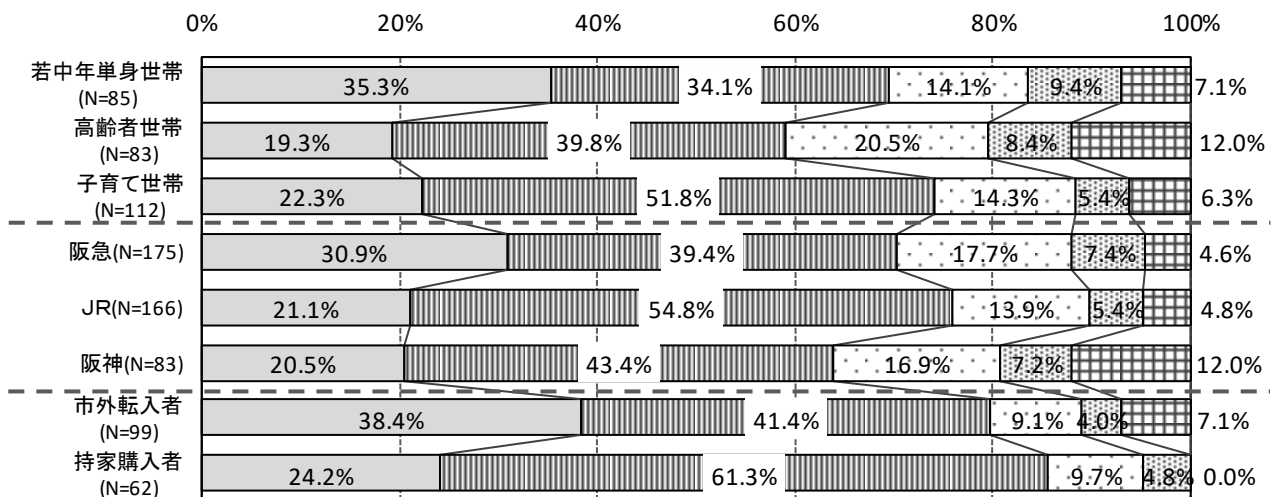
・「住宅の広さ、間取りなどがよかったから」と「通勤、通学、買い物、病院などに便利な場所だと思ったから」のあてはまる（大変あてはまる・ややあてはまる）が7割を超えている。



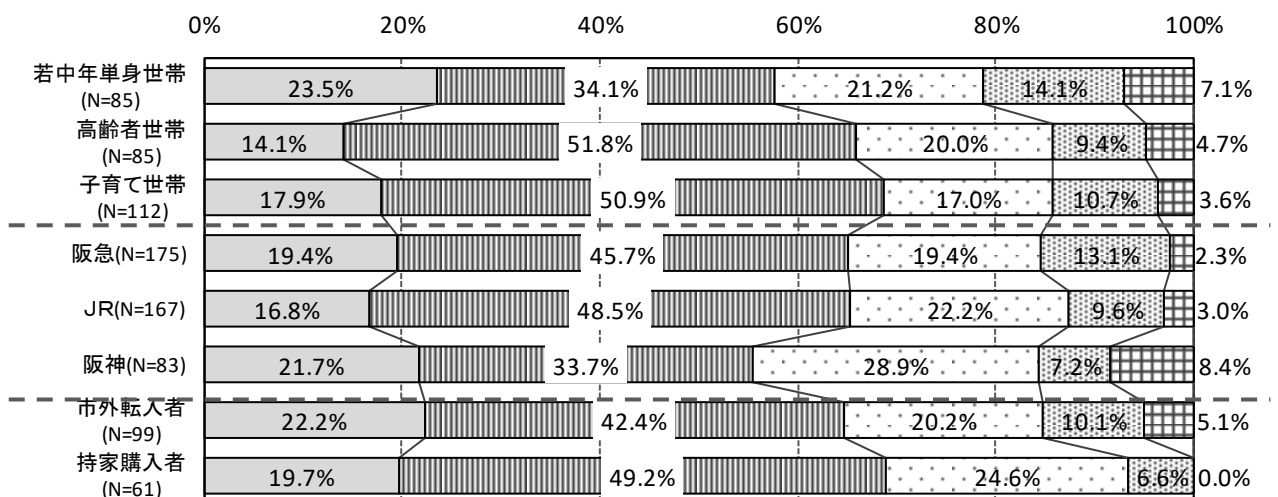
<参考>条件別、属性別の住まいを選んだ条件（無回答を除く）

- ・世帯属性別にみると、高齢者世帯は「治安がよく、安全で安心して暮らせる場所だと思ったから」、「環境やまちなみが魅力的であったから」のあてはまる（大変あてはまる・ややあてはまる）が比較的多くなっている。
- ・地域別にみると、JR沿線と阪神沿線に比べ阪急沿線は「治安がよく、安全で安心して暮らせる場所だと思ったから」、「子育てや教育環境に優れている場所だと思ったから」、「環境やまちなみが魅力的であったから」のあてはまる（大変あてはまる・ややあてはまる）が多くなっている。
- ・持家購入者の半数以上は「実家や家族のそばに住みたかったから」があてはまる（大変あてはまる・ややあてはまる）と回答している。

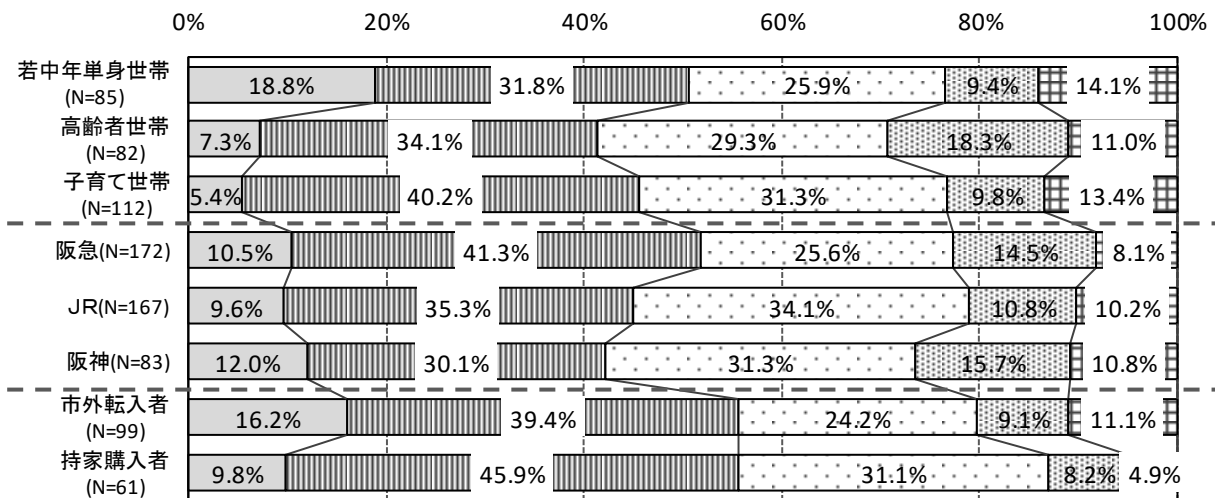
■住宅の広さ、間取りなどがよかったから



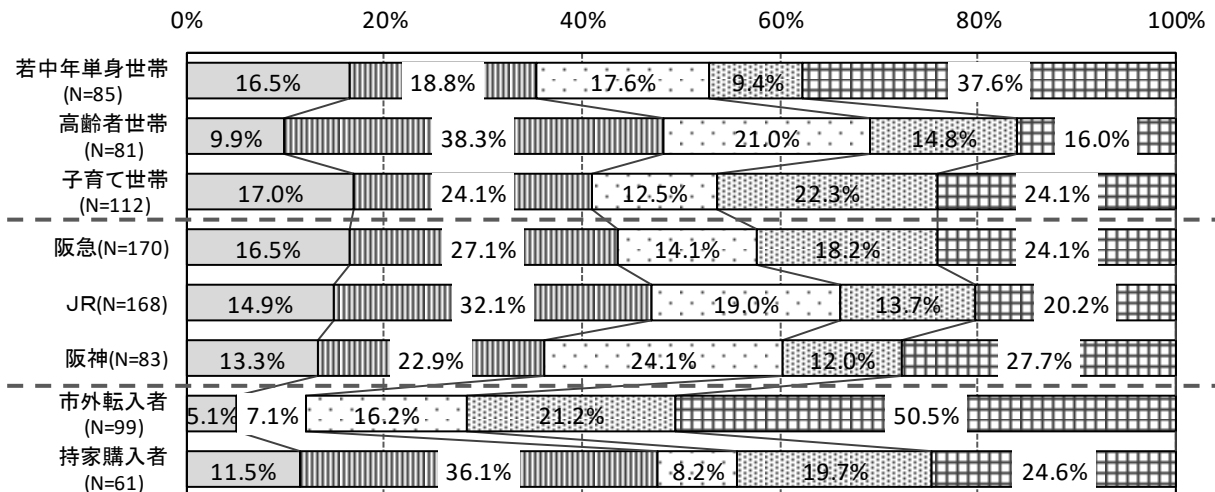
■住宅の価格や家賃が手ごろだったから



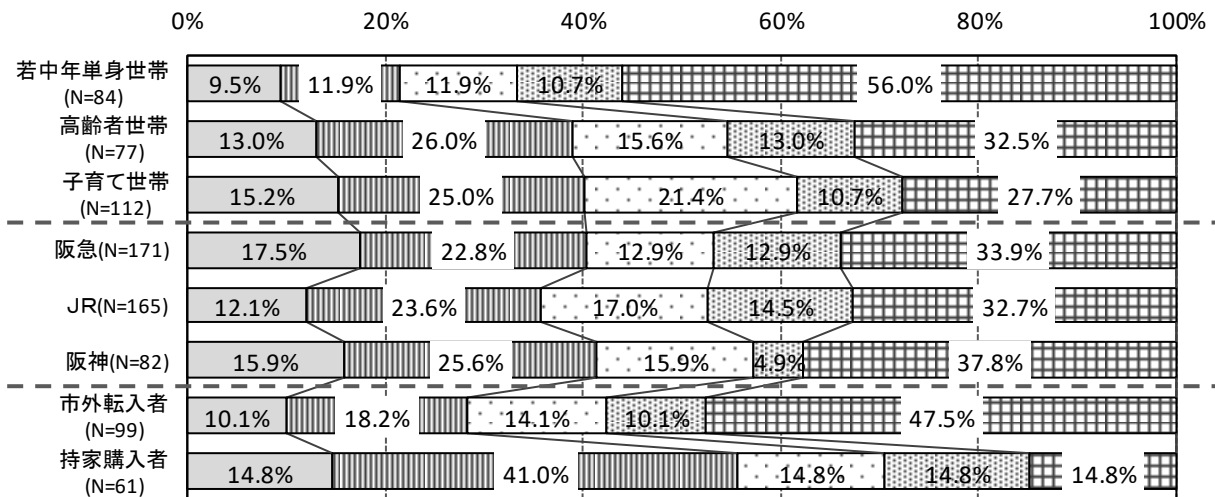
■建物の外観や部屋の内装が気に入ったから



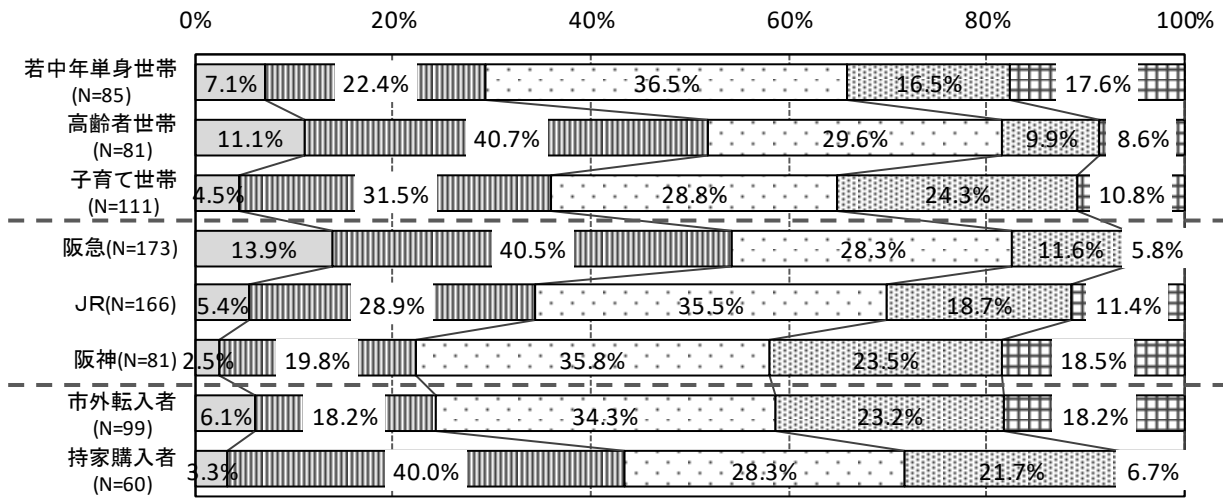
■住み慣れた地域だから



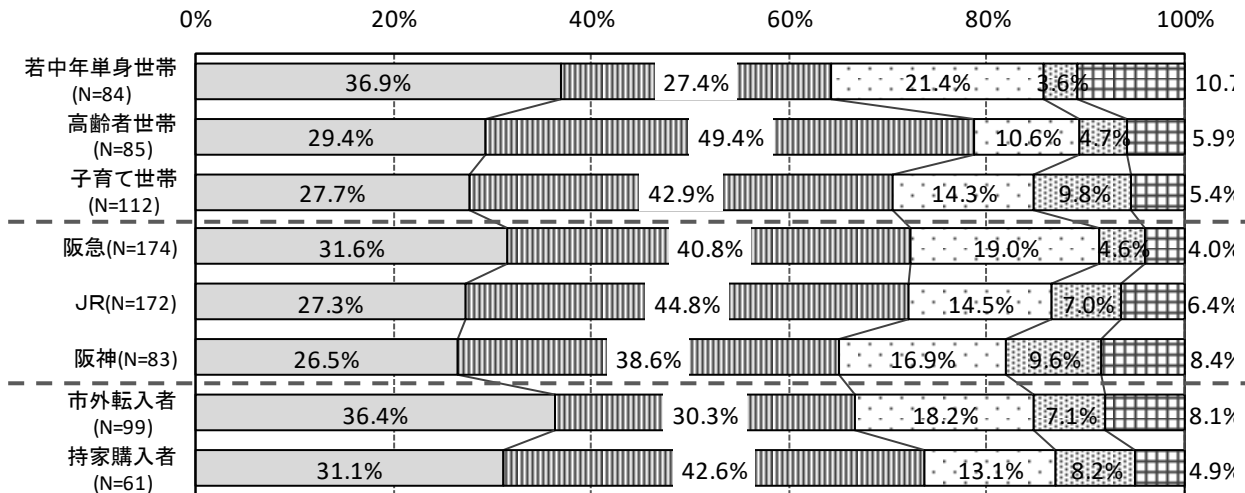
■実家や家族のそばに住みたかったから



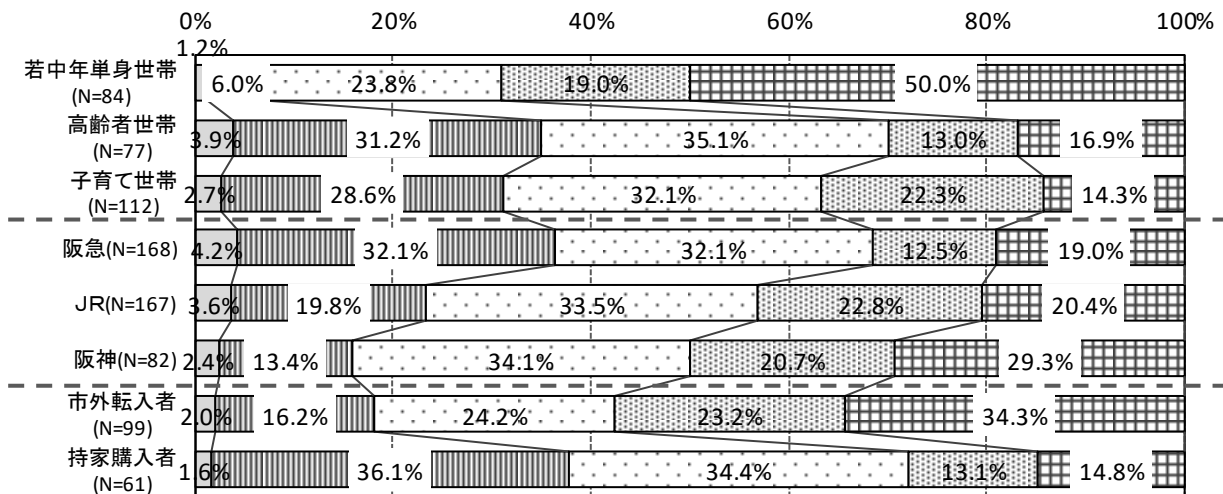
■ 治安がよく、安全で安心して暮らせる場所だと思ったから



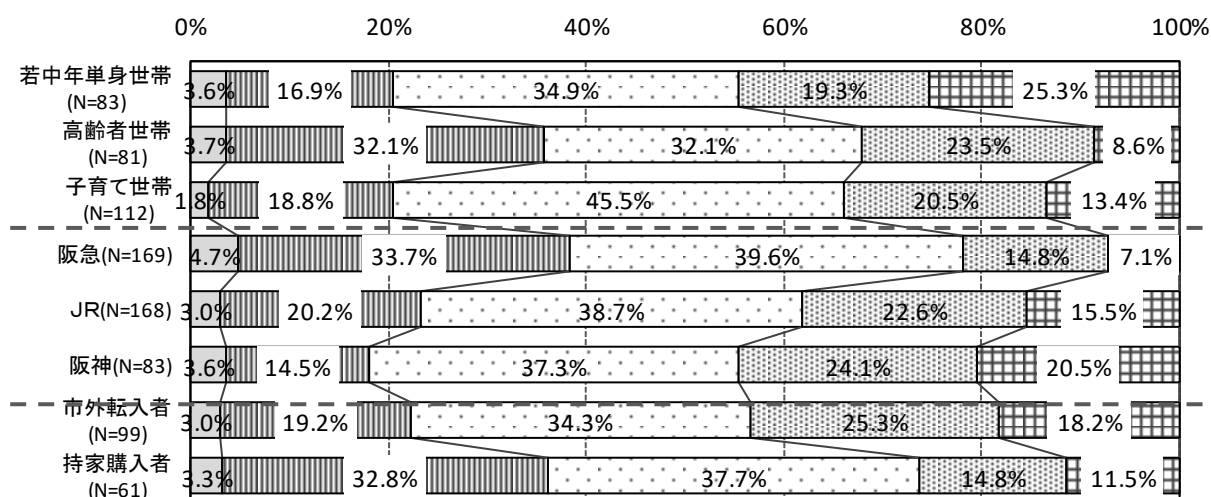
■ 通勤、通学、買い物、病院などに便利な場所だと思ったから



■ 子育てや教育環境に優れている場所だと思ったから



■環境やまちなみが魅力的であったから



《その他（自由回答）》

【住まい】

○ペット可

- ・ペット可だから
- ・ペットが飼える
- ・ペット可だったから

○駐車場・ガレージ

- ・駐車場付き
- ・ガレージがあったため
- ・ガレージがあるから(通勤のため)

○自らが設計（注文住宅）

- ・自分で間取りした
- ・設計して建てた家だから満足している
- ・自分で建てました

○その他

- ・複数ある社宅で1番新しかったから
- ・子供が小さいので1Fに住みたかったから

【住環境】

○学校区や職場への距離

- ・職場に近い
- ・会社の近く、駅から近く
- ・会社に近い
- ・会社から近い
- ・学校区

○生活利便施設等が近い

- ・病院が近いから
- ・JRの新快速が止まるから
- ・交通の便利がよい
- ・駅近物件だったから
- ・駅近、買物等便利

○商売のため

- ・今はやめていますが、商売のため
- ・店舗経営の為

○住み慣れたところ

- ・妻の地元のため
- ・今まで住んでいるところだから
- ・飼い犬が、慣れている環境。(お散歩のコースが殆ど変わらない)

○その他

- ・南北に高い建物がなかった為

【その他】

○同居等

- ・同居のため
- ・嫁にきた
- ・家族の家があったためひっこした
- ・再婚の為
- ・嫁ぎ先
- ・親が以前から住んでいて、同居するため。
- ・相続により不明
- ・両親が住んでいた家に入居
- ・親の家(実家)

○寮・宿舎等

- ・社員寮なので、ここしか選べなかった。
- ・会社の寮
- ・会社からの指定

○居住できる場の確保

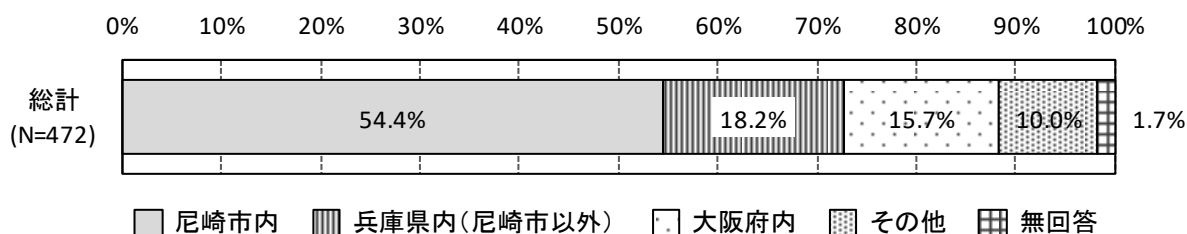
- ・住む所がなく、とりあえず
- ・離婚し住む所がなかったから
- ・借りられる物件が、ここしかなかったから
- ・阪神淡路大震災の後、住む所がなかったから

○その他

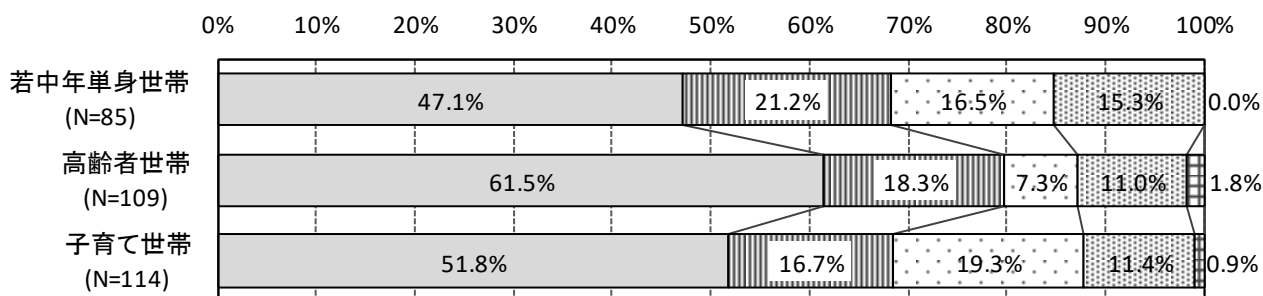
- ・事情が有り当地にて新築
- ・阪神大震災により抽選で入居
- ・病気のため
- ・市のすいせん
- ・親が決定した
- ・主人が勝手に決めたから
- ・土地は父親が購入のため不明 建物は老朽化による建替え
- ・物価がやや安いから
- ・都市計画により立ち退きの為
- ・となりがおかしい

⑩現在の住まいの直前に住んでいた場所（生まれた時から住んでいる世帯を除く）

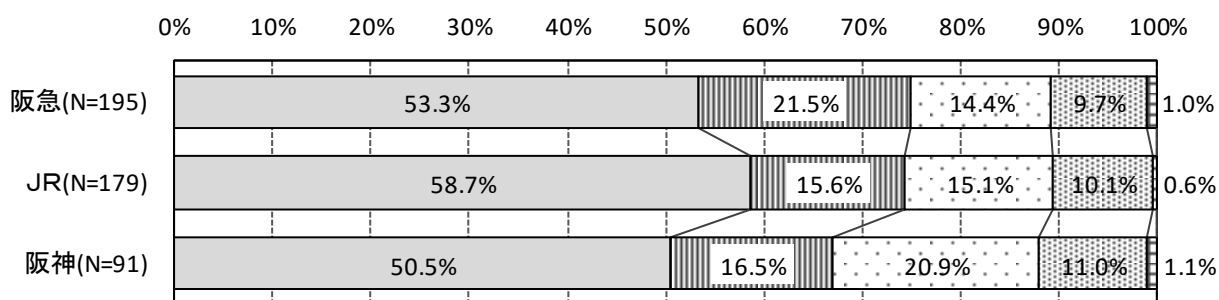
- ・「尼崎市内」が54.4%と最も多く、次いで「兵庫県内（尼崎市以外）」が18.2%、「大阪府内」が15.7%となっている。
- ・属性別にみると、阪急沿線は尼崎市以外の兵庫県内から、阪神沿線は大阪府内からの移転が比較的多くなっている。



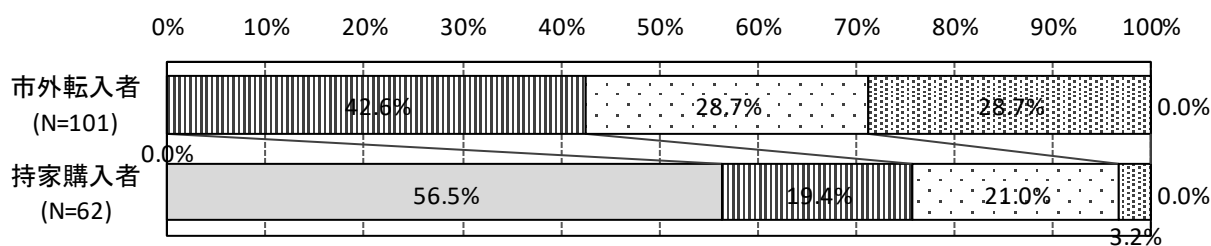
【世帯属性別】



【地域別】

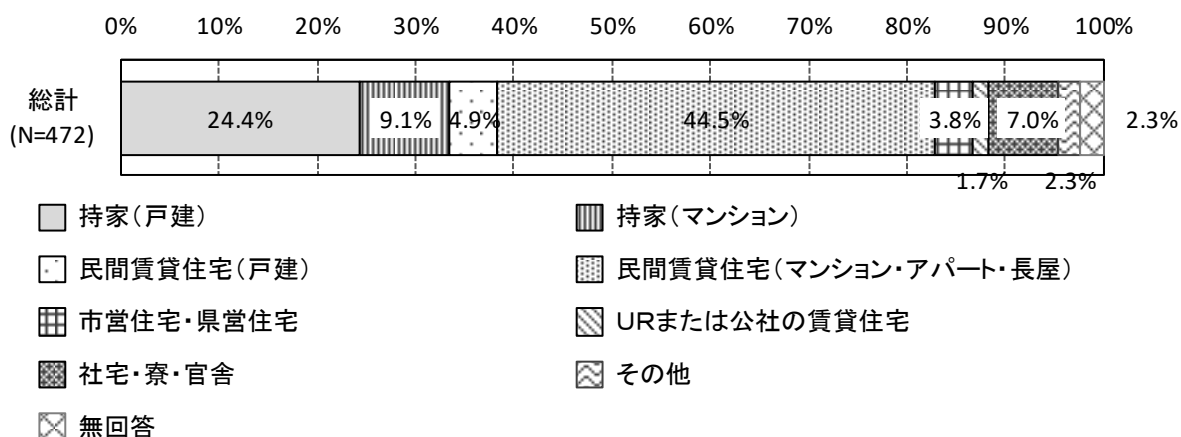


【新規転居者別】

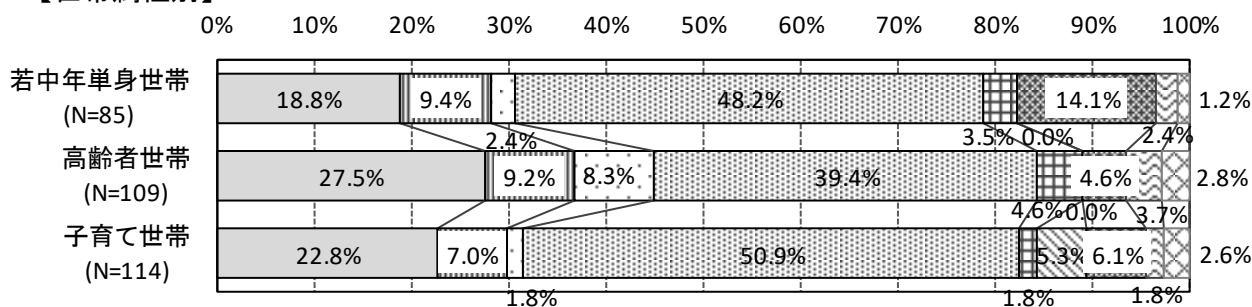


⑰現在の住まいの直前に住んでいた住宅種別（生まれた時から住んでいる世帯を除く）

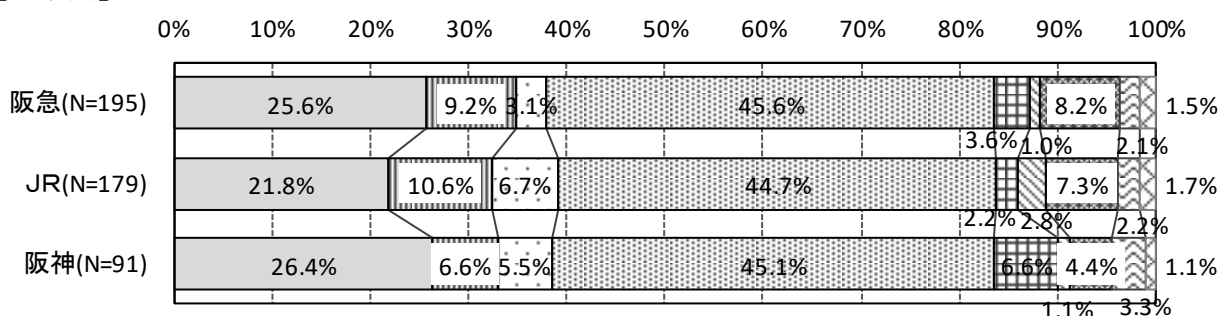
- ・「民間賃貸住宅（マンション・アパート・長屋）」が44.5%と最も多く、次いで「持家（戸建）」が24.4%、「持家（マンション）」が9.1%となっている。
- ・属性別にみると、持家購入者の32.3%は「持家（戸建）」、11.3%は「持家（マンション）」に住んでおり、約4割が持家から持家に引っ越している。



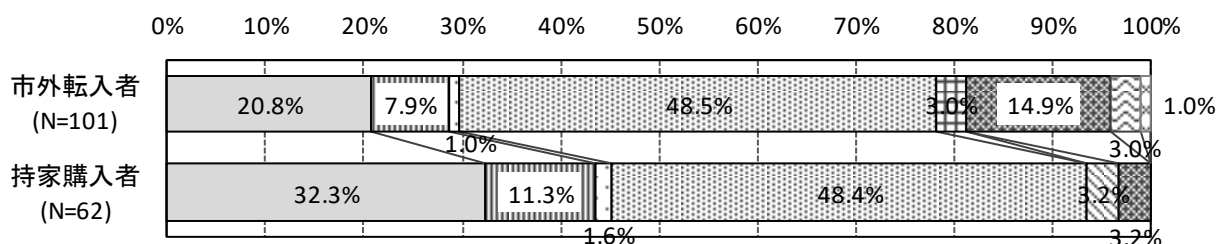
【世帯属性別】



【地域別】



【新規転居者別】

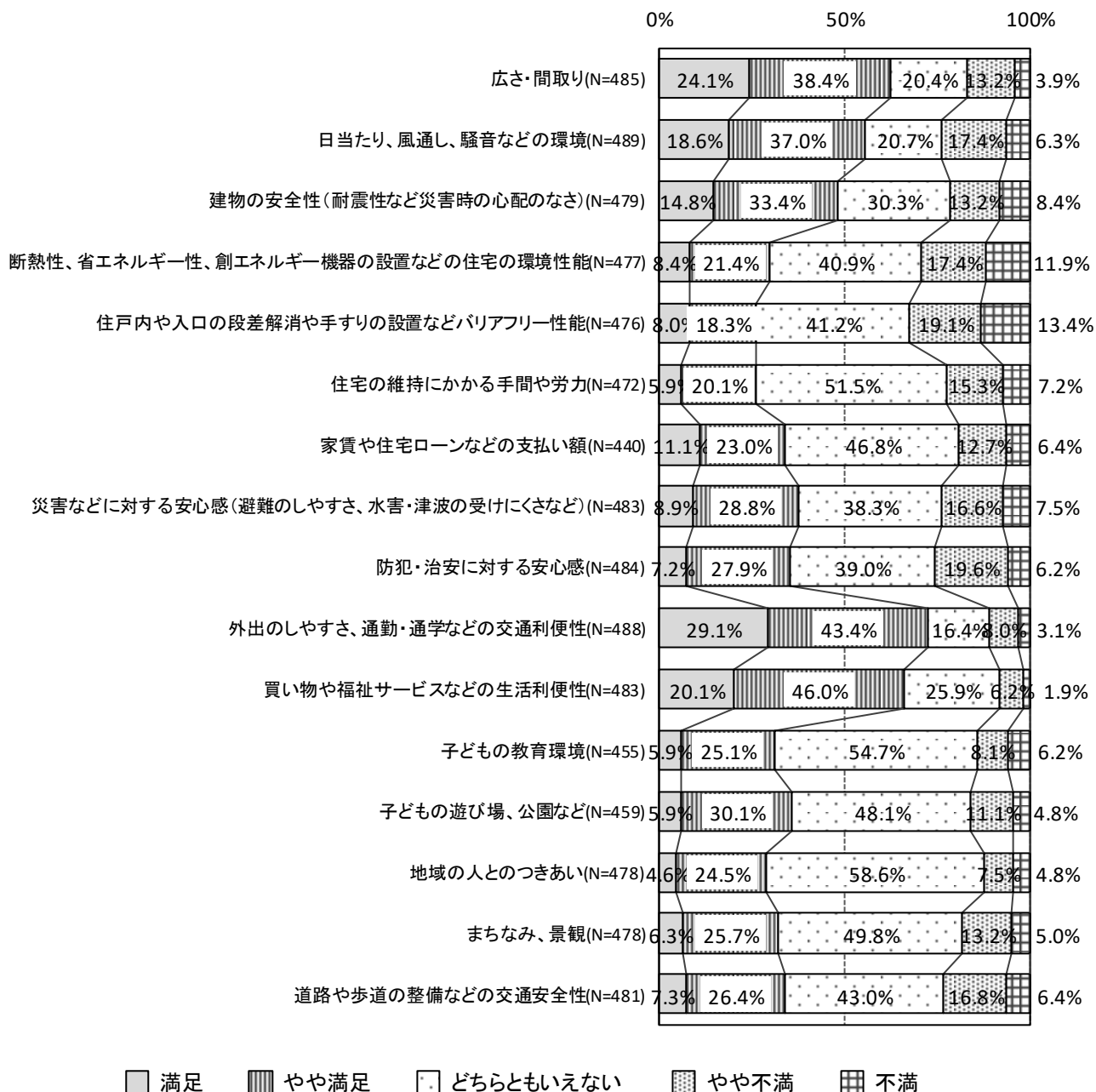


《その他（自由回答）》

- ・連棟（市場）
- ・知人宅
- ・県外、空き家
- ・親族所有の戸建住宅
- ・家族持家
- ・いそろう
- ・グループホーム

⑱現在の住まいの評価

- ・評価が高い（満足・やや満足）項目は「外出のしやすさ、通勤・通学などの交通利便性」「買い物や福祉サービスなどの生活利便性」「広さ・間取り」となっている。
- ・評価が低い（不満・やや不満）項目は「住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能」「断熱性、省エネルギー性、創エネルギー機器の設置などの住宅の環境性能」「防犯・治安に対する安心感」となっている。

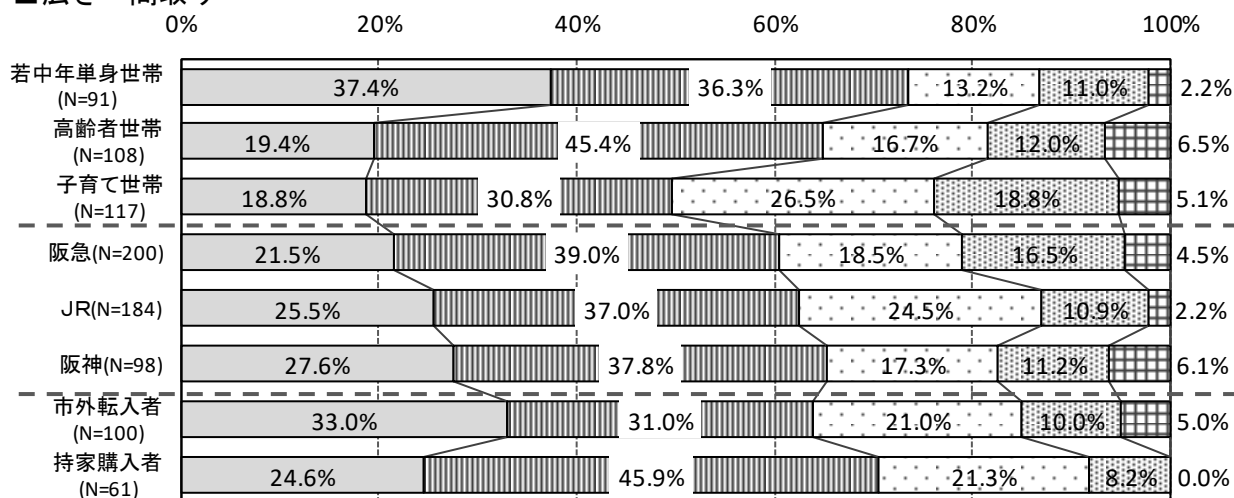


※無回答を除く

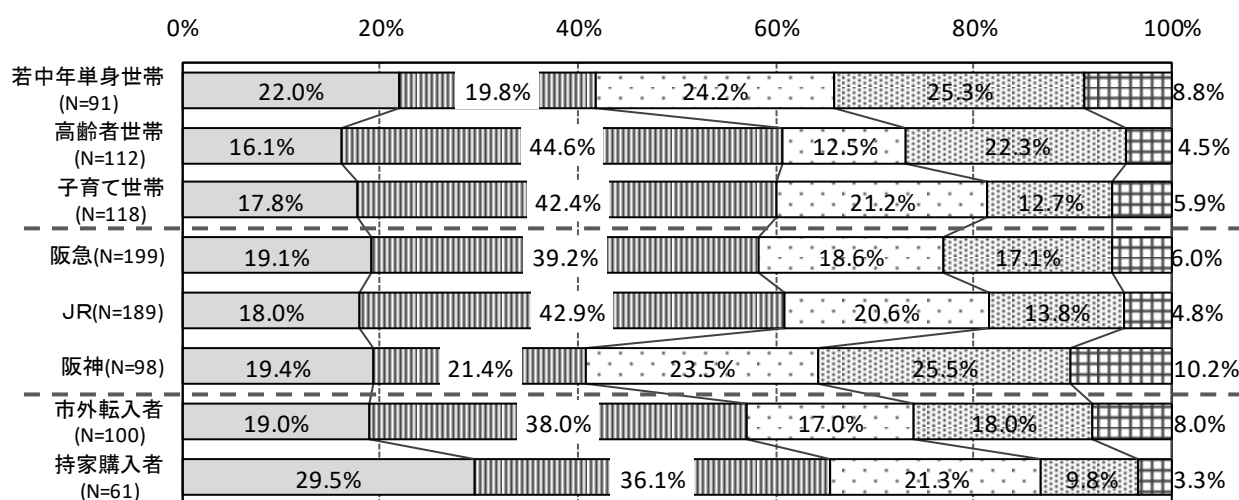
＜参考＞項目別、属性別の住まいの評価（無回答を除く）

- ・若中年単身世帯は「広さ・間取り」「住宅の維持にかかる手間や労力」「外出のしやすさ、通勤・通学などの交通利便性」の評価が比較的高く、「日当たり、風通し、騒音などの環境」「子どもの教育環境」「子どもの遊び場、公園など」「地域の人とのつきあい」の評価が比較的低い。
- ・高齢者世帯は「災害などに対する安心感」「防犯・治安に対する安心感」「まちなみ、景観」「道路や歩道の整備などの交通安全性」の評価が比較的高く、「建物の安全性」の評価が比較的低い。
- ・子育て世帯は「子どもの教育環境」「子どもの遊び場、公園など」の評価が比較的高く、「広さ・間取り」の評価が比較的低い。
- ・阪急沿線は「断熱性、省エネルギー性、創エネルギー機器の設置などの住宅の環境性能」「子どもの教育環境」「子どもの遊び場、公園など」「まちなみ、景観」の評価が比較的高い。
- ・阪神沿線は「道路や歩道の整備などの交通安全性」の評価が比較的高く、「日当たり、風通し、騒音などの環境」「建物の安全性」「災害などに対する安心感」「防犯・治安に対する安心感」の評価が比較的低い。
- ・市外転入者は「住宅の維持にかかる手間や労力」の評価が比較的高く、「災害などに対する安心感」の評価が比較的低い。
- ・持家購入者は「日当たり、風通し、騒音などの環境」「建物の安全性」「住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能」「子どもの教育環境」「子どもの遊び場、公園など」「まちなみ、景観」の評価が比較的高い。

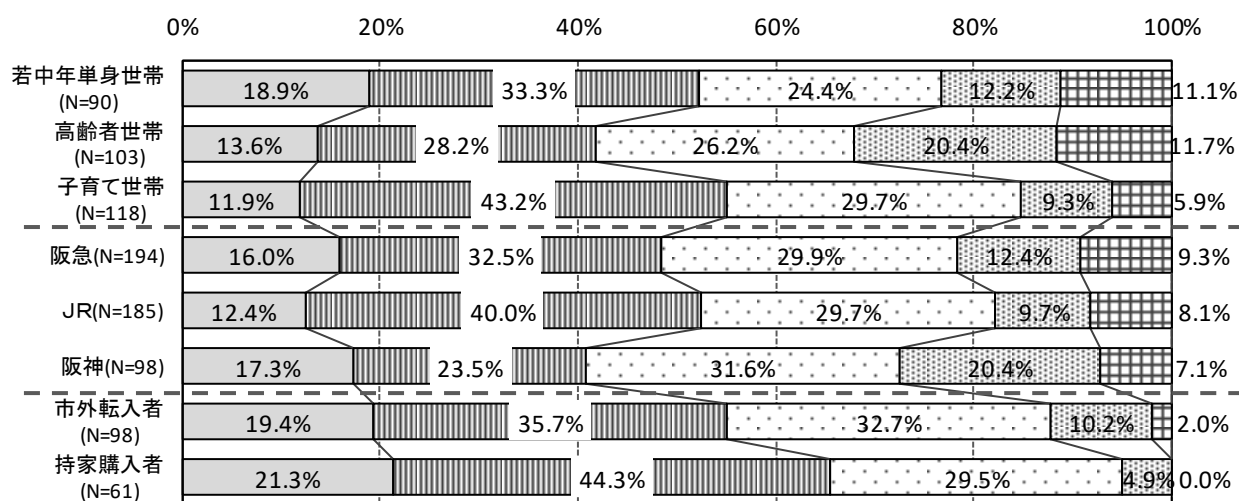
■広さ・間取り



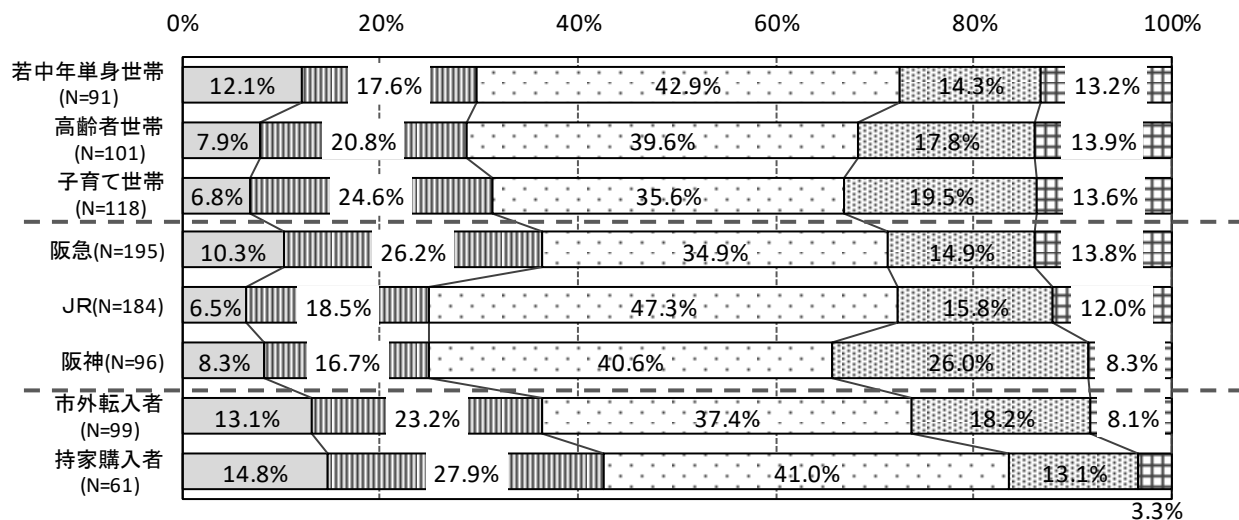
■日当たり、風通し、騒音などの環境



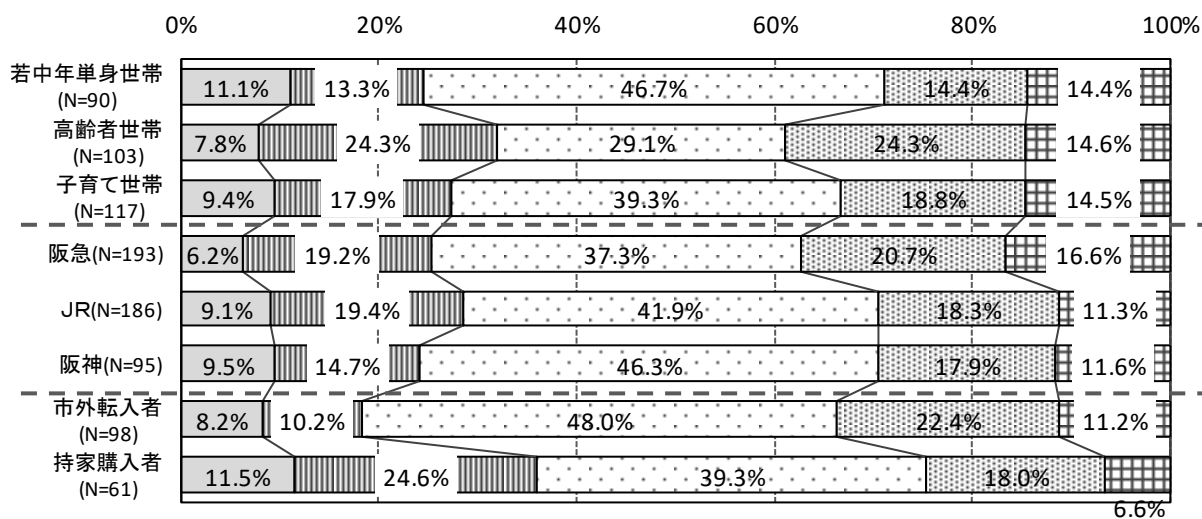
■建物の安全性（耐震性など災害時の心配のなさ）



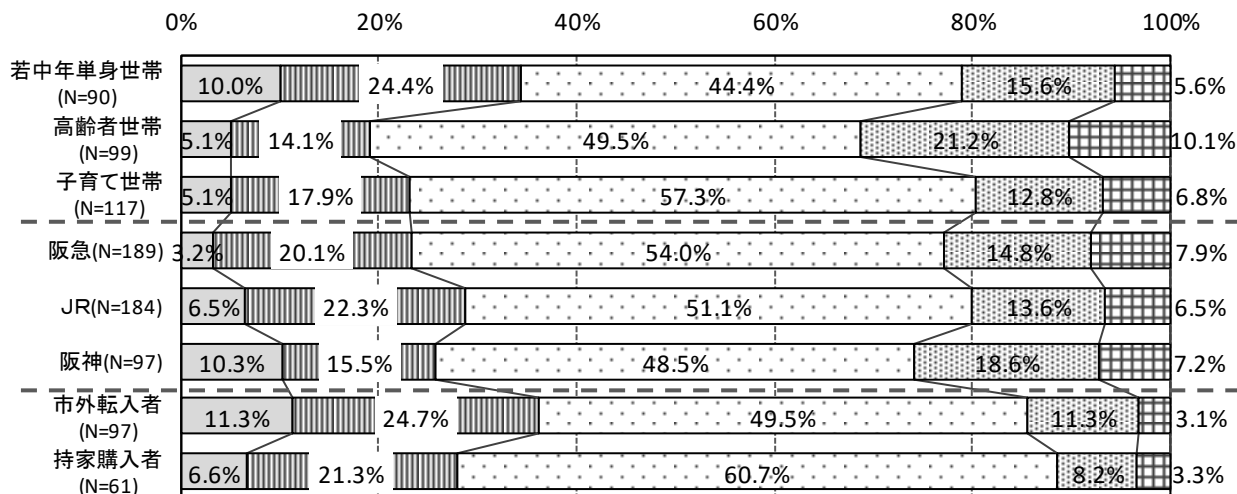
■断熱性、省エネルギー性、創エネルギー機器の設置などの住宅の環境性能



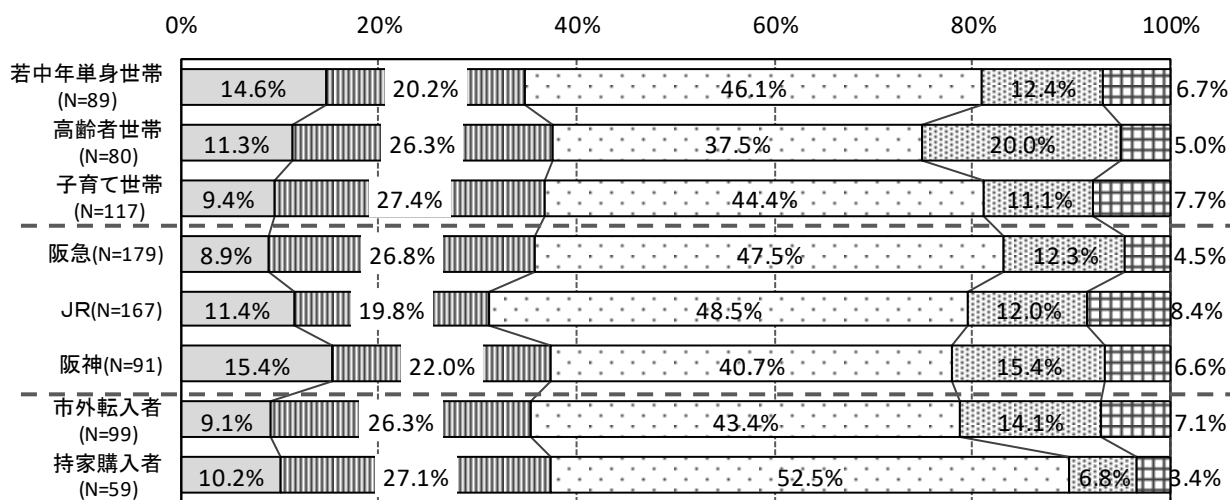
■住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能



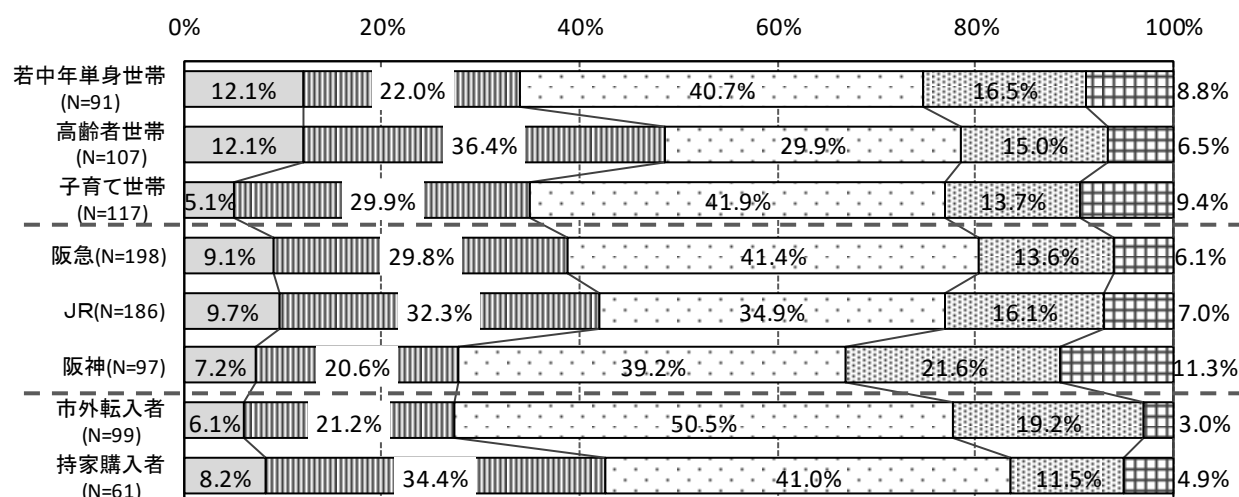
■住宅の維持にかかる手間や労力



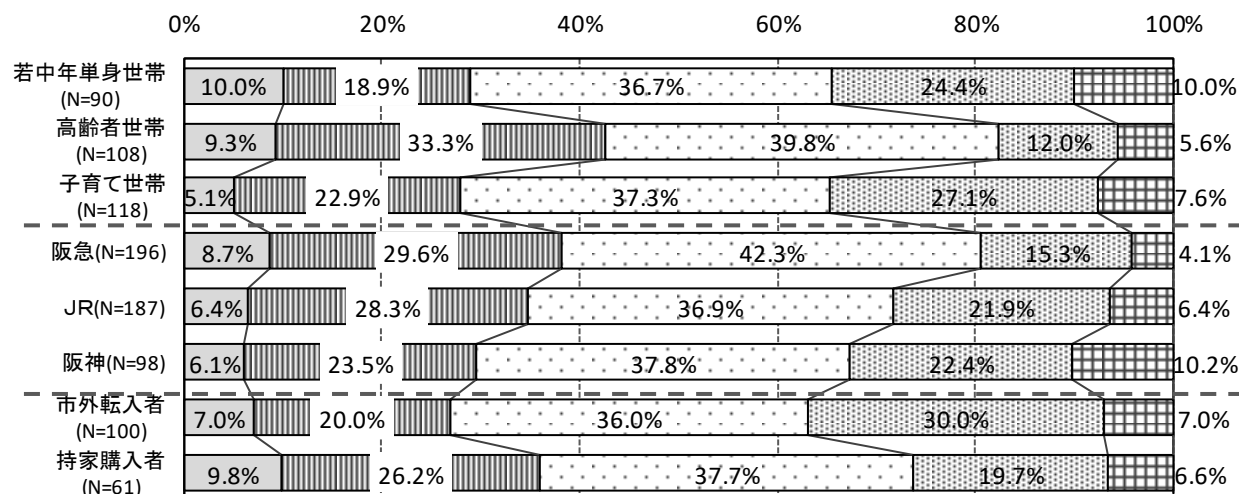
■家賃や住宅ローンなどの支払い額



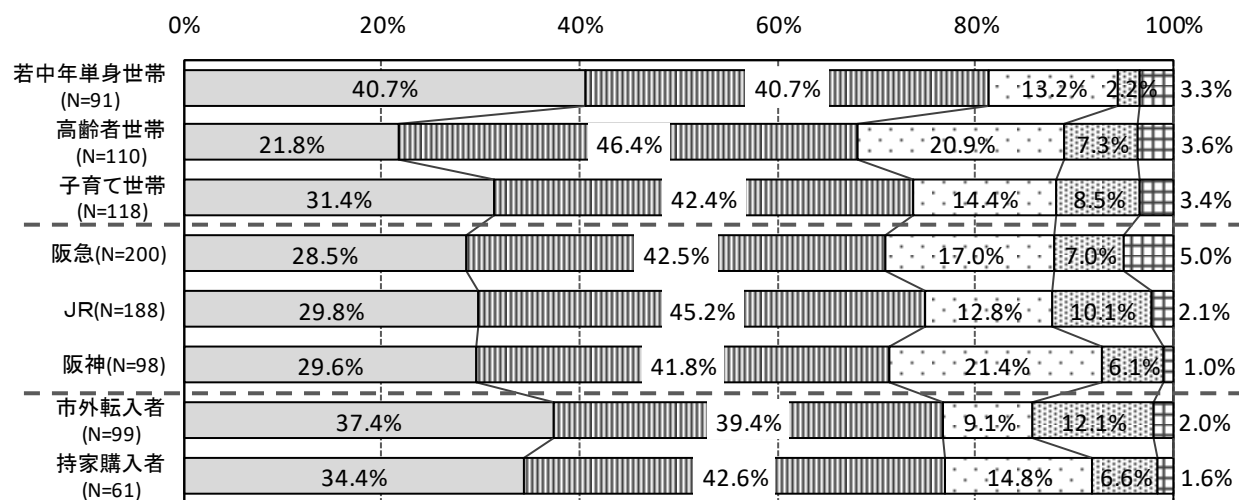
■災害(火災・地震・水害)などに対する安心感(避難のしやすさ、水害・津波の受けにくさなど)



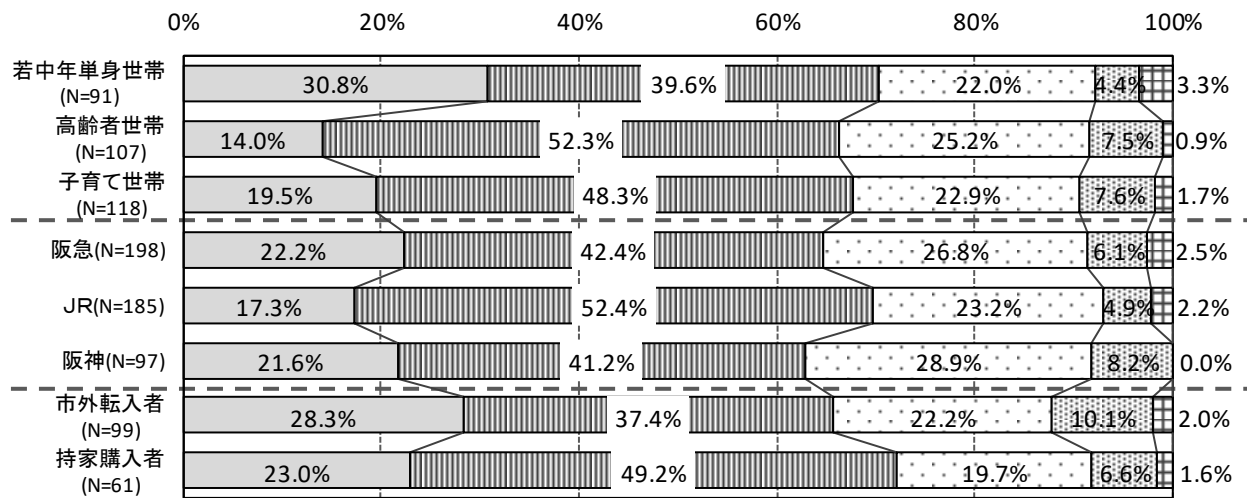
■防犯・治安に対する安心感



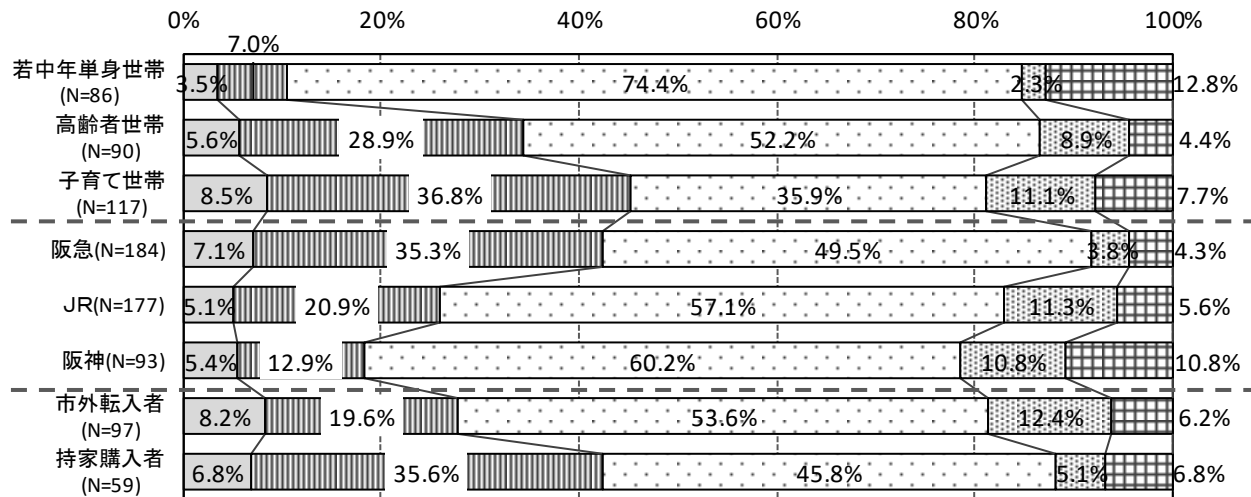
■外出のしやすさ、通勤・通学などの交通利便性



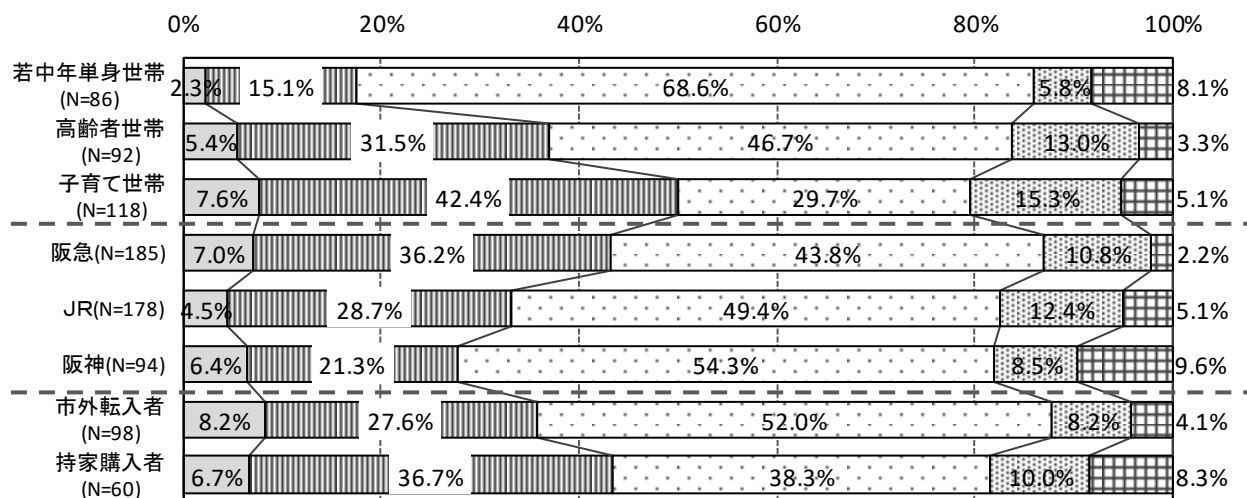
■ 買い物や福祉サービスなどの生活利便性



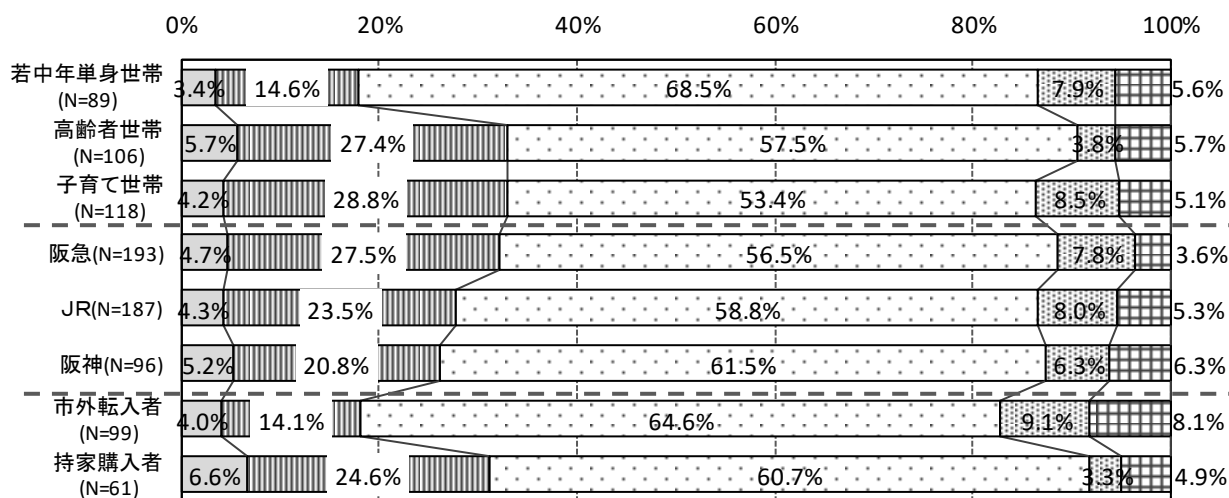
■ 子どもの教育環境



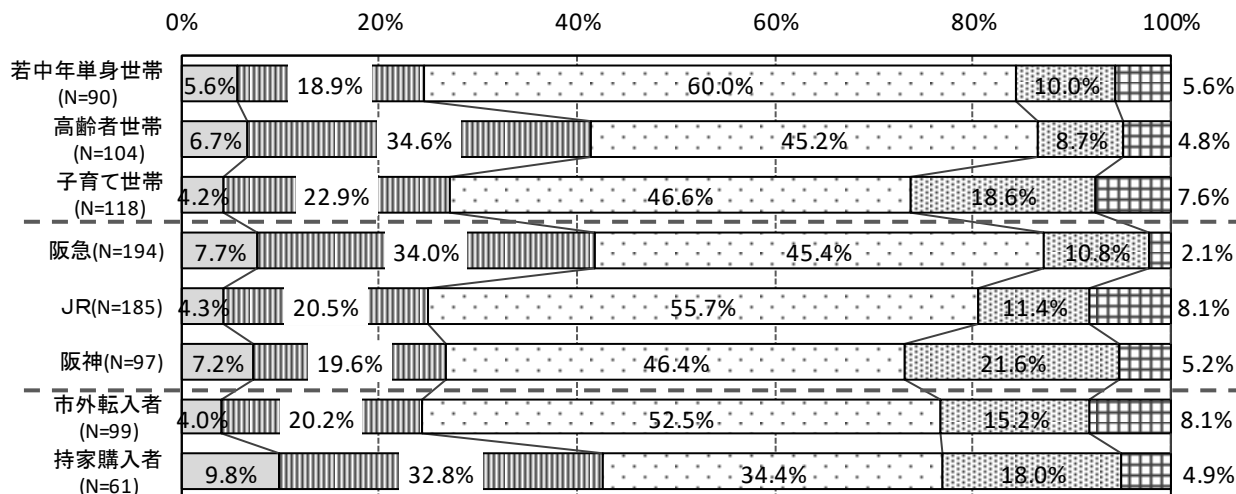
■ 子どもの遊び場、公園など



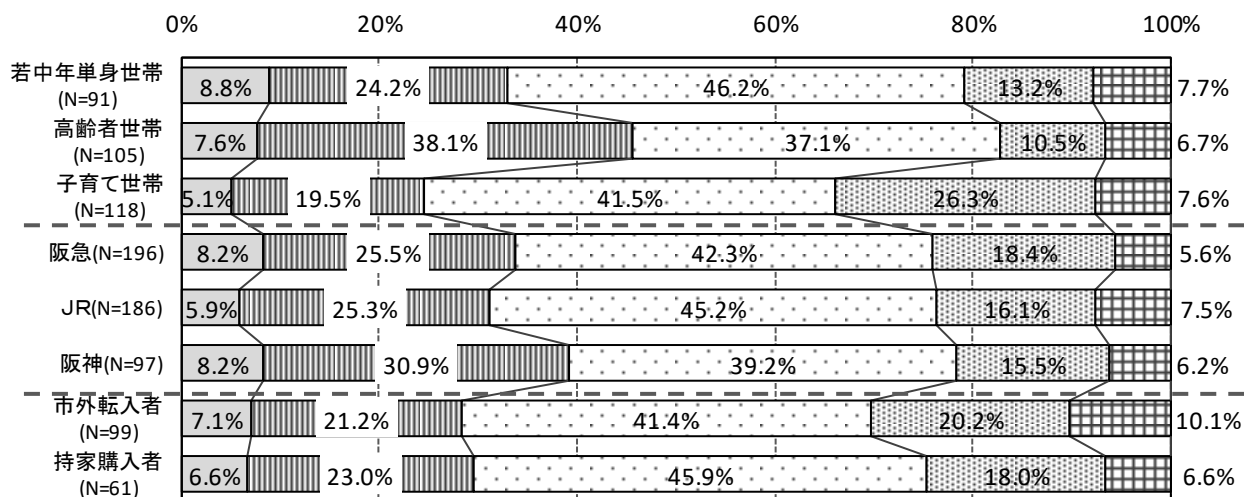
■地域の人とのつきあい



■まちなみ、景観

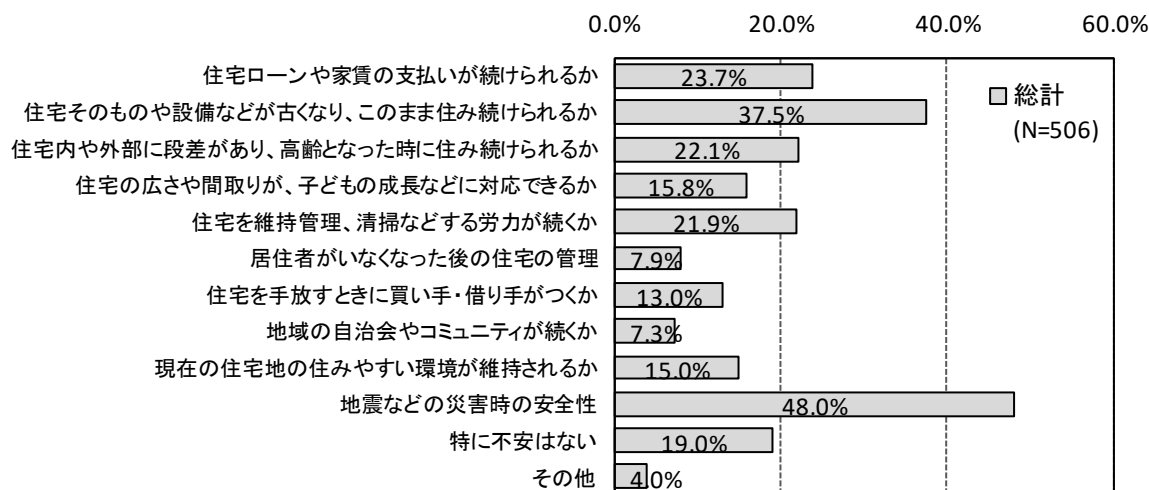


■道路や歩道の整備などの交通安全性



⑱将来的な不安

・「地震などの災害時の安全性」が48.0%と最も多く、次いで「住宅そのものや設備などが古くなり、このまま住み続けられるか」が37.5%、「住宅ローンや家賃の支払いが続けられるか」が23.7%となっている。



《その他（自由回答）》

○災害

- ・火事の際にげられるか
- ・武庫川の堤防は安全か?
- ・つなみ/武庫川の氾濫
- ・1階の為、水災害の時の逃げ場所

○周辺環境

- ・周辺の治安が維持できるか
- ・電車の騒音で眠れない
- ・都市計画の変更で環境が変化する事
- ・マンションが乱建しており、人口が増加し、教育環境が整うのか不安
- ・魚屋等による、側溝へのたれ流しによる衛生面
- ・近隣住人の嫌がらせひどい
- ・街にゴミが多い。こんな汚い街は初めて!!タバコのポイ捨て多い。車で一時停止しない。
- ・となりの境界線のブロックをひびわれし道側でたおれるおそれあり、困っている。たおれたらどちらの責任になるか?

○設備

- ・家主がメンテナンスをしないので、設備がもっと古くなったら、どうなるのか不安です。
- ・エレベーターがないので老後が不安

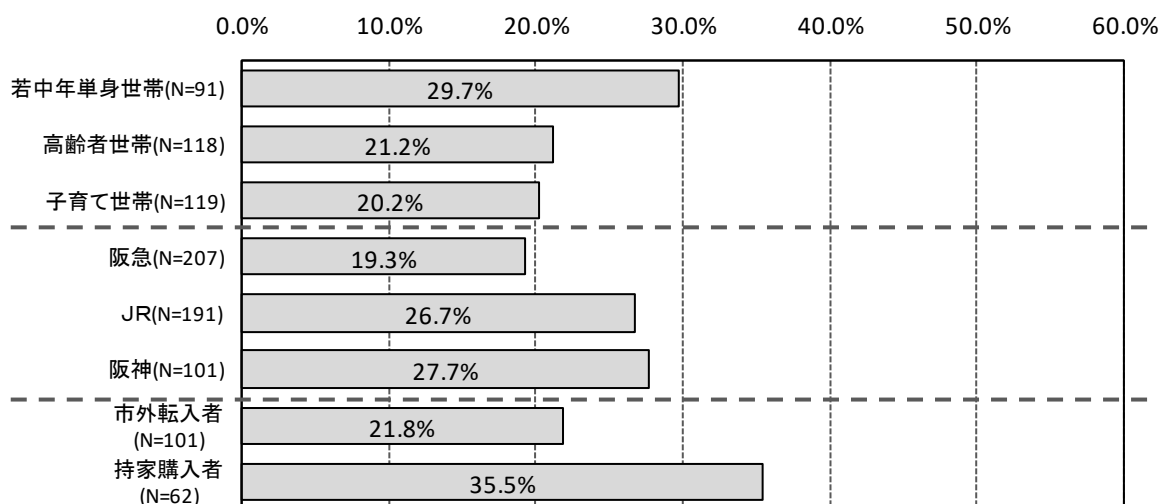
○その他

- ・税金(相続・固定資産税)の支払い
- ・年が高令者のため不安
- ・引っ越しする予定
- ・低所得、及弱者ばかりの世帯なので将来的な希望があまりないこと
- ・子供たちが出て行った後の夫婦2人の住居の広さ
- ・施設なので出ていきたいが、市営も県住も応募してるが全く当たらない

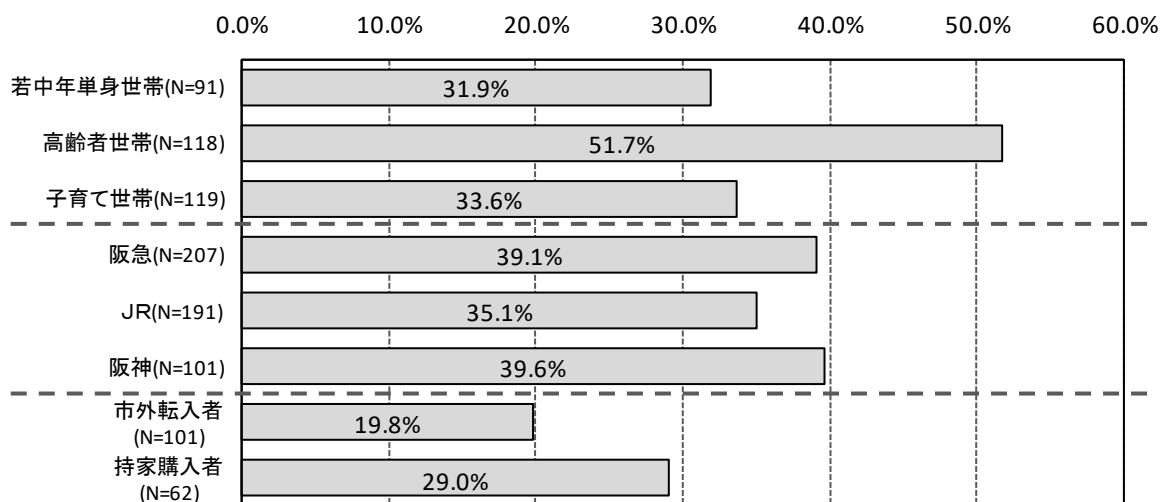
<参考>項目別、属性別の将来の不安

- ・世帯属性別にみると、高齢者世帯は「住宅そのものや設備などが古くなり、このまま住み続けられるか」「住宅内や外部に段差があり、高齢となった時に住み続けられるか」「住宅を維持管理、清掃などする労力が続くか」について、子育て世帯は「住宅の広さや間取りが、子どもの成長などに対応できるか」について不安を感じている割合が比較的高い。
- ・地域別にみると、JR沿線で「現在の住宅地の住みやすい環境が維持されるか」について不安を感じている割合が比較的高い。
- ・持家購入者は「住宅ローンや家賃の支払いが続けられるか」「住宅を手放すときに買い手・借り手が見つるか」「現在の住宅地の住みやすい環境が維持されるか」について不安を感じている割合が比較的高い。

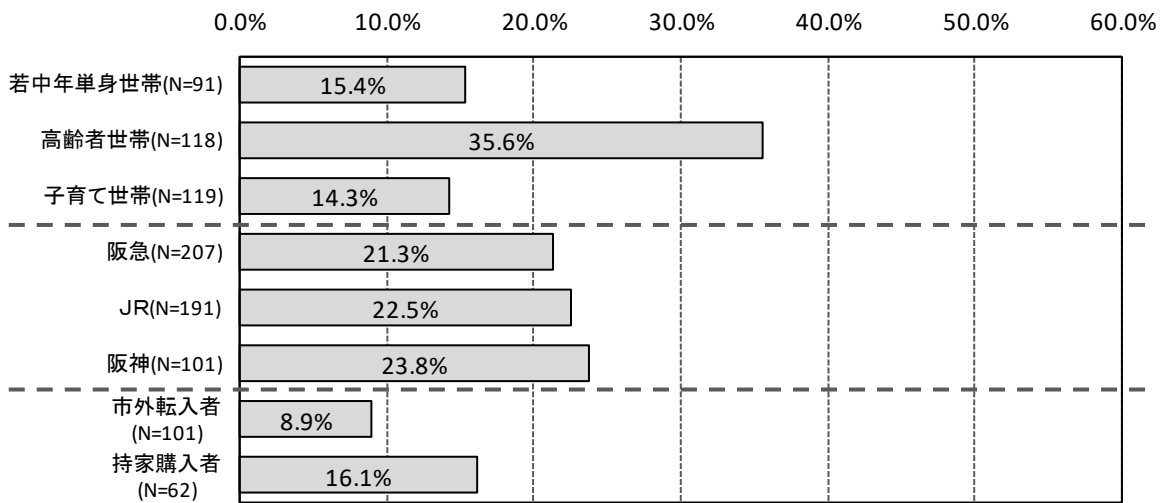
■住宅ローンや家賃の支払いが続けられるか



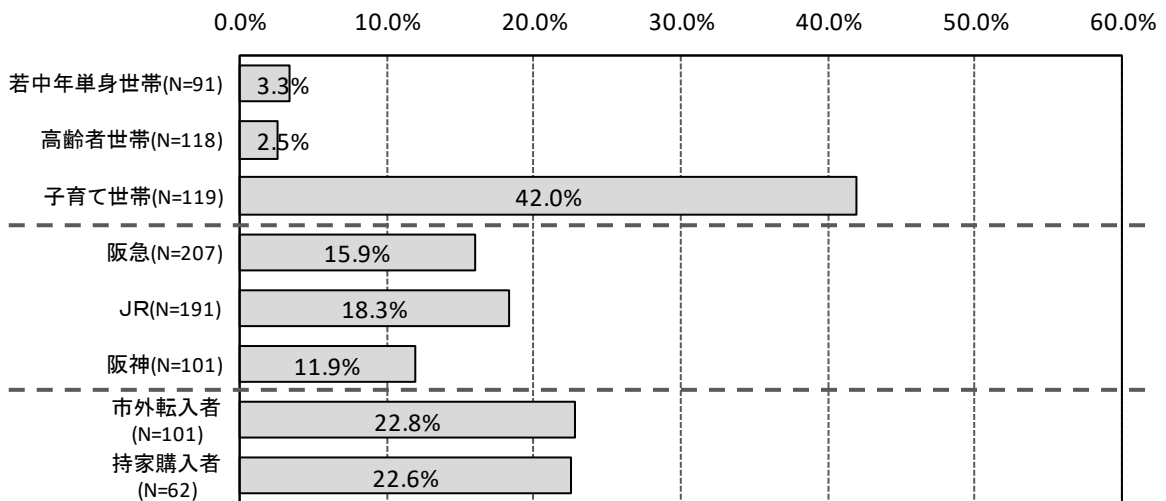
■住宅そのものや設備などが古くなり、このまま住み続けられるか



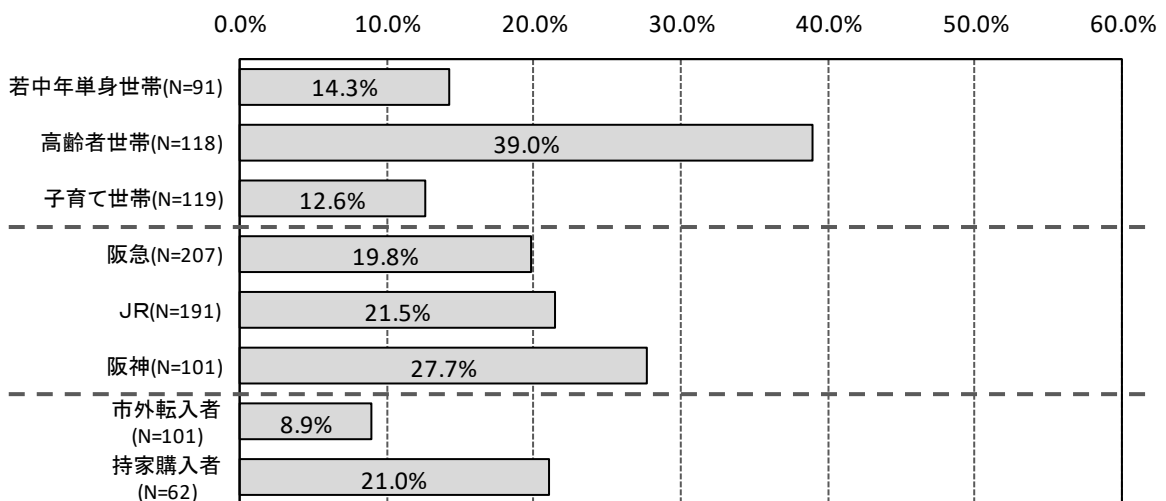
■住宅内や外部に段差があり、高齢となった時に住み続けられるか



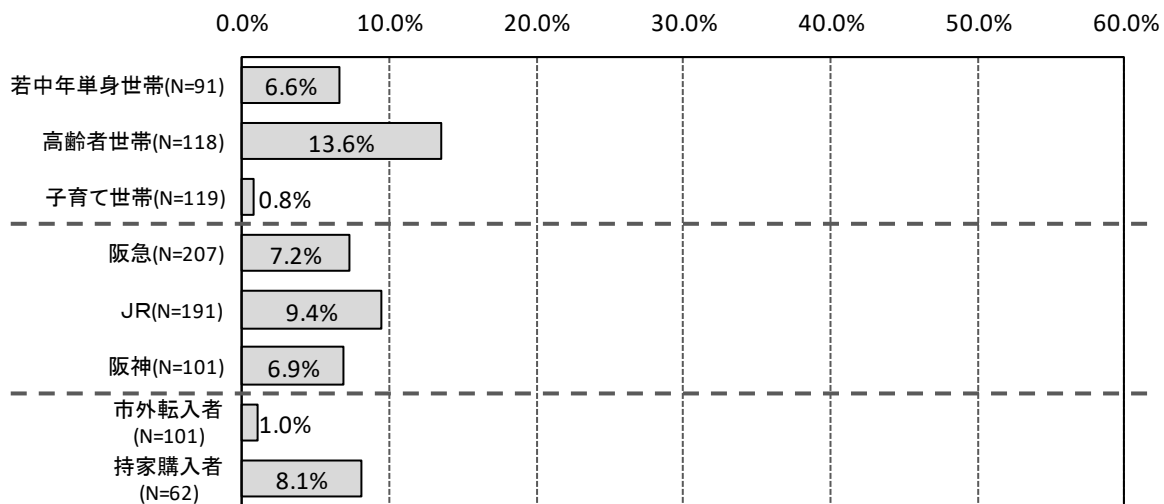
■住宅の広さや間取りが、子どもの成長などに対応できるか



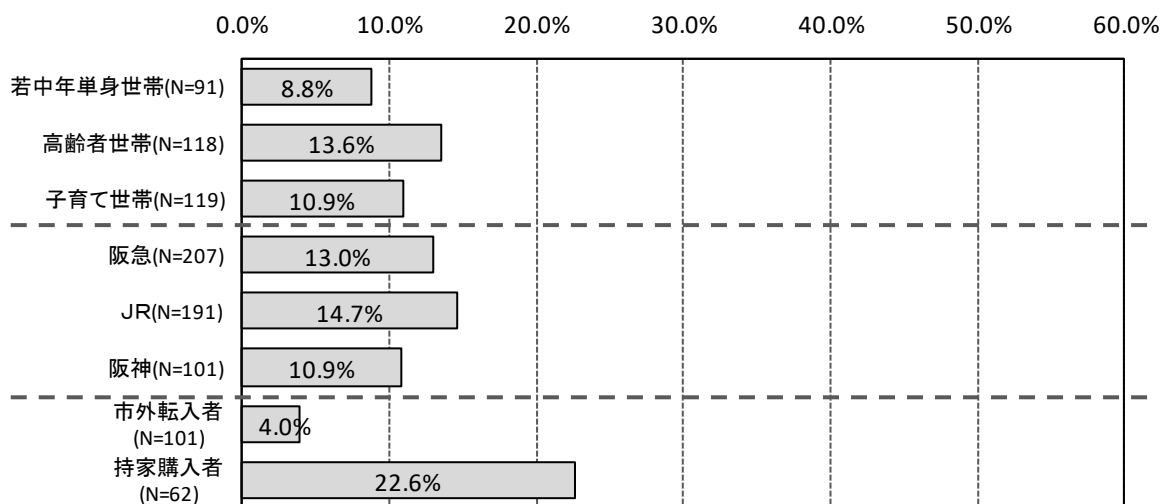
■住宅を維持管理、清掃などする労力が続くか



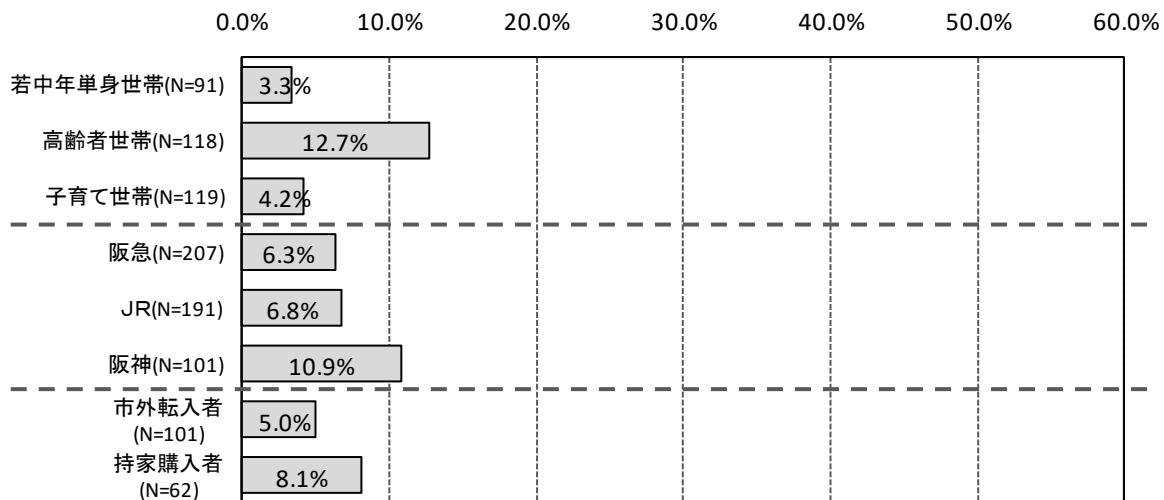
■居住者がいなくなった後の住宅の管理



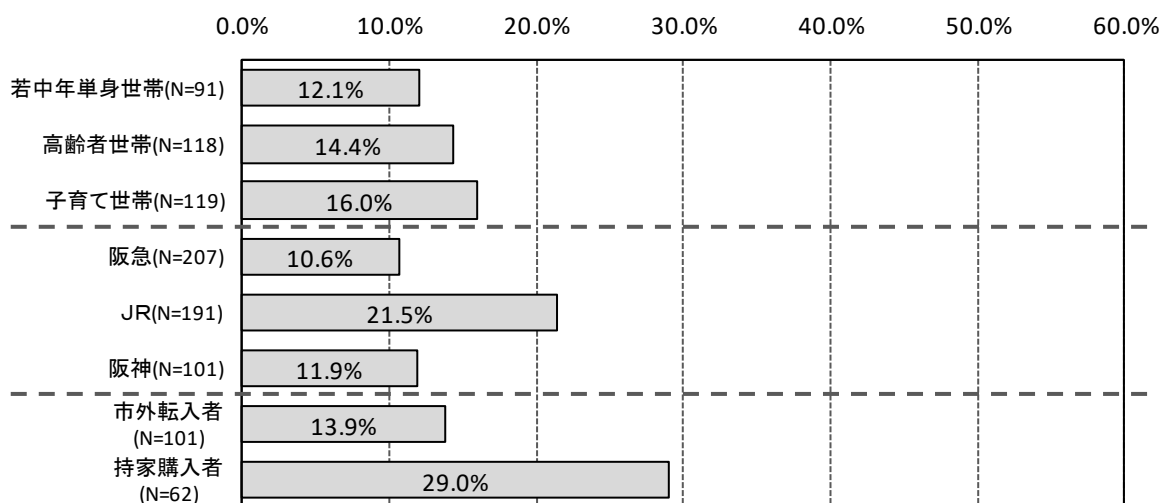
■住宅を手放すときに買い手・借り手がつくか



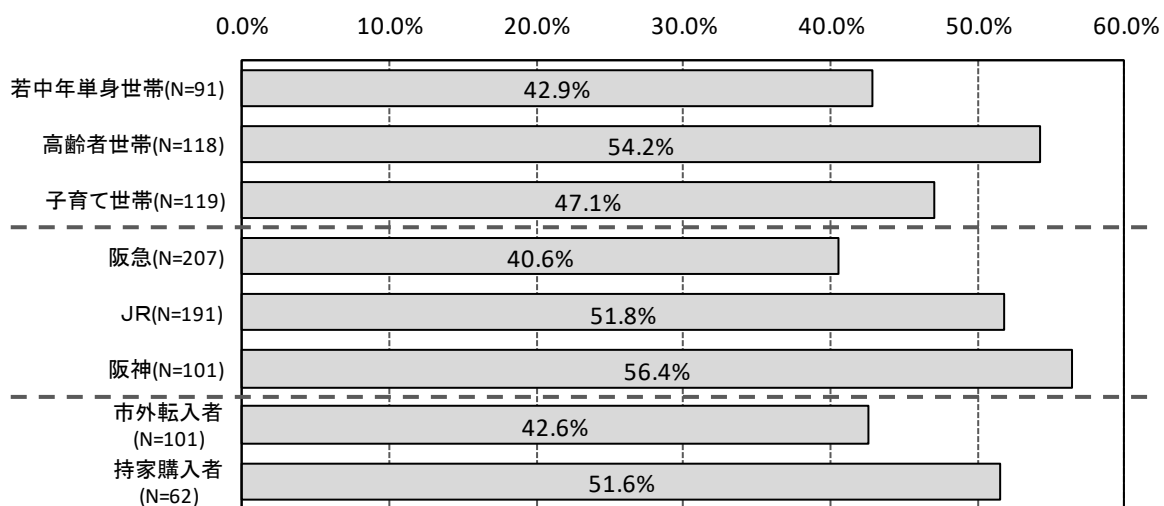
■地域の自治会やコミュニティが続くか



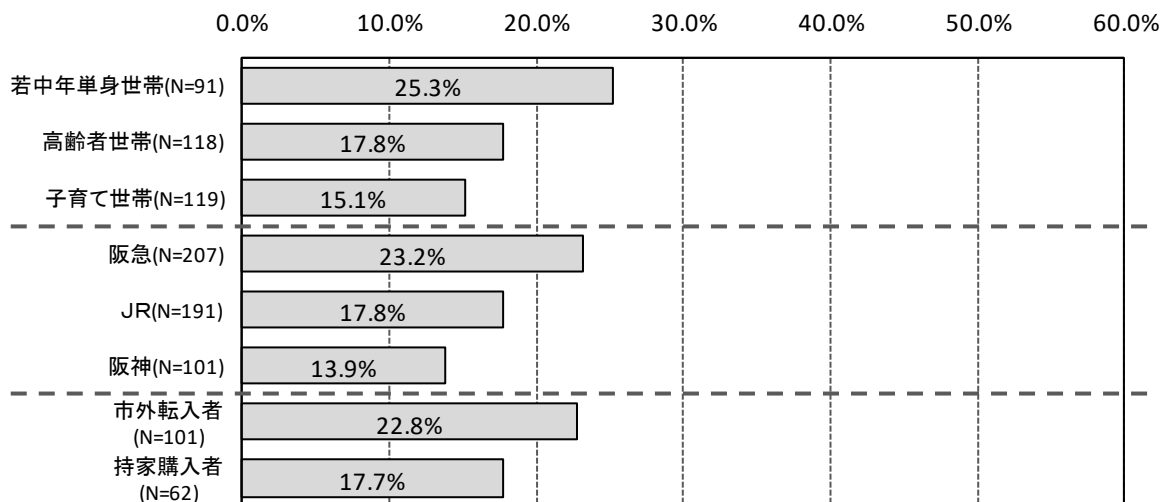
■現在の住宅地の住みやすい環境が維持されるか



■地震などの災害時の安全性

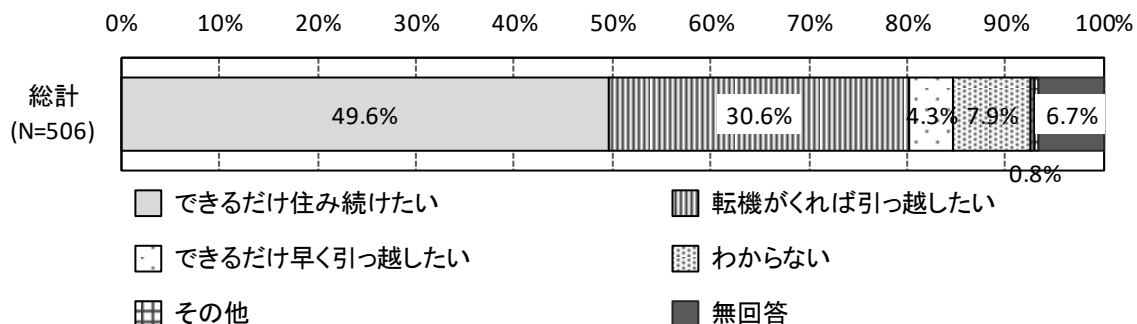


■特に不安はない



②現在の住まいに住み続けたいか

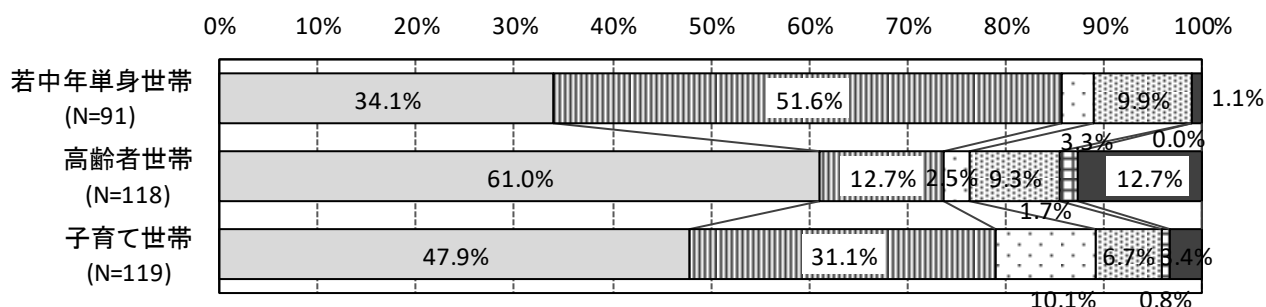
- ・「できるだけ住み続けたい」が49.6%と約半数を占めている。一方、「転機がくれば引っ越したい」は30.6%、「できるだけ早く引っ越したい」は4.3%となっている。
- ・属性別にみると、若中年単身世帯と市外転入者の半数以上は転機がくれば引っ越したいと考えている。



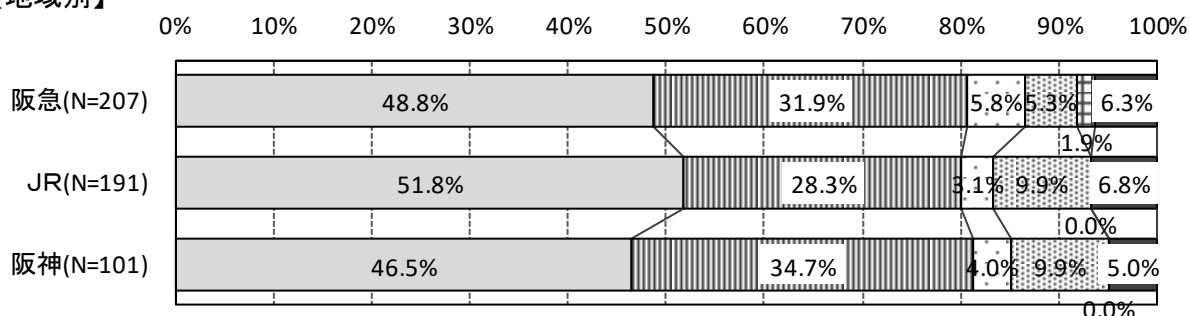
《その他（自由回答）》

- ・わからない
- ・マイホーム購入
- ・二階の上り下りが困難
- ・できれば引っ越したいのですが、高齢者には貸さないことが多いと聞いています

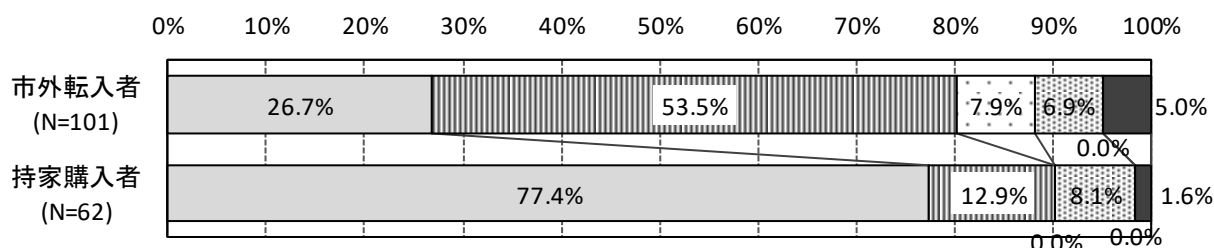
【世帯属性別】



【地域別】

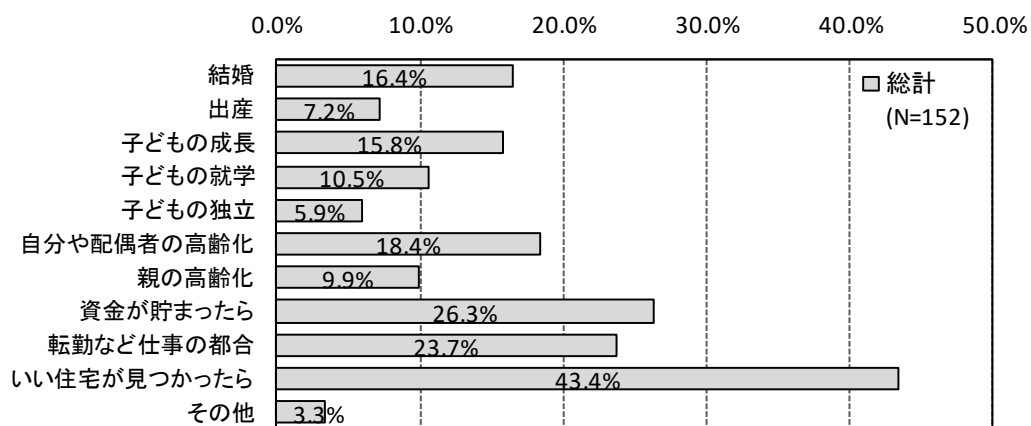


【新規転居者別】



②①どのような転機で引っ越すか（転機がくれば引っ越したいと回答した世帯）

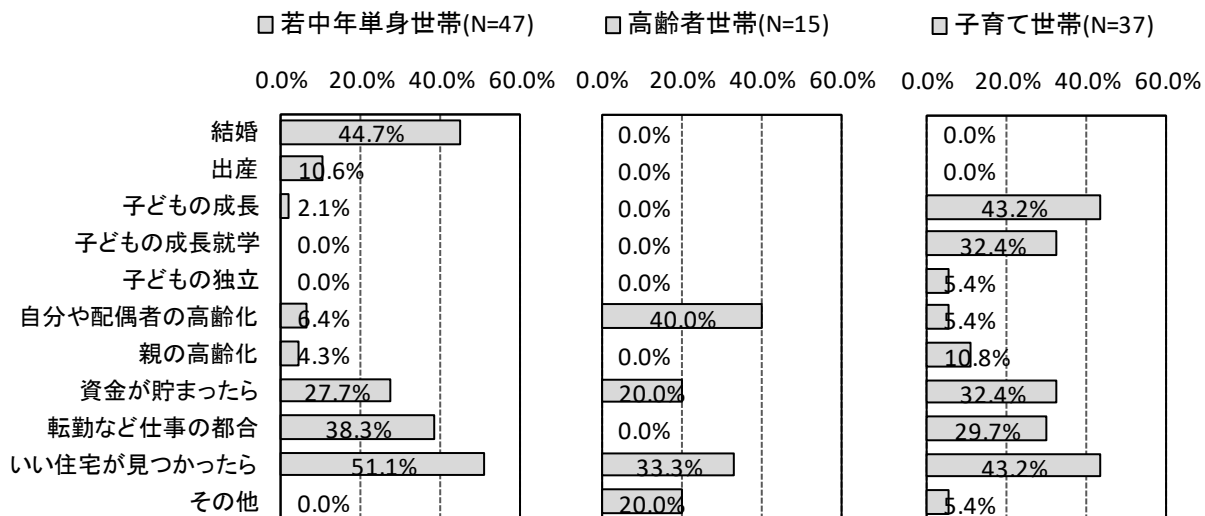
・「いい住宅が見つかったら」が43.4%と最も多く、次いで「資金が貯まったら」が26.3%、「転勤など仕事の都合」が23.7%となっている。



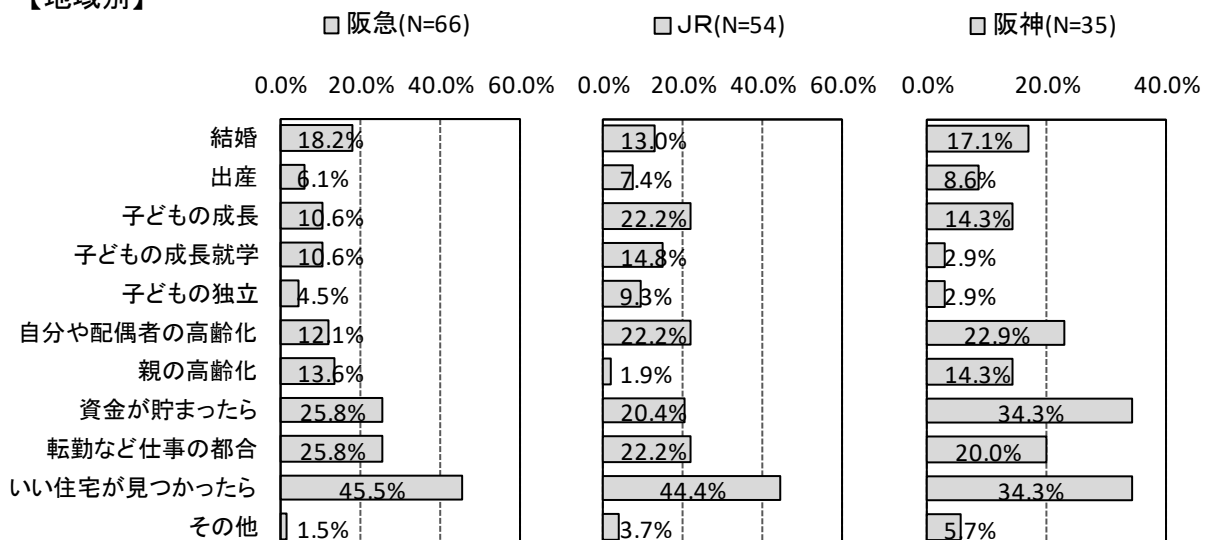
《その他（自由回答）》

- ・ 自分の定年退職
- ・ エレベータのあるところ
- ・ 老朽化
- ・ ペットが居なくなったら
- ・ 近隣いやがらせがなくなったら住みたい
- ・ 市営が当たったら

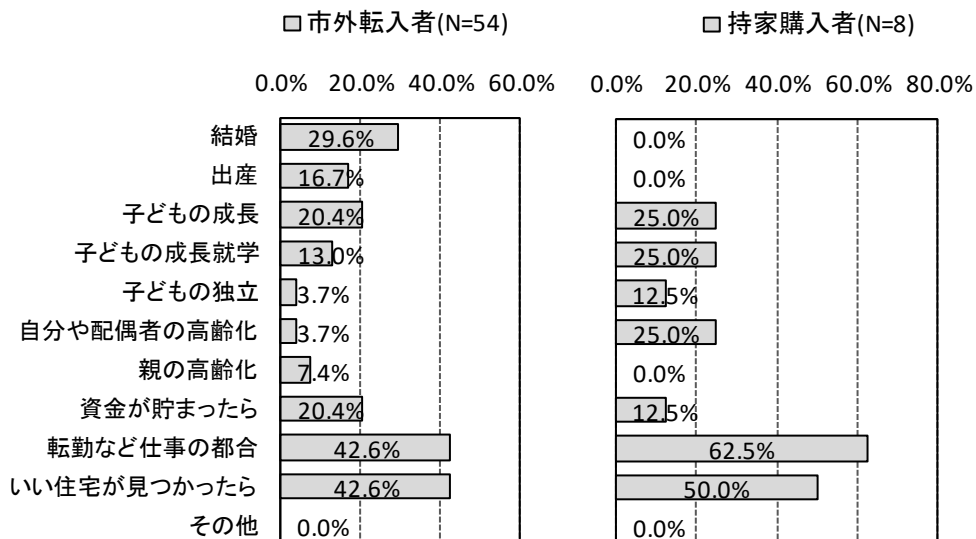
【世帯属性別】



【地域別】

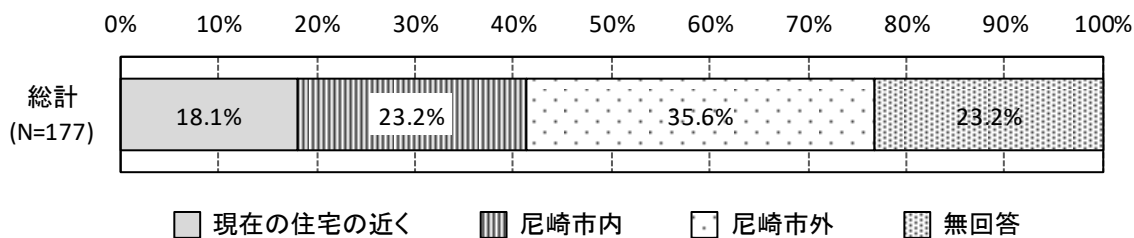


【新規転居者別】



②引っ越し先の希望場所（転機がくれば引っ越したい、できるだけ早く引っ越したいと回答した世帯）

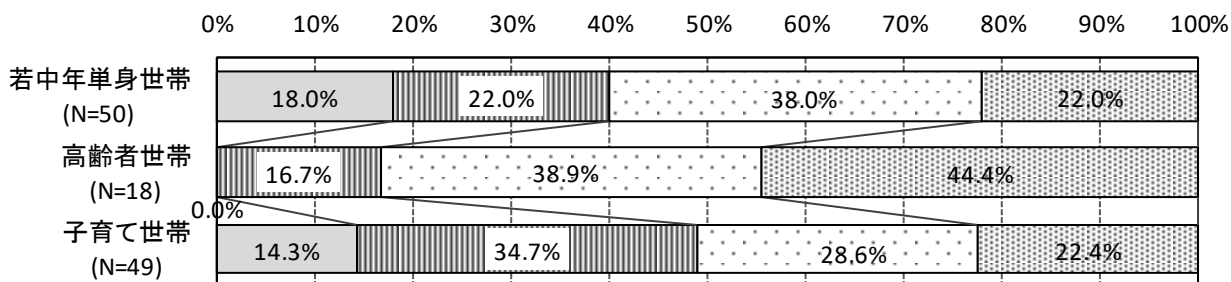
- ・「尼崎市外」が 35.6%と最も多く、次いで「尼崎市內」が 23.2%、「現在の住宅の近く」が 18.1%となっている。
- ・属性別にみると、高齢者世帯は「現在の住宅の近く」を希望していない。また子育て世帯は約半数が尼崎市內への引っ越しを希望している。一方、市外転入者は約半数が尼崎市外への引っ越しを希望している。



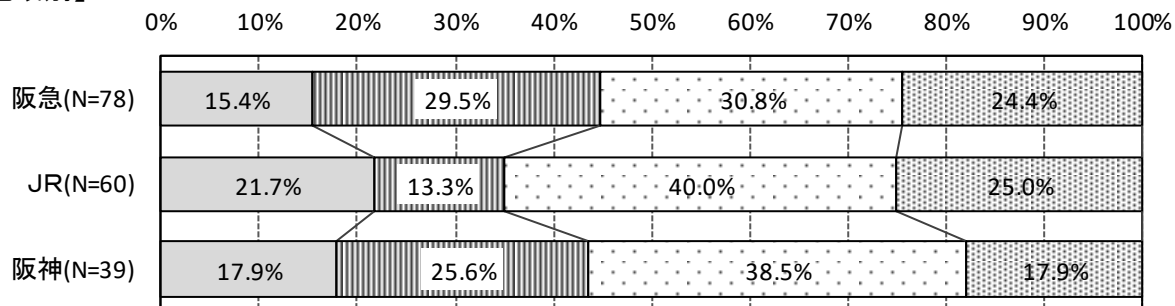
《その他（自由回答）》

- ・未定
- ・社宅
- ・場合による

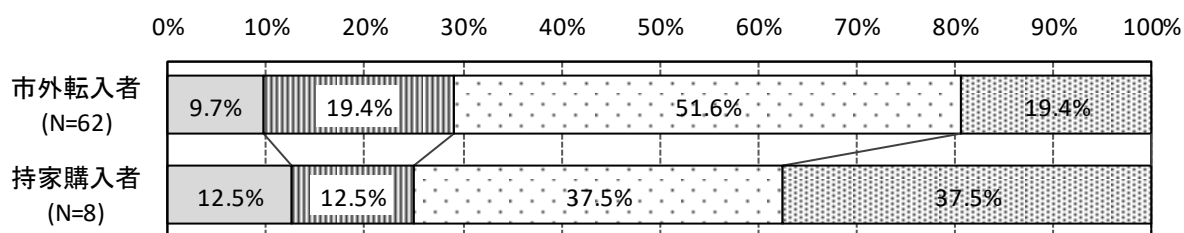
【世帯属性別】



【地域別】

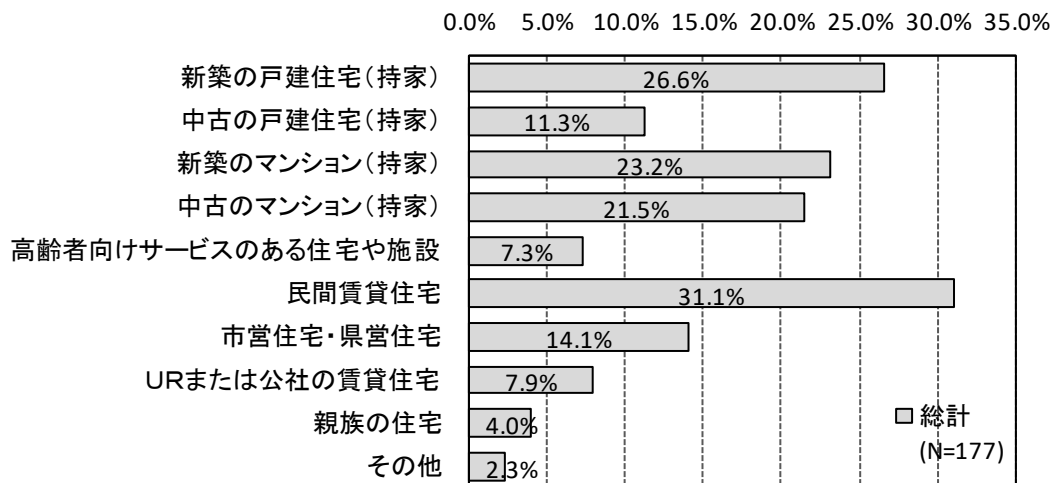


【新規転居者別】

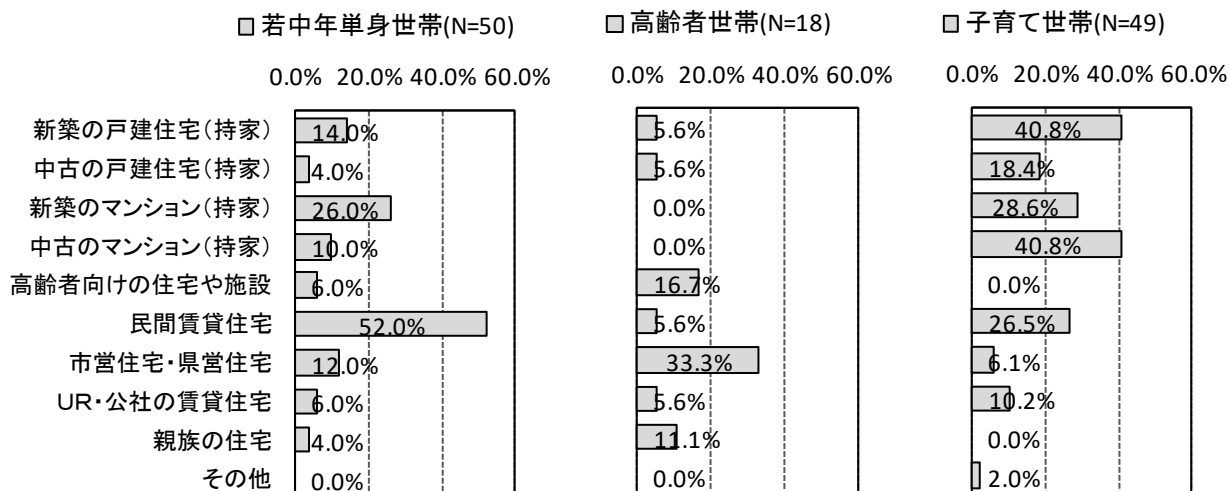


②③引っ越し先の希望住宅種別（転機がくれば引っ越したい、できるだけ早く引っ越したいと回答した世帯）

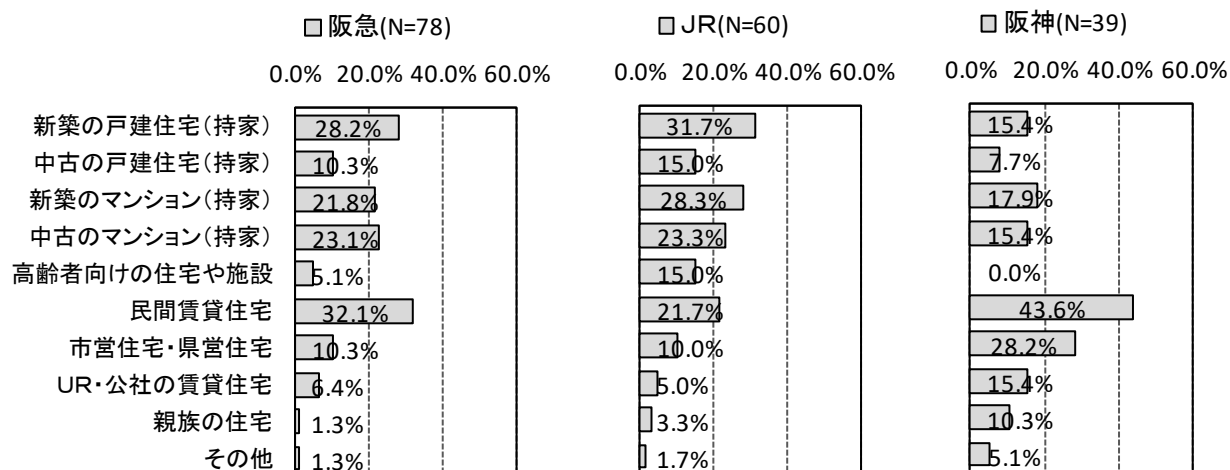
・「民間賃貸住宅」が31.1%と最も多く、次いで「新築の戸建住宅」が26.6%、「新築のマンション」が23.2%となっている。



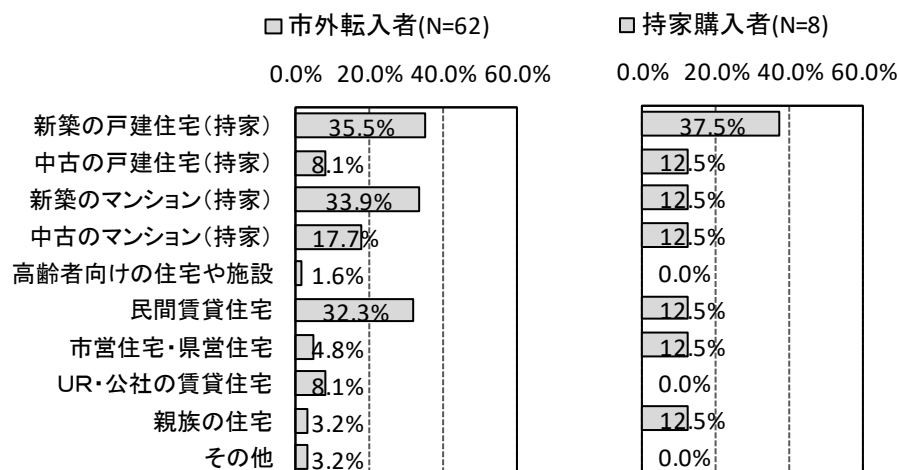
【世帯属性別】



【地域別】

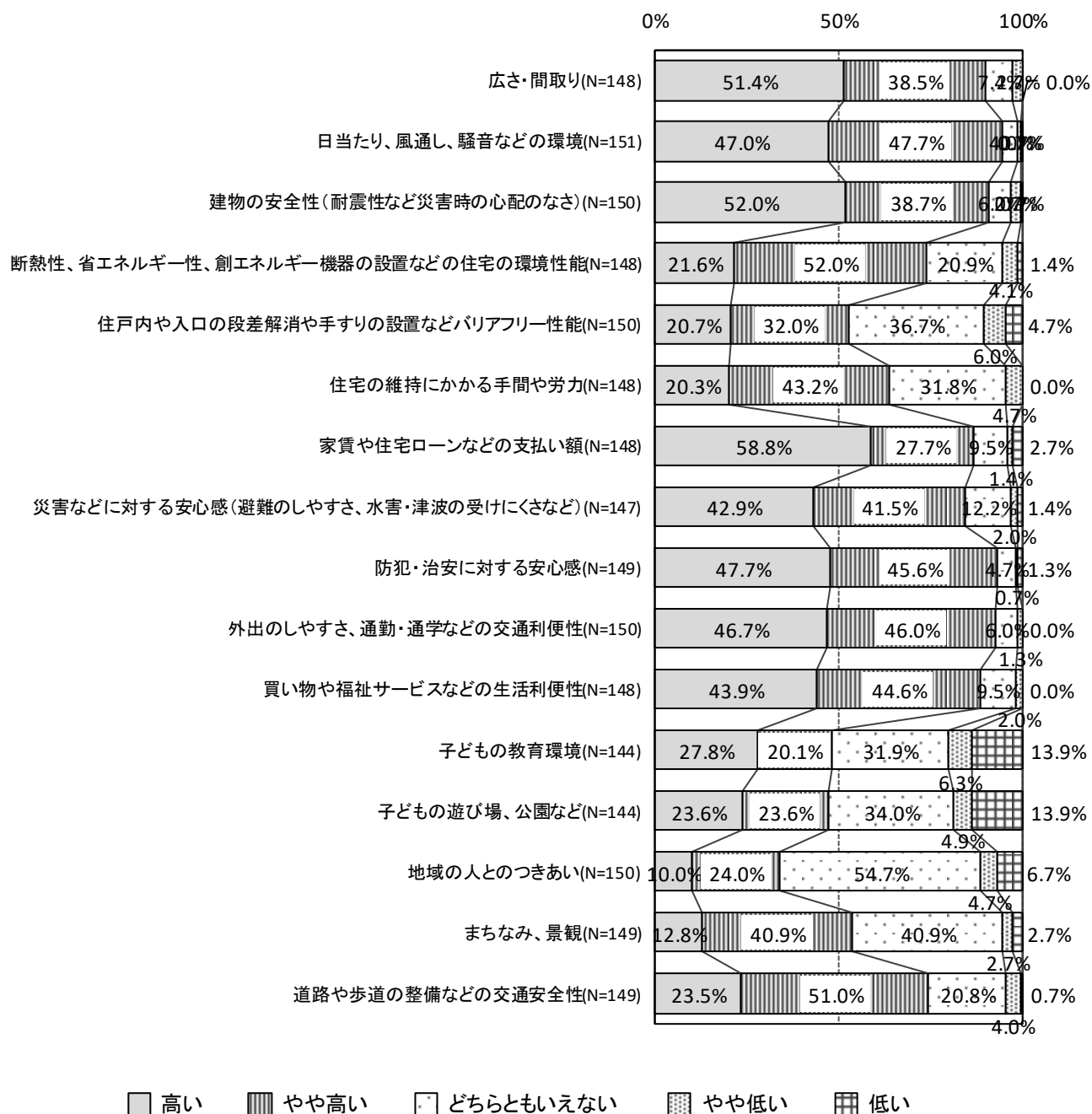


【新規転居者別】



⑭引っ越し先で重視する条件（転機がくれば引っ越したい、できるだけ早く引っ越したいと回答した世帯）

- ・重視する（重要度が高い・やや高い）項目は「日当たり、風通し、騒音などの環境」「防犯・治安に対する安心感」「外出のしやすさ、通勤・通学などの交通利便性」となっている。
- ・一方あまり重視しない（重要度が低い・やや低い）項目は「子どもの教育環境」「子どもの遊び場、公園など」「地域の人とのつきあい」となっている。

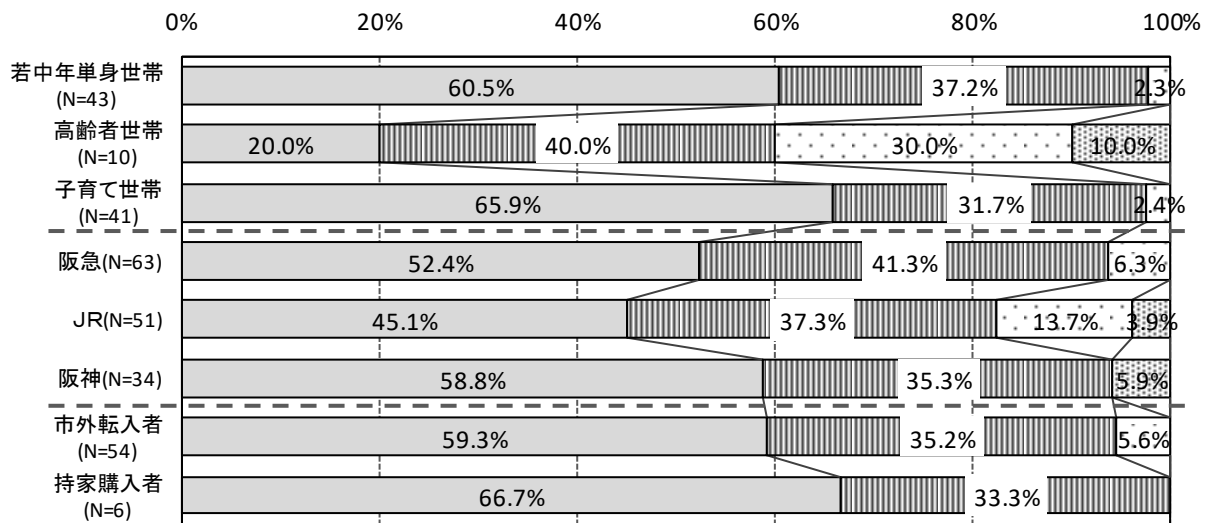


※無回答を除く

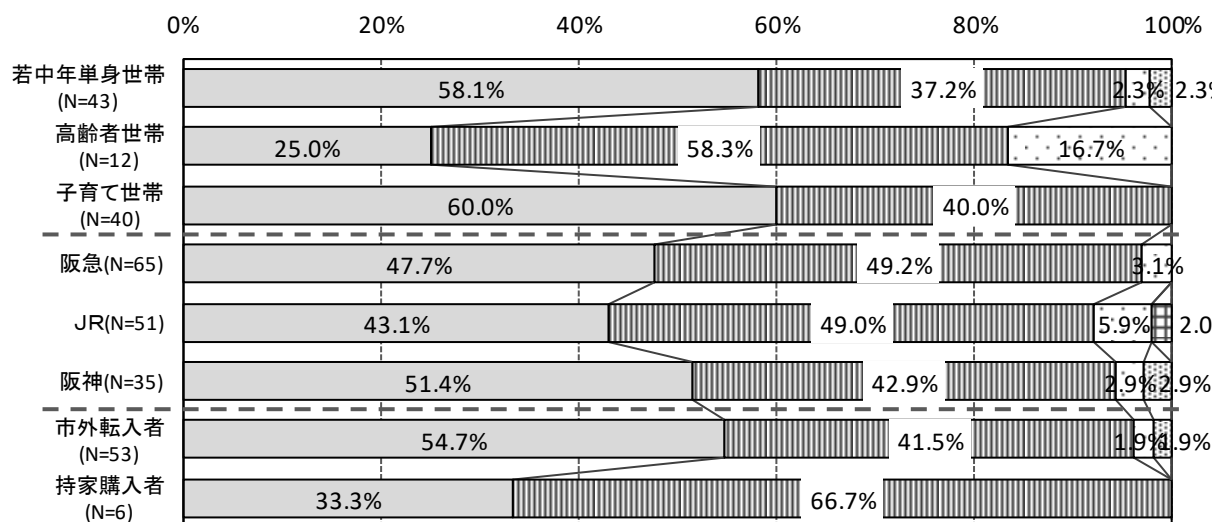
<参考>項目別、属性別の住まいの重視する条件（無回答を除く）

- ・若中年単身世帯は「子どもの教育環境」の重要度が比較的低い。
- ・高齢者世帯は他の属性と比べると全体的に重要度が低い傾向にあるが、「住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能」「道路や歩道の整備などの交通安全性」の重要度は比較的高い。
- ・子育て世帯は「子どもの教育環境」「子どもの遊び場、公園など」「地域の人とのつきあい」の重要度が比較的高い。
- ・持家購入者は「住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能」「子どもの教育環境」「地域の人とのつきあい」の重要度が比較的高い。

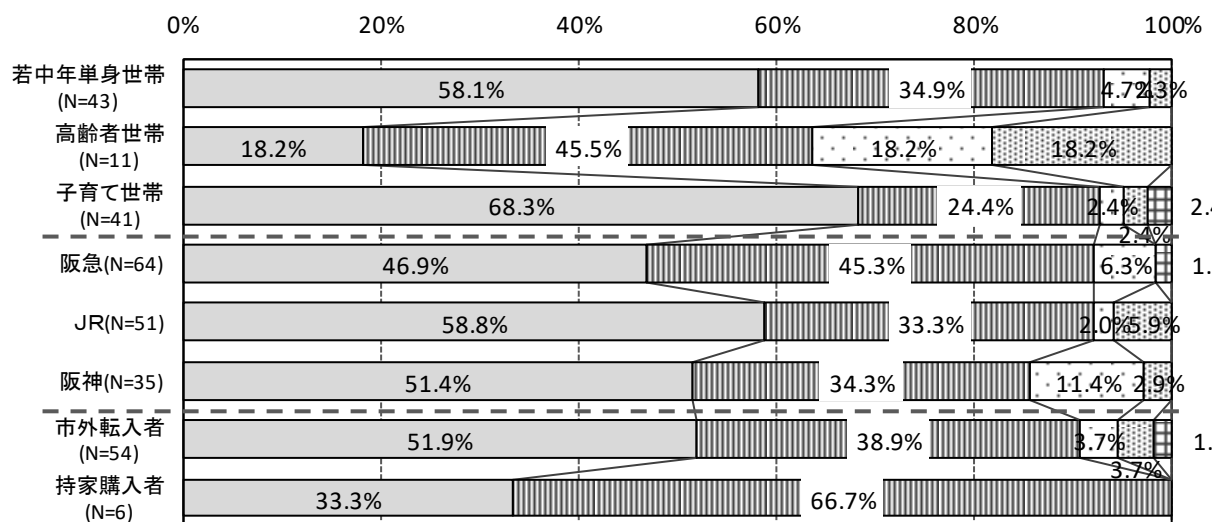
■ 広さ・間取り



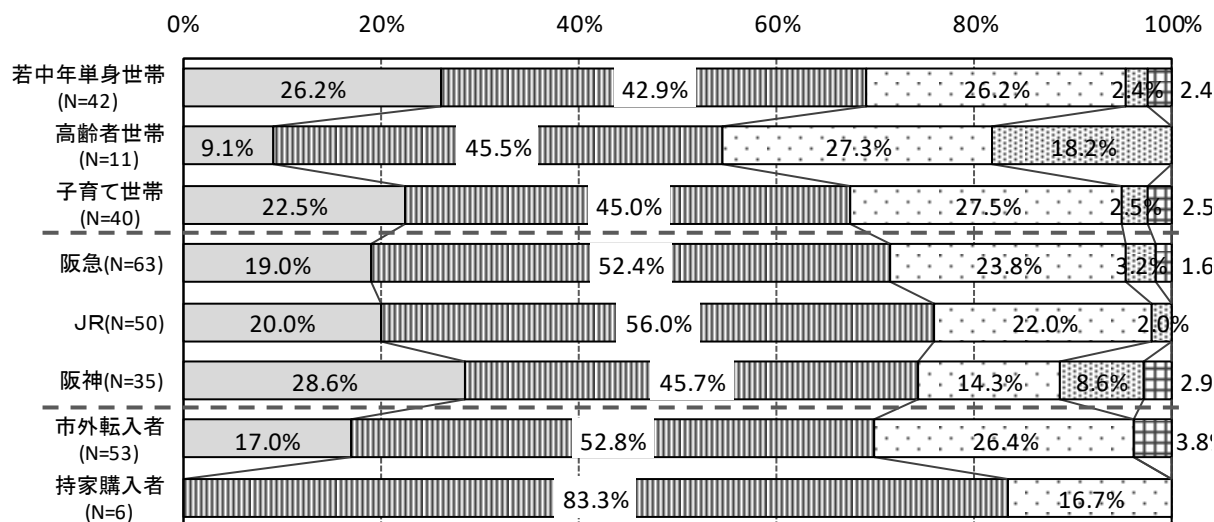
■日当たり、風通し、騒音などの環境



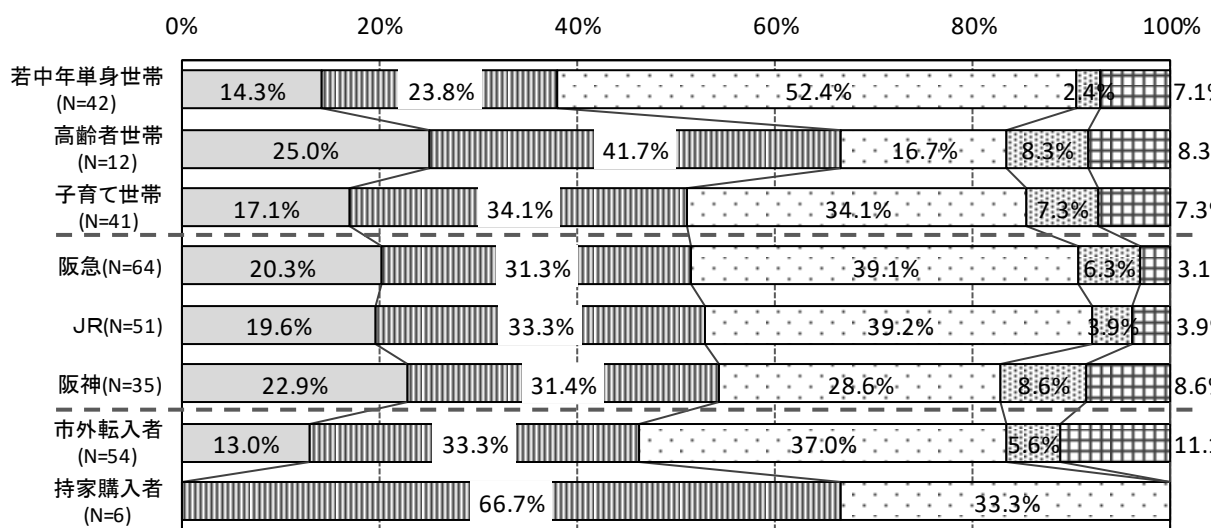
■建物の安全性（耐震性など災害時の心配のなさ）



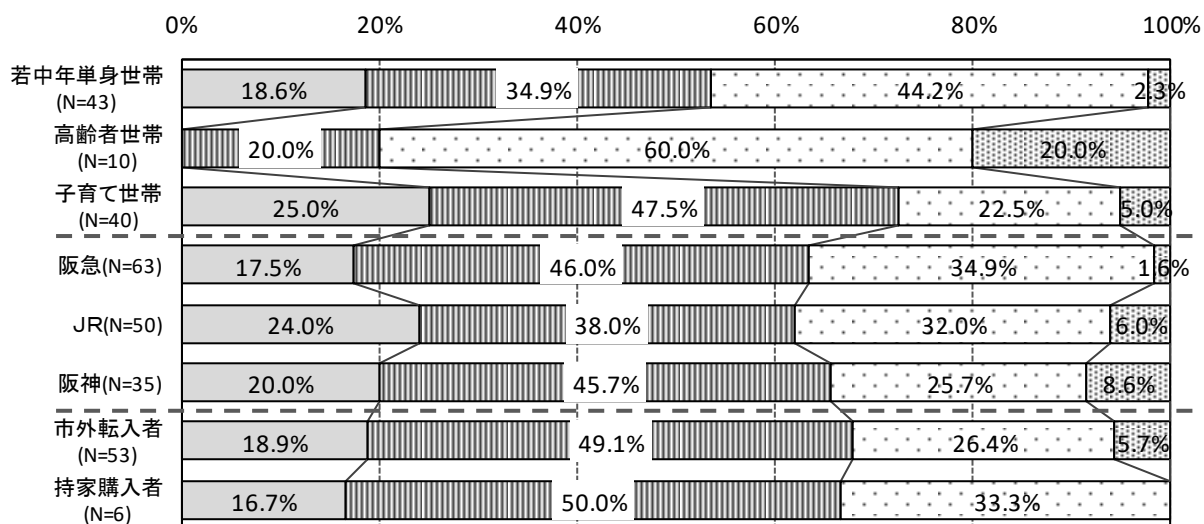
■断熱性、省エネルギー性、創エネルギー機器の設置などの住宅の環境性能



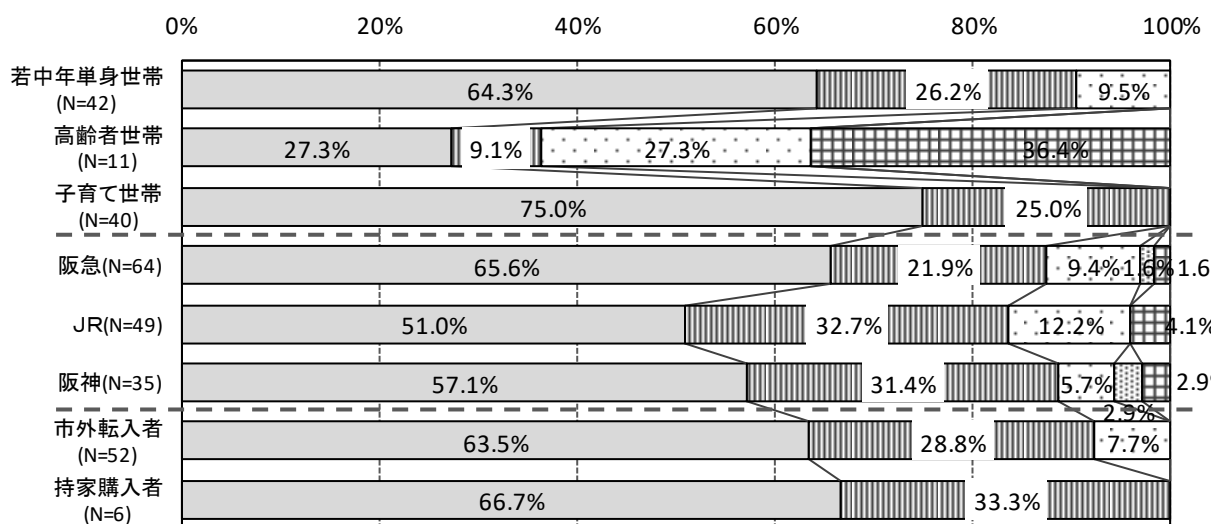
■住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能



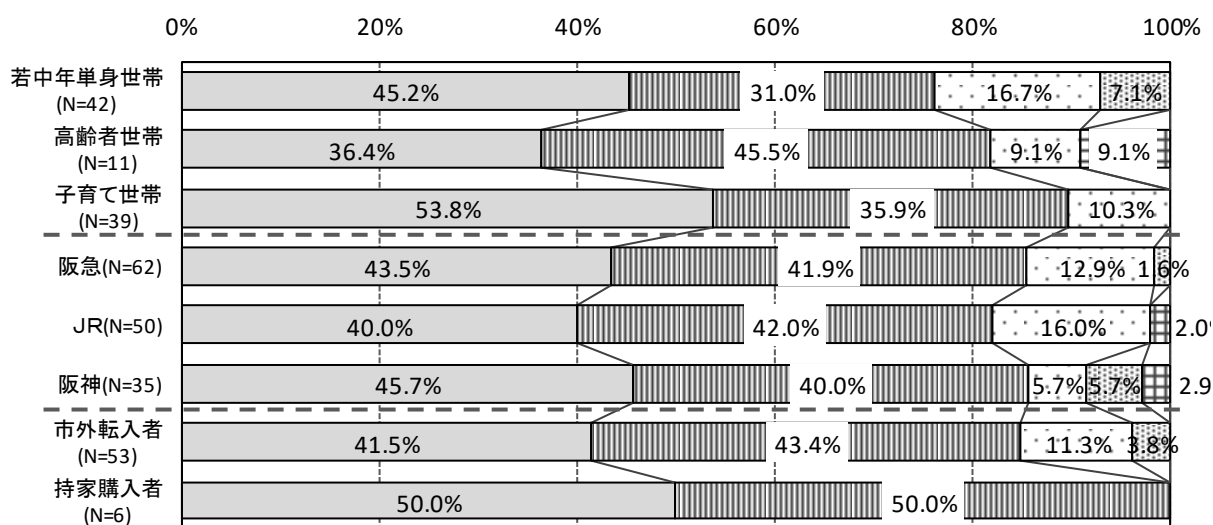
■住宅の維持にかかる手間や労力



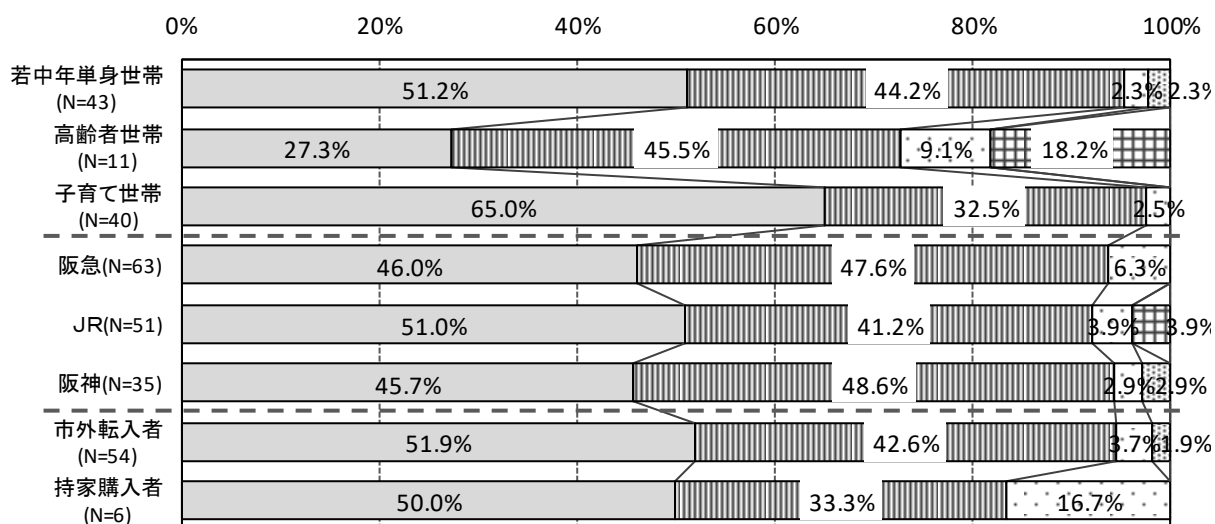
■家賃や住宅ローンなどの支払い額



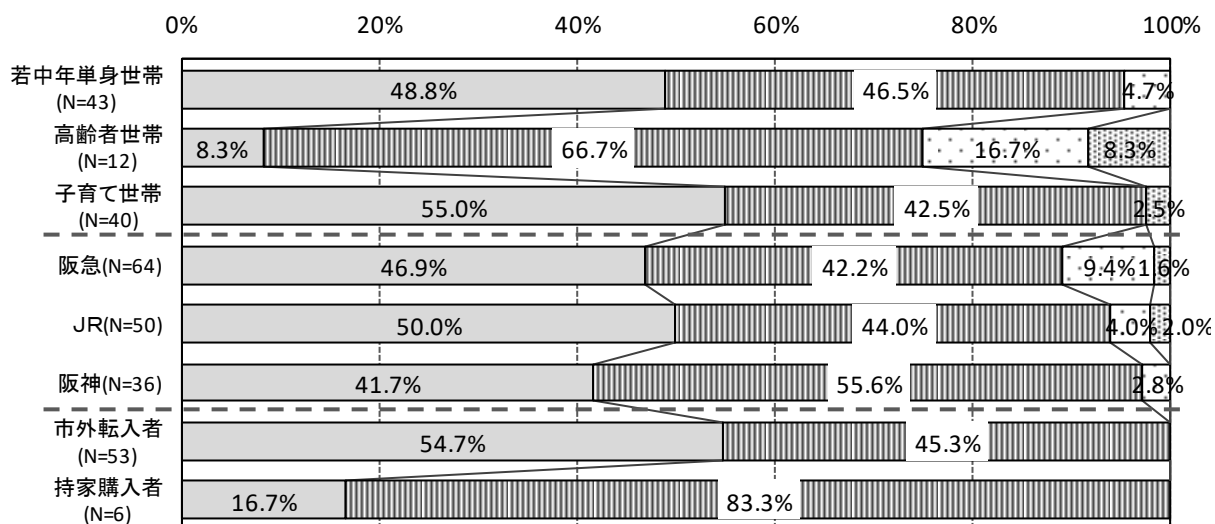
■災害(火災・地震・水害)などに対する安心感(避難のしやすさ、水害・津波の受けにくさなど)



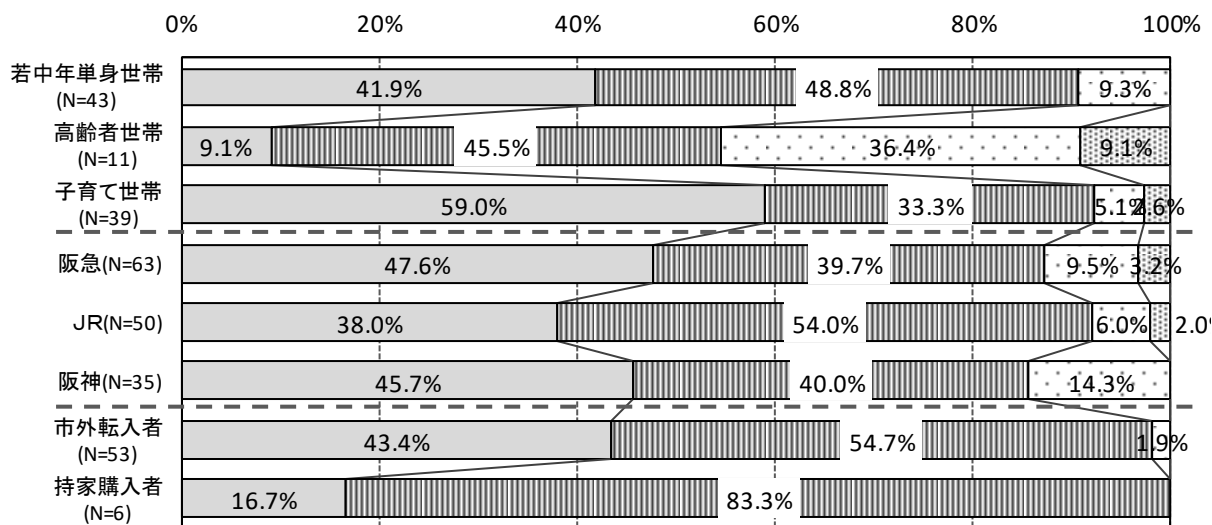
■防犯・治安に対する安心感



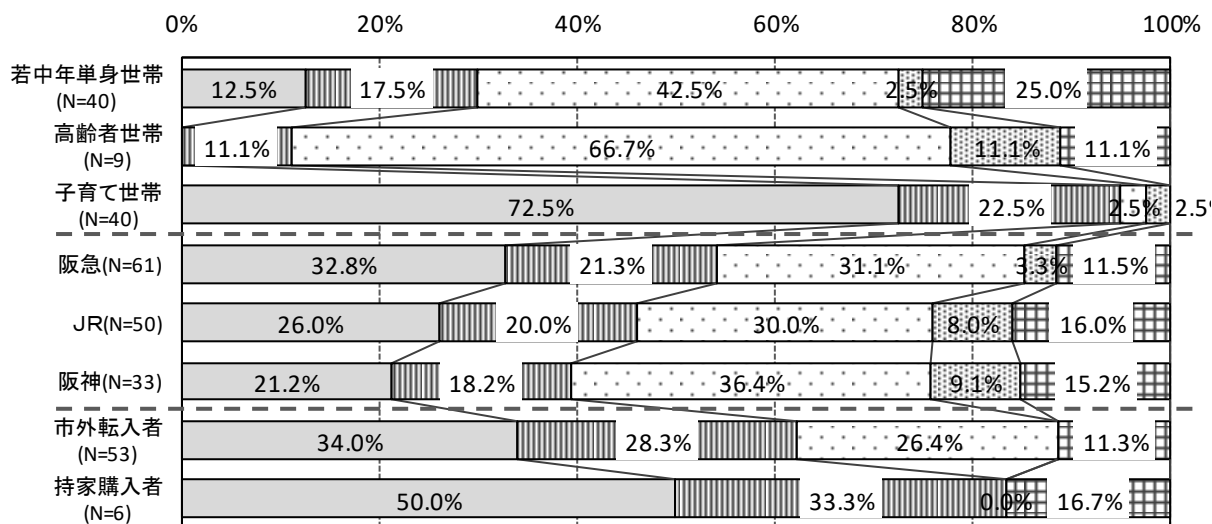
■外出のしやすさ、通勤・通学などの交通利便性



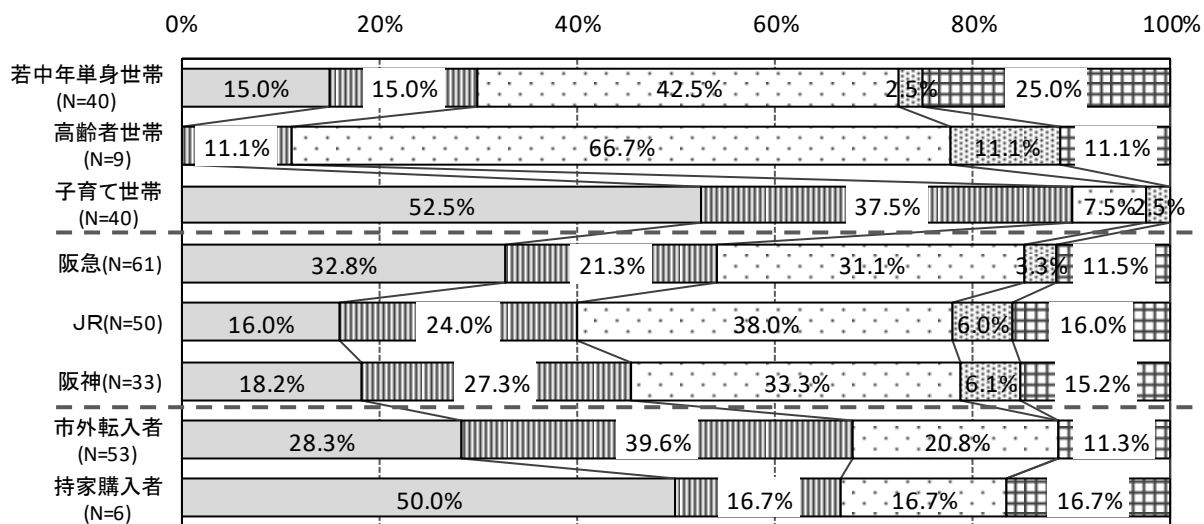
■ 買い物や福祉サービスなどの生活利便性



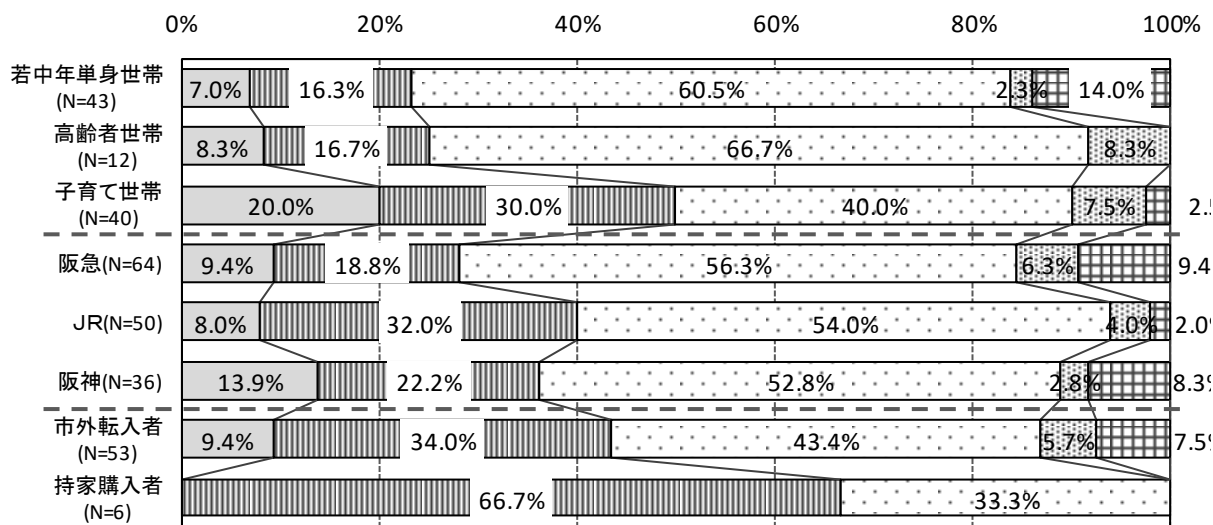
■ 子どもの教育環境



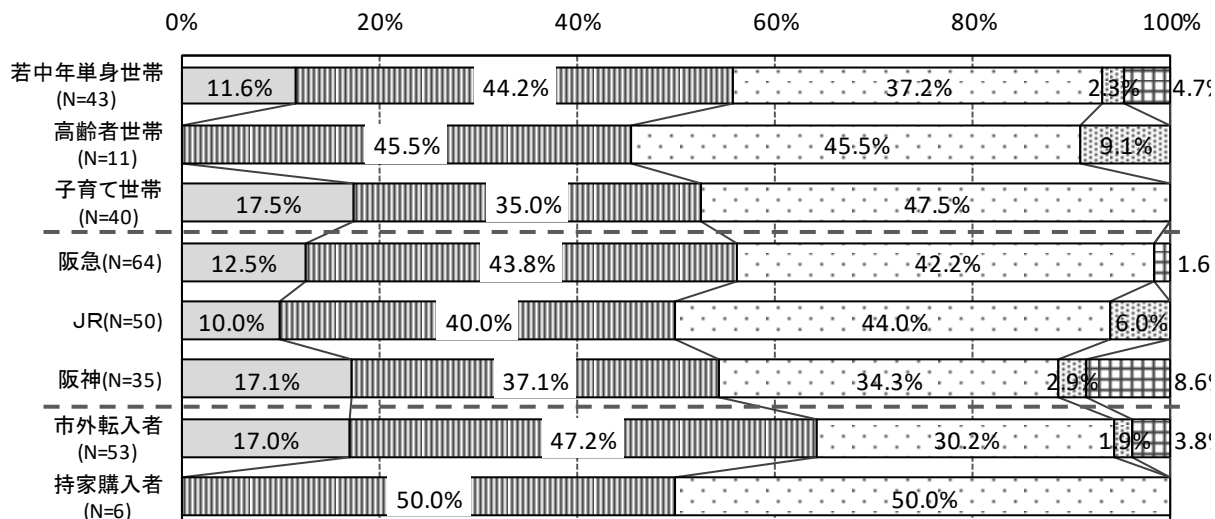
■ 子どもの遊び場、公園など



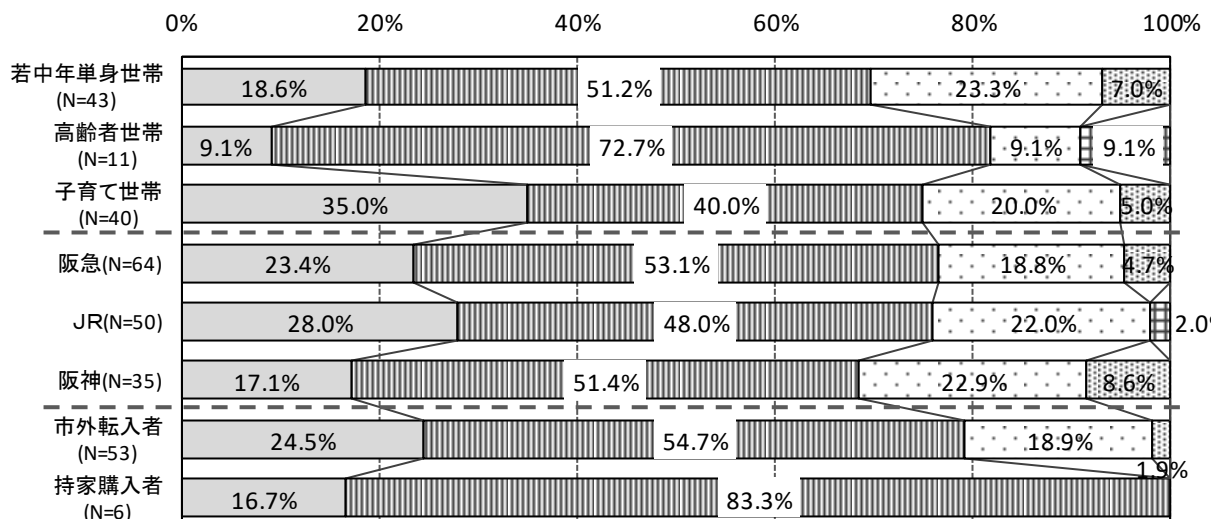
■地域の人のつきあい



■まちなみ、景観



■道路や歩道の整備などの交通安全性

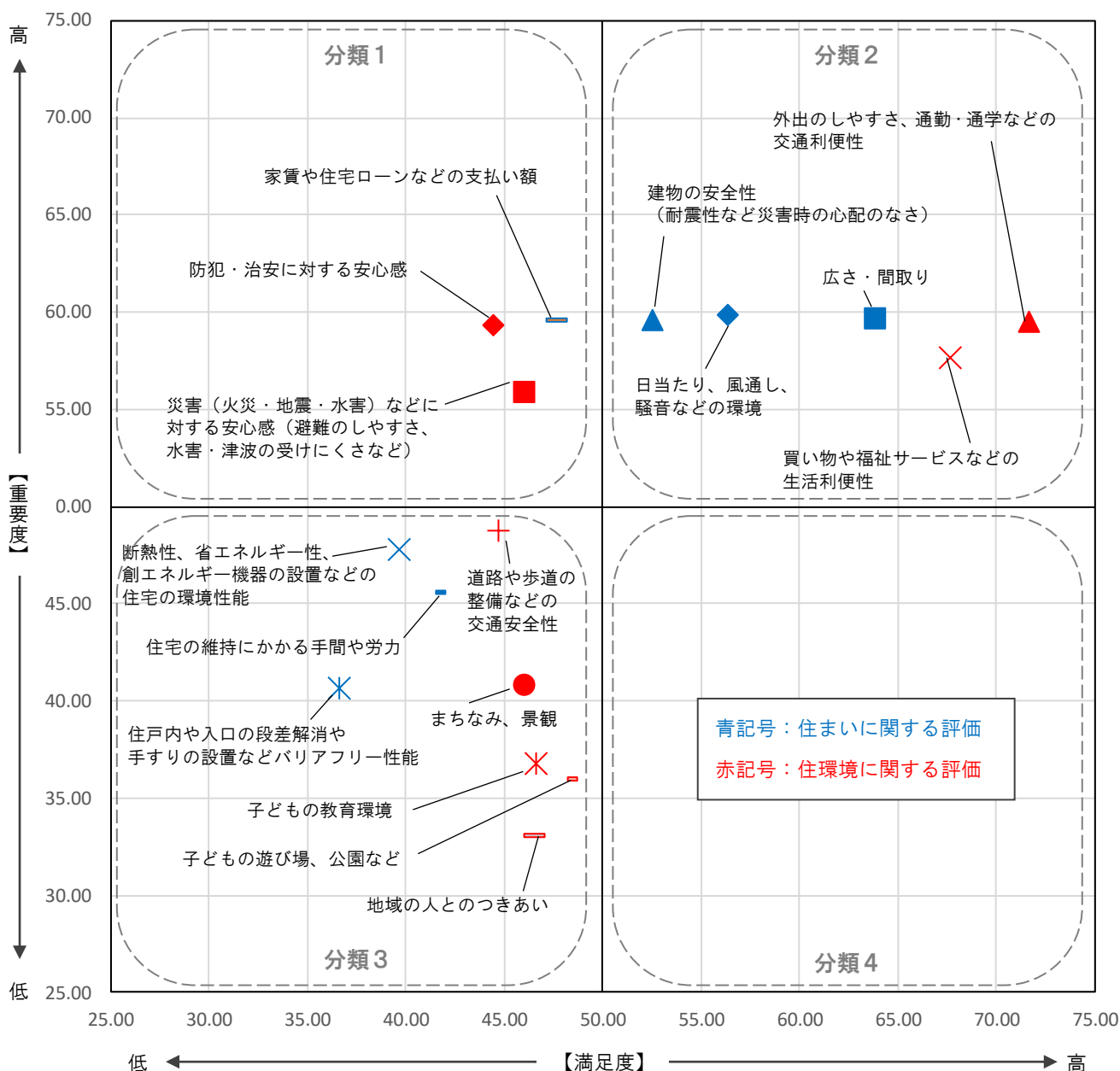


■ 「現在の満足度」と「今後の重要度」からみた住まい・住環境項目の位置づけ

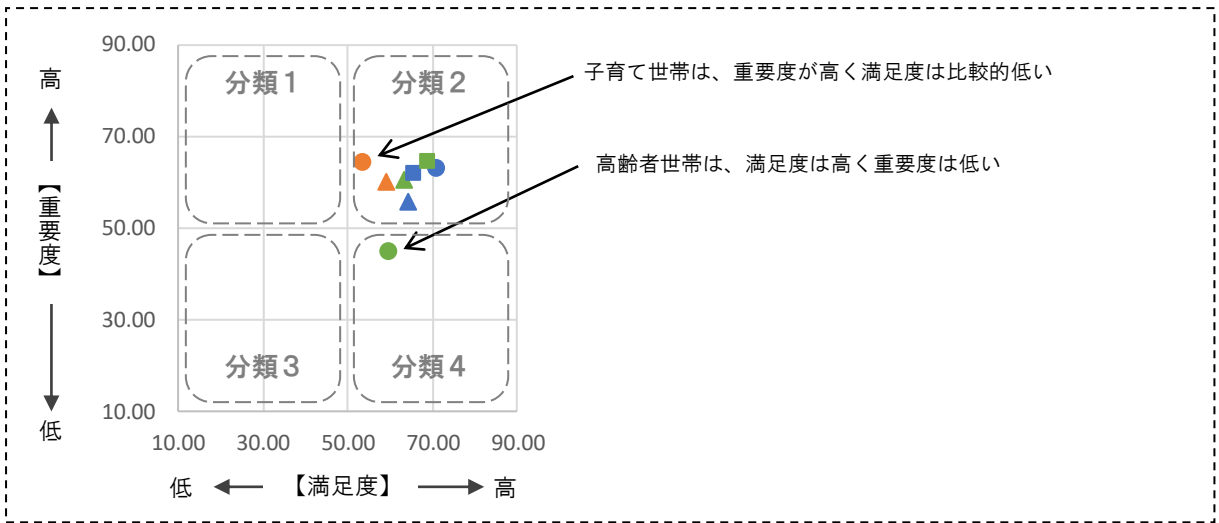
・満足度と重要度の回答について各回答を下記のように得点化し、平均得点を算出。その平均得点を偏差値に変換して、各項目の満足度と重要度を整理している。

「大変あてはまる」=5点 「ややあてはまる」=4点 「どちらともいえない」=3点
 「あまりあてはまらない」=2点 「全くあてはまらない」=1点

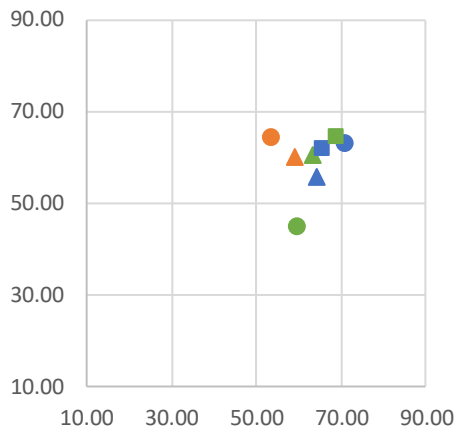
分類	満足度	重要度	位置づけ
分類1	低い	高い	現在の満足度が低く、今後の重要度が高い項目
分類2	高い	高い	現在すでにある程度満足しているが、今後も引き続き重要度が高い項目
分類3	低い	低い	現在の満足度が低く、相対的に今後の重要度も低い項目
分類4	高い	低い	現在すでにある程度満足しており、相対的に今後の重要度が低い項目



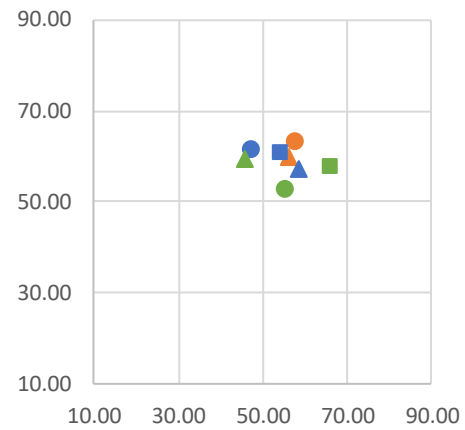
<属性別、住まい・住環境項目の位置づけ>



■ 広さ・間取り

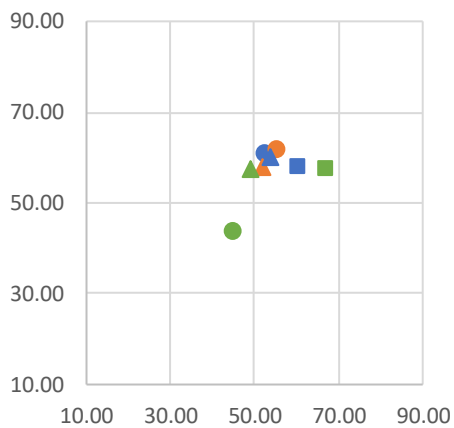


■ 日当たり、風通し、騒音などの環境



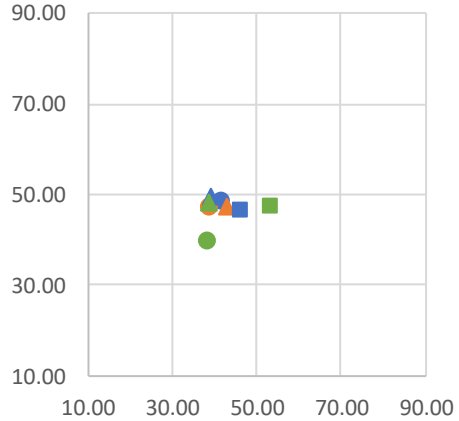
■ 建物の安全性

(耐震性など災害時の心配のなさ)



■ 断熱性、省エネルギー性、創エネルギー

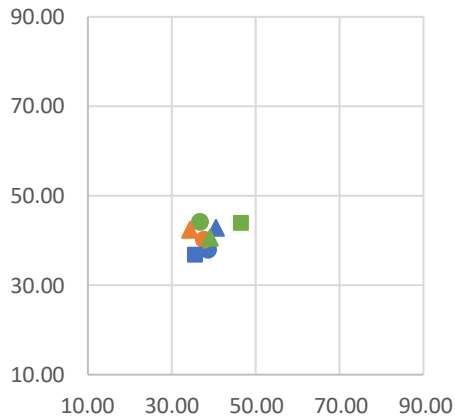
機器の設置などの住宅の環境性能



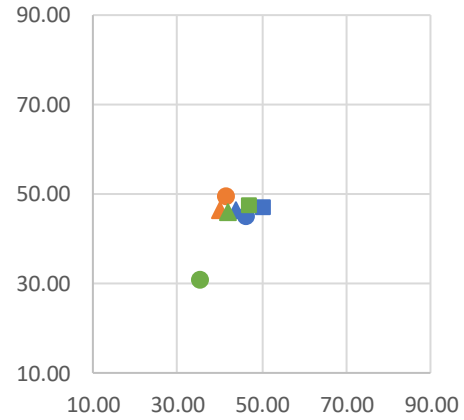
若中年単身世帯	●	阪急	▲	市外転入者	■
高齢者世帯	●	J R	▲	持家購入者	■
子育て世帯	●	阪神	▲		

■住戸内や入口の段差解消や

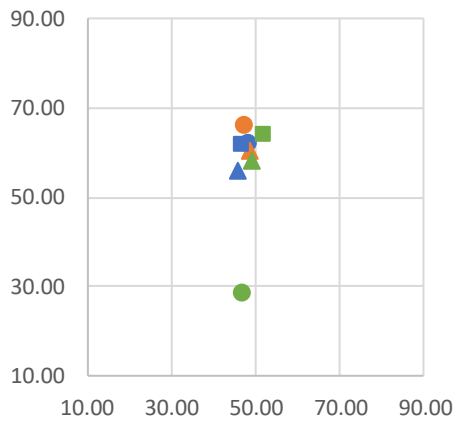
手すりの設置などバリアフリー性能



■住宅の維持にかかる手間や労力

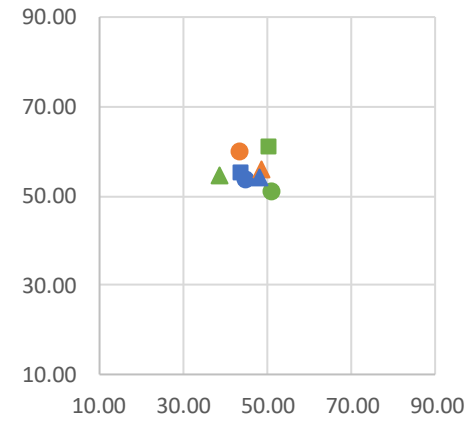


■家賃や住宅ローンなどの支払い額

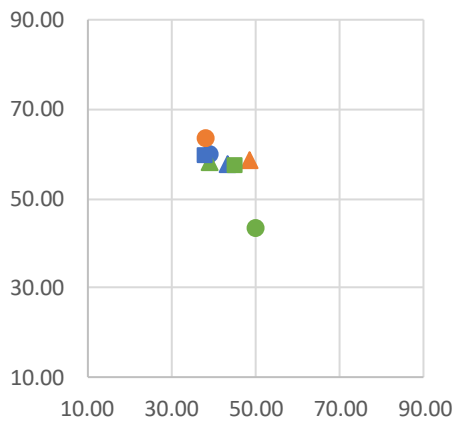


■災害(火災・地震・水害)などに対する安心感

(避難のしやすさ、水害・津波の受けにくさなど)

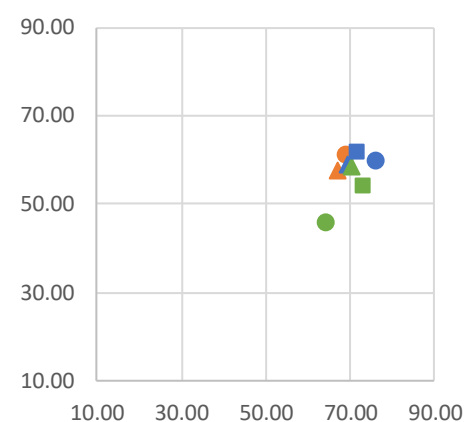


■防犯・治安に対する安心感



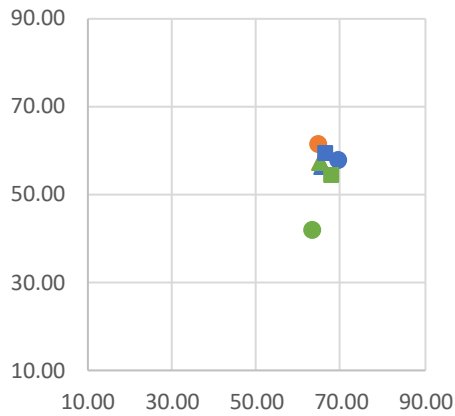
■外出のしやすさ、通勤・通学などの

交通利便性

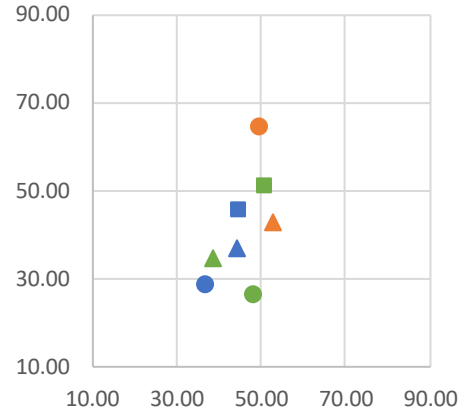


若中年単身世帯	●	阪急	▲	市外転入者	■
高齢者世帯	●	J R	▲	持家購入者	■
子育て世帯	●	阪神	▲		

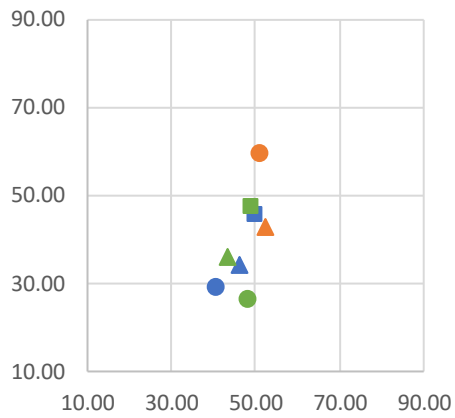
■ 買い物や福祉サービスなどの生活利便性



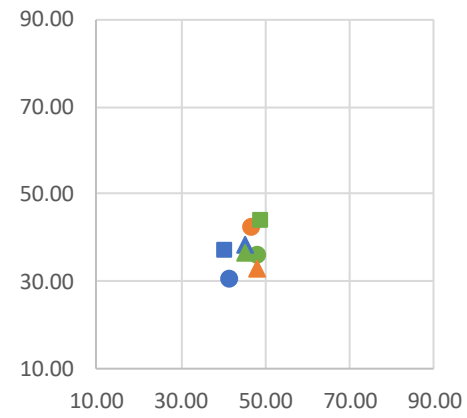
■ 子どもの教育環境



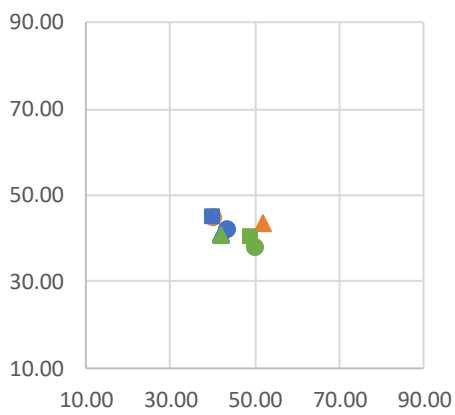
■ 子どもの遊び場、公園など



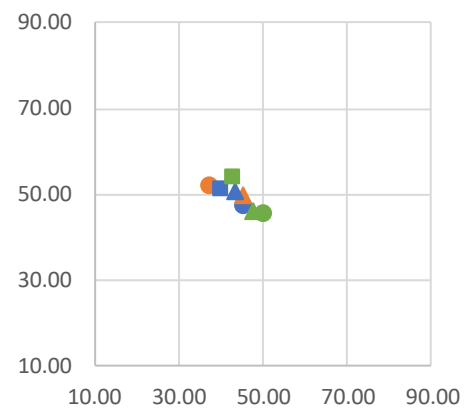
■ 地域の人とのつきあい



■ まちなみ、景観



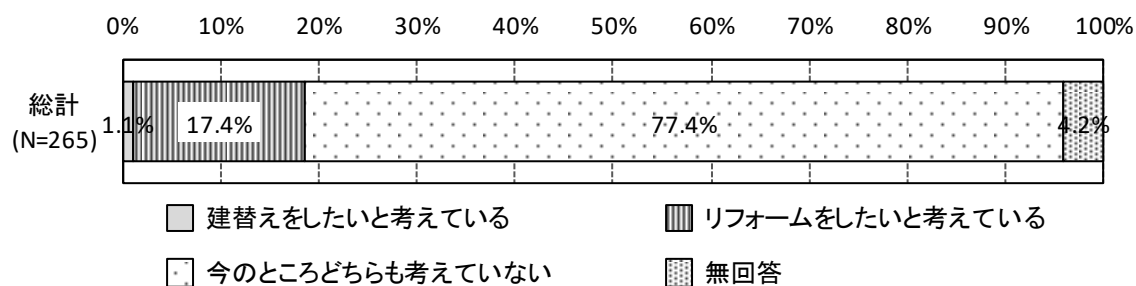
■ 道路や歩道の整備などの交通安全性



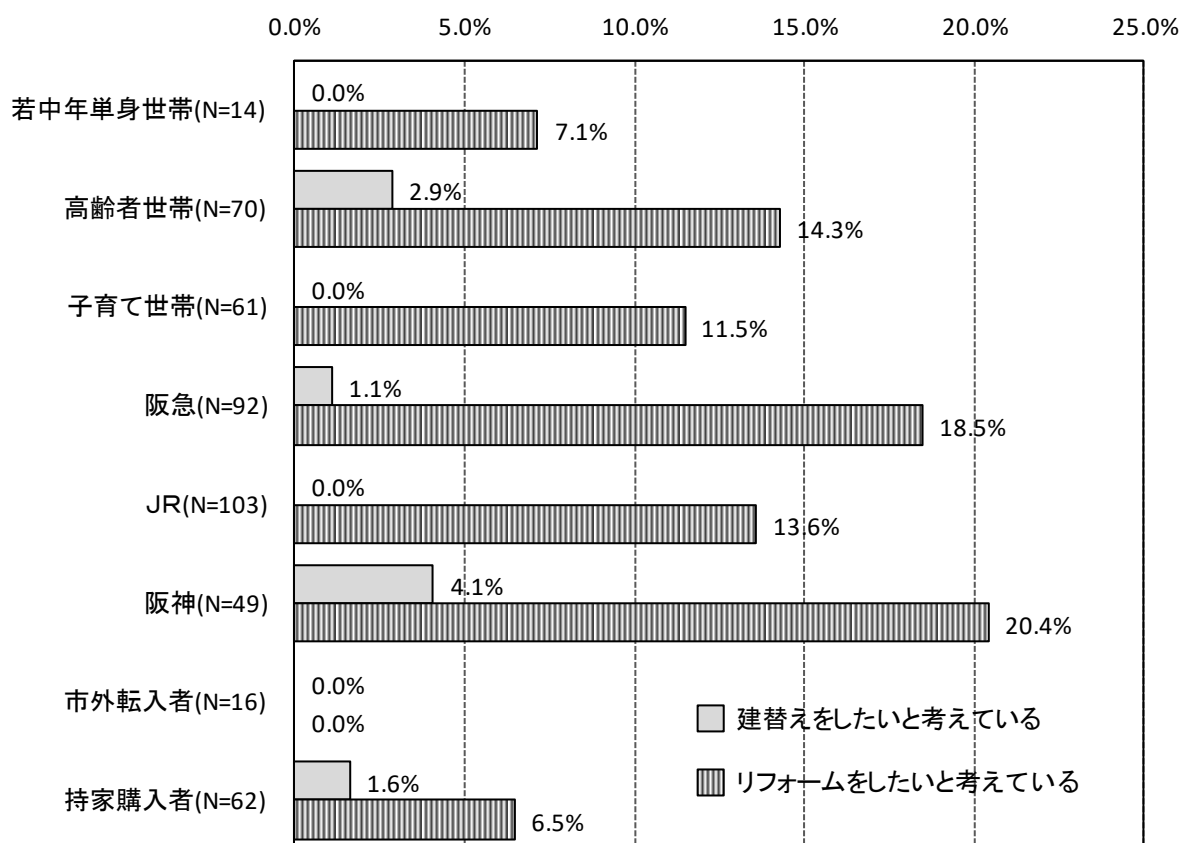
若中年単身世帯	●	阪急	▲	市外転入者	■
高齢者世帯	●	J R	▲	持家購入者	■
子育て世帯	●	阪神	▲		

⑤建替えやリフォームを考えているか（持家戸建・持家マンションに居住する世帯）

- ・「建替えをしたいと考えている」は1.1%、「リフォームをしたいと考えている」は17.4%となっている。
- ・属性別にみると、高齢者世帯と阪神沿線で「建替えをしたいと考えている」が比較的多くなっている。

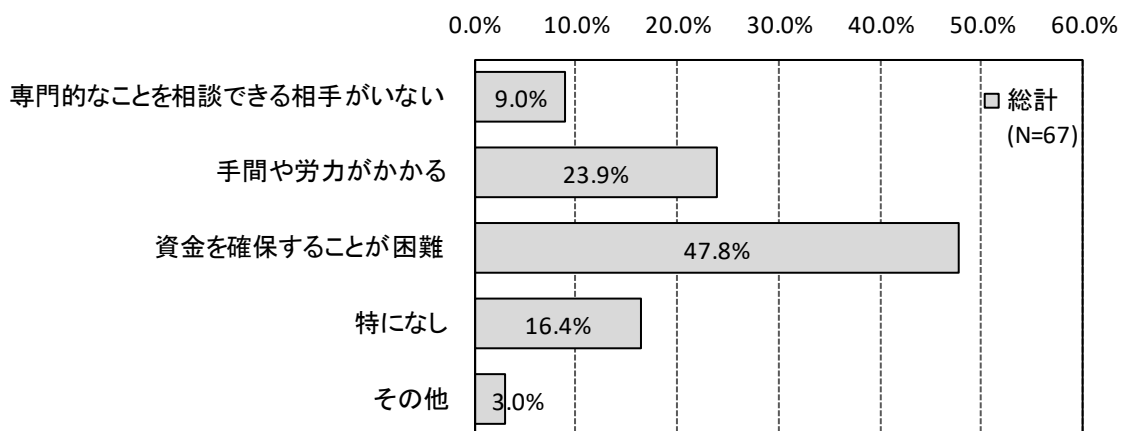


【世帯属性別・地域別・新規転居者別】



②⑥建替えやリフォームを考える上で困っていること（建替えやリフォームを考えている世帯）

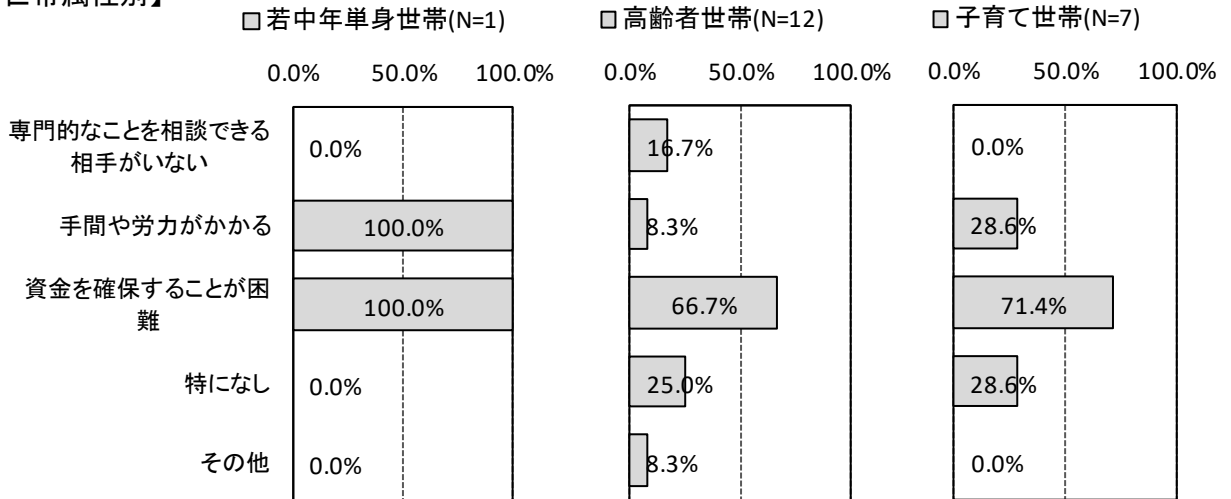
- ・「資金を確保することが困難」が47.8%と最も多く、次いで「手間や労力がかかる」が23.9%、「専門的なことを相談できる相手がいない」が9.0%となっている。



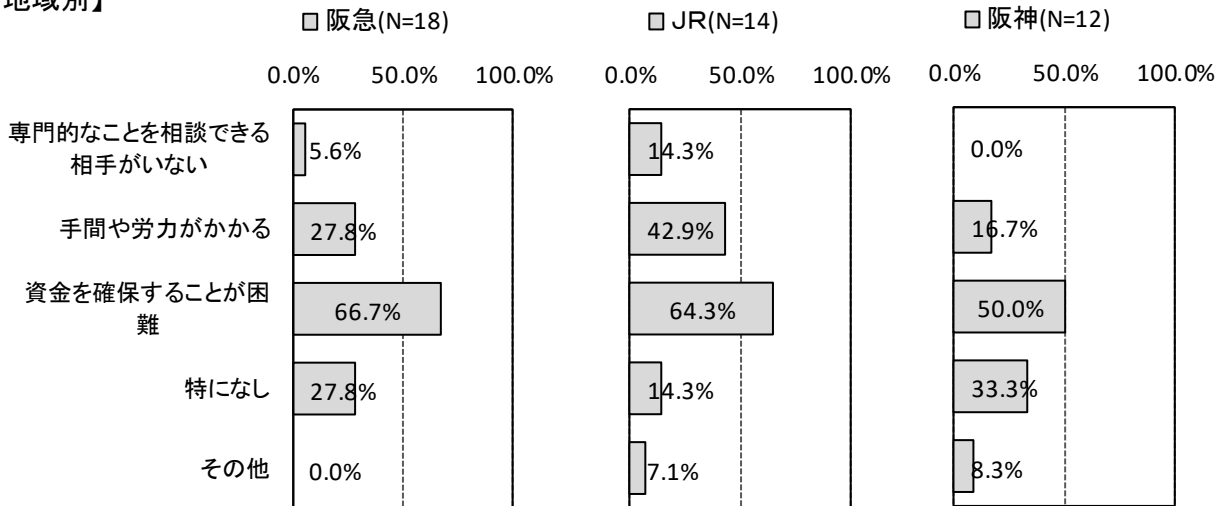
《その他（自由回答）》

- ・ 建替え決議
- ・ 一部リフォームをした。
- ・ まだ6年だから不要

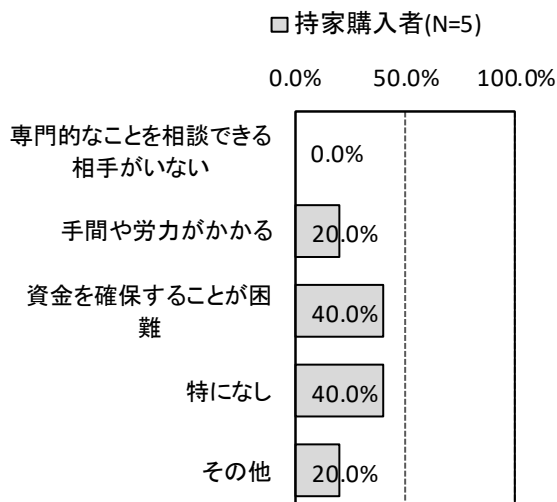
【世帯属性別】



【地域別】

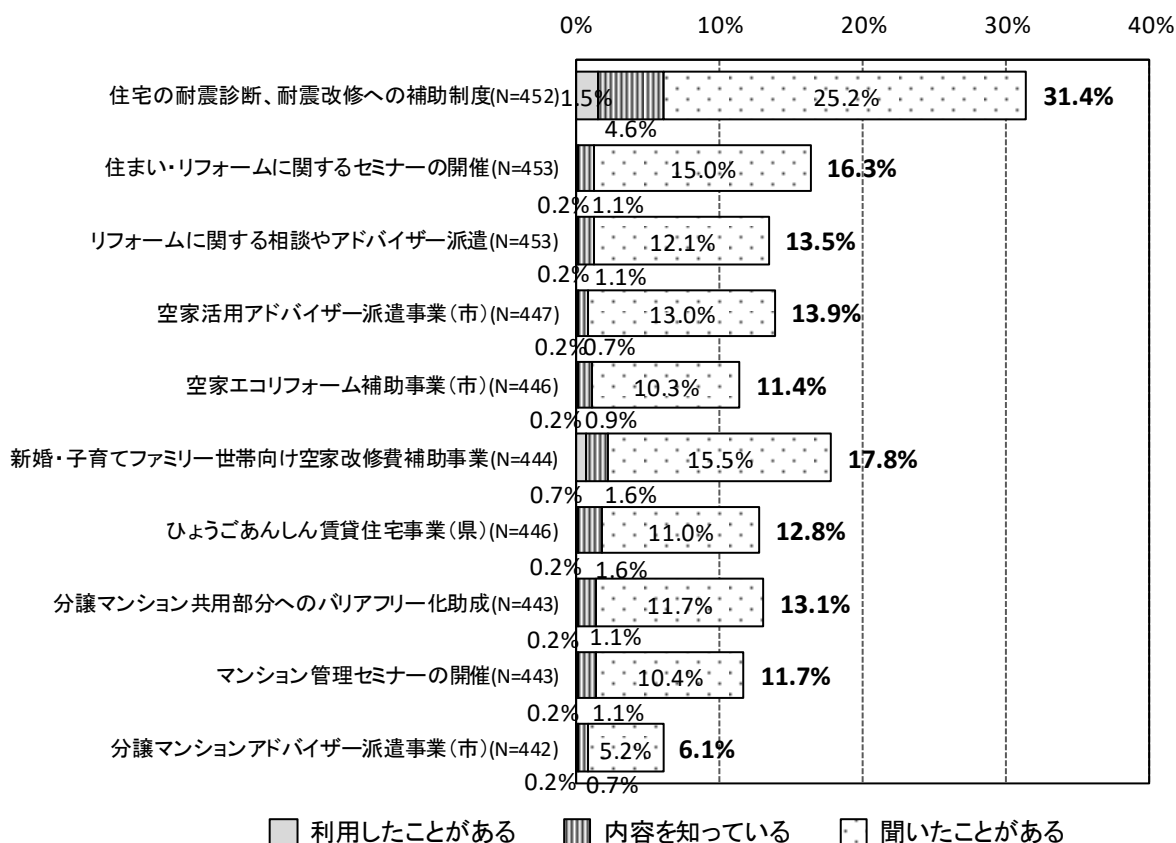


【新規転居者別】（※市外転入者は該当者なし）



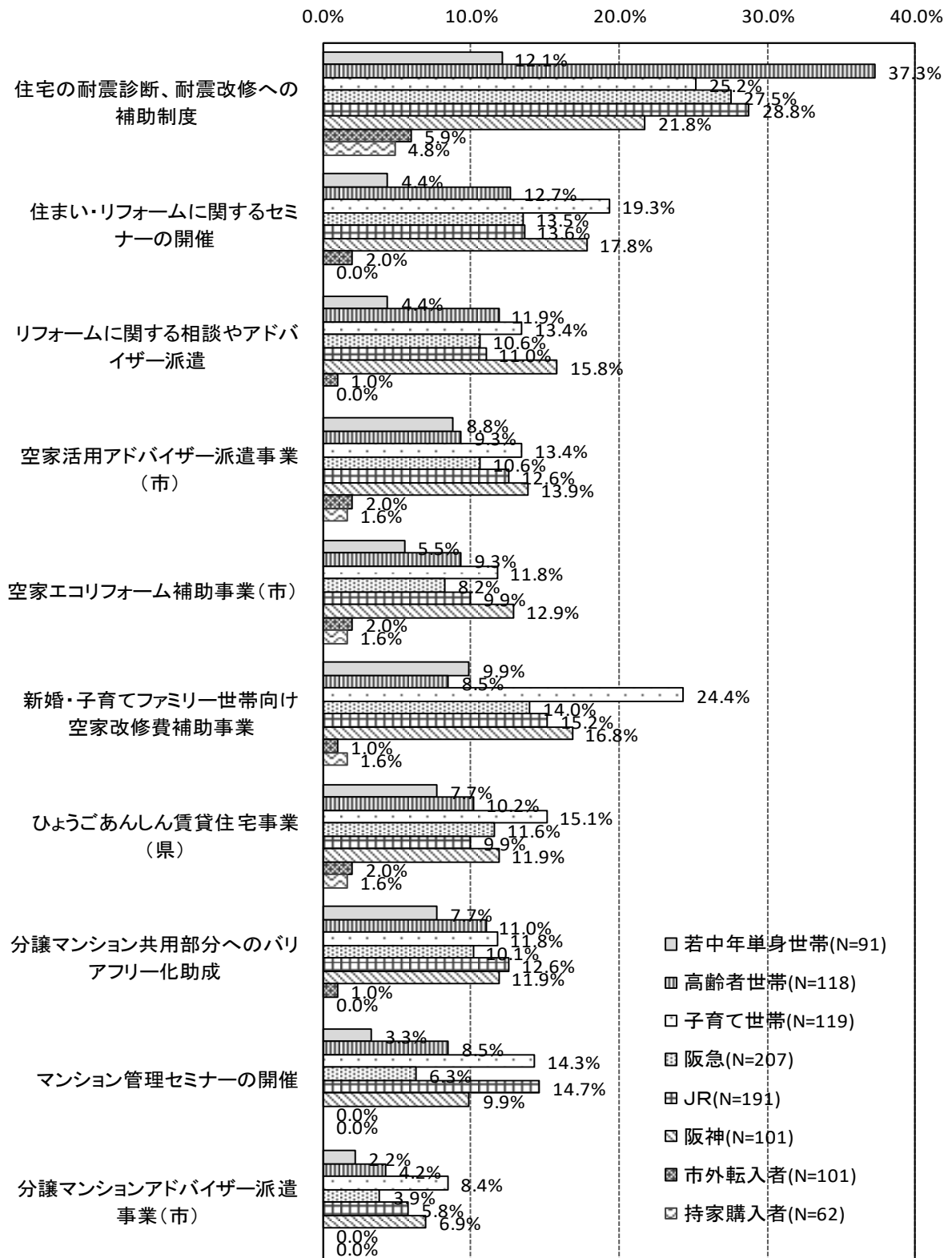
⑳ 尼崎市や兵庫県等で行っている施策や制度について

- ・いずれの施策・制度も利用したことがあるは1%程度にとどまっている。
- ・認知度（内容を知っている・聞いたことがある）は「住宅の耐震診断、耐震改修への補助制度」が最も高い。



【世帯属性別・地域別・新規転居者別、各施策・制度の認知度】

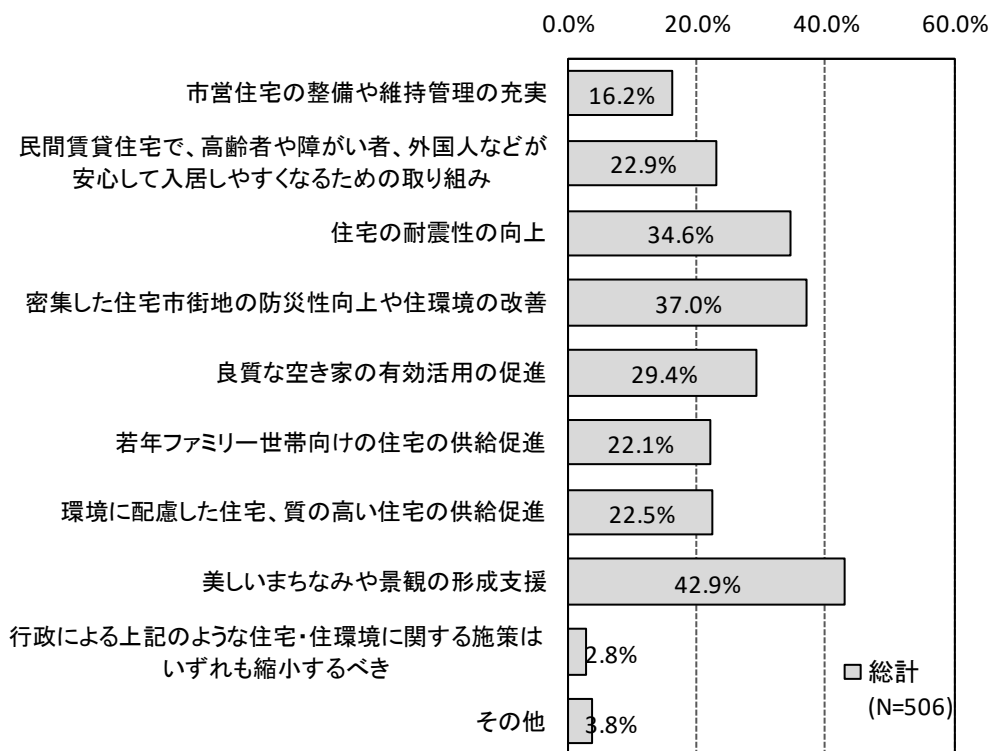
- ・「住宅の耐震診断、耐震改修への補助制度」は高齢者世帯、「新婚・子育てファミリー世帯向け空家改修費補助事業」は子育て世帯での認知度が比較的高い。
- ・新規転居者（市外転入者と持家購入者）の施策・制度の認知度は低い。



※認知度：内容を知っている、聞いたことがある

⑳ 尼崎市の住宅・住環境の施策で重点的に取り組むべきもの

・「美しいまちなみや景観の形成支援」が 42.9%と最も多く、次いで「密集した住宅市街地の防災性向上や住環境の改善」が 37.0%、「住宅の耐震性の向上」が 34.6%となっている。



《その他（自由回答）》

○災害対策

- ・耐震性に加え水害対策の促進
- ・災害に強い町

○子どもや子育て世帯への支援

- ・子供が安心してあそべる環境
- ・子育て世代への助成
- ・教育環境が重要(でないに住環境が良くても住まない)
- ・母子世帯に対しての何か

○高齢者などへの福祉サービス

- ・福祉に関わる人達へのバックアップ-犯罪性向のある、精神疾患患者への積極的取組み!
- ・高齢者向け介護・福祉サービス付帯住宅の充実

○防犯性の向上

- ・治安
- ・防犯性の向上
- ・防犯、安全性の強化

○交通インフラの整備

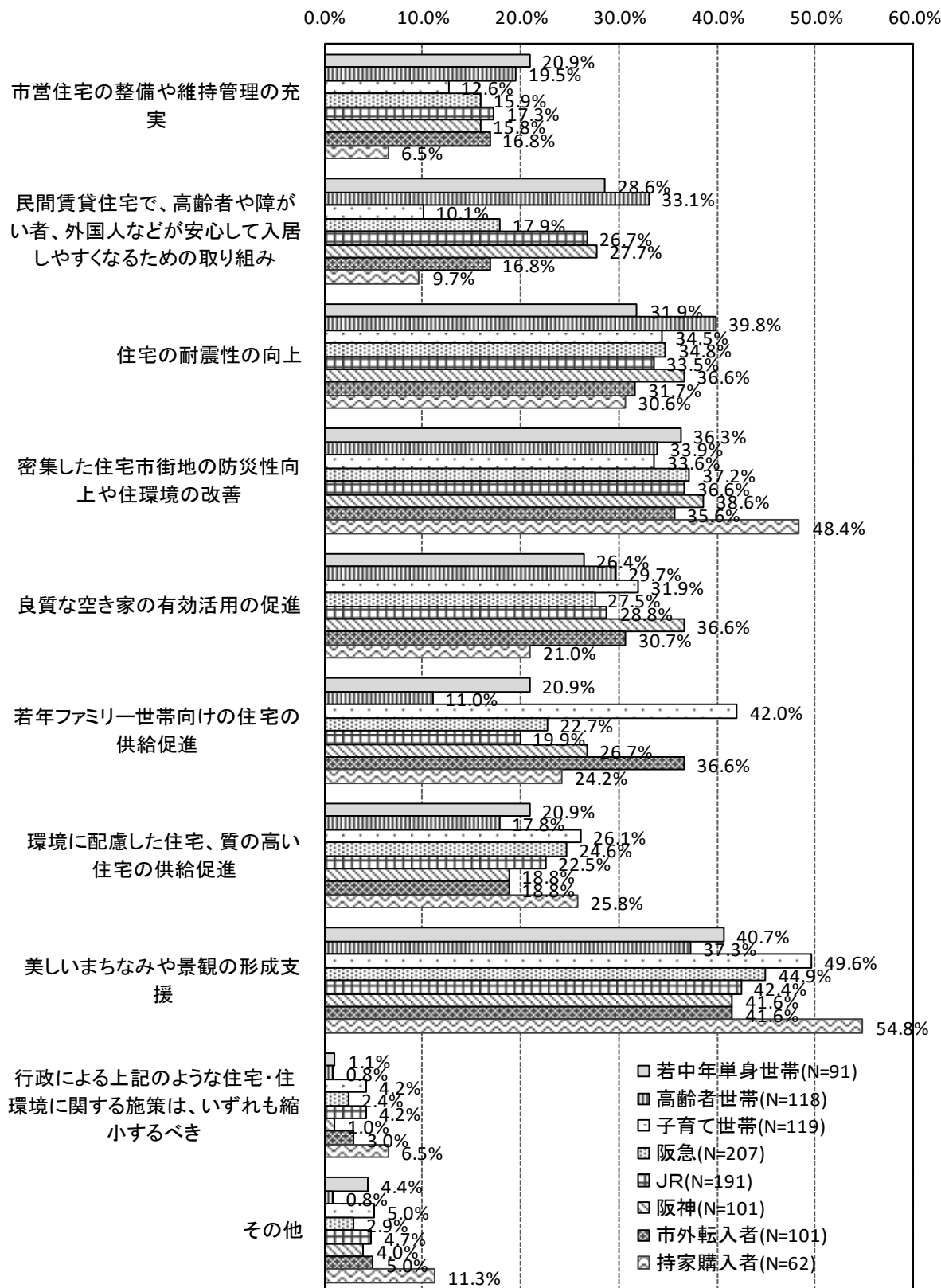
- ・道幅
- ・道路・道幅の整備改善

○その他

- ・外国人の生活保護をやめて欲しい
- ・税金の軽減
- ・もっと情報発信を増やすべき
- ・資産性の強い物だけに。指針は有りだけどそれ以上は個人ですべきでは…。
- ・住宅購入補助
- ・オートロック、管理人が居ても、正面玄関から入居者と一緒に入ってくる人が外部のまったく関係ない人

【世帯属性別・地域別・新規転居者別】

- ・子育て世帯と市外転入者は「若年ファミリー世帯向けの住宅の供給促進」について重点的に取り組むべきと考えている割合が高い。
- ・持家購入者は「密集した住宅市街地の防災性向上や住環境の改善」「美しいまちなみや景観の形成支援」について重点的に取り組むべきと考えている割合が高い。



《その他（自由回答）》

○尼崎市のイメージ

- ・利便性等は非常に良いと思うが、「尼崎市」という名称の先入観が良くないと思う。
- ・尼崎という街のブランド力を高めて欲しいと思います

○インフラ整備等

- ・道路の凸凹をなくす ・路地裏のデコボコ道をアスファルト舗装へ検討して欲しい
- ・他市より歩道の整備がされていません ・家の前の道がせますぎて車の出し入れが不便
- ・住宅以外にも道路のバリアフリー化もすすめてほしい。歩道と車道の段差をなくす。道路の白線がうすくなっている（又はほぼ消えかかっている）のを再塗装する。停止線が消えており、標式を見ていない車が一時停止しない場所もある。アスファルトのでこぼこを減らす、なども実施してほしい。
- ・武庫川河川及び、坂道の補装の必然性があると思います。
- ・旧村等でセットバック事業がすすめられているが十分な成果があがっていると思えない。まちづくりに重要な事業であり促進せねばならないと考えます。協力を得るために提案いたします。①道路に提供した土地を上げる ②工事費の1/2を助成する。ご検討をお願いいたします。
- ・街灯が少ない、トラックが多く通る道がせまく、歩道にガードレールがない、自転車がが多いので自転車道を増やす
- ・外燈の設置（夜道が暗い）を望む ・街灯が暗い。明るさのアップ又は増設してほしいです。
- ・阪急塚口駅周辺（南側）の開発が進まないのが残念
- ・JR神戸方面からの乗り合わせが悪い JR尼崎で待ち時間がある上混雑がすごい
- ・私有地→公道出口地点での公費によるカーブミラー設置（他部署の担当とは思いますが?）
- ・現在住んでいる地域では、道路の側溝が開放状態になっている。子供が転落する可能性もあるので、整備を進めてほしい。
- ・重いへいや壁をなくし軽いものにする ・元浜緑地の様な、緑多い市民が集える憩の場の増設。

○まちの美化

- ・歩道にゴミが落ちてるのが良くない。店ポのエリアであれば清掃させてほしい。
- ・立花駅から水堂4丁目までの線路ぞいの道のゴミの整備をしてほしい。
- ・カラスが多すぎて、普段から外を歩くのが嫌、怖い。ベランダにフンやゴミがあつたりして、洗たく物も干せなかつたりしている。対策をして欲しい。
- ・少さめの川があるのですが、いつもゴミや草がういているし、カメ（大1、小1）もいるので、一度きちんとそうじするかしてほしいです。カメも食いつきではないと思うのですが、結構大きいので
- ・商店街をきれいにしてほしい。 ・公園へのゴミ不法投棄管理監視強化で、防止してもらいたい
- ・ビニール袋の廃止。 ・駅前には自転車がせいとんされてきたが、集いの店前に多くなりじゃま
- ・店舗による、道路の不法占拠駐車違反の取締まりより、尼崎市街の環境改善、美化
- ・警察等の巡回等増やしてほしい ・地域で駐車場（個人）から車のはみ出しやルールを守らせてほしい
- ・「つどいの広場」こんぺいとうとびすけつをもっとキレイにしてほしい。西武庫公園の水遊び場をキレイに清掃して使えるようにしてほしい。せめて元浜緑地くらい塩素入れて入れるようにしてほしい。
- ・美しいまちなみの形成支援として、外構に緑を取り入れたいような仕組みや価値感の醸成を望みます

○住環境

- ・第一種低層住居専用地域に居住しているが住環境が守られていない。
- ・住宅環境の向上のためには公共施設の配置計画をもっともっと住民の意志を聞いて見直すべきである。例えば地区会館幼稚園の配置等
- ・市内全域で一定以上の平米数がないと戸建ができないような条例をつくって欲しい。中々難しいとは思いますが、100年後も魅力ある尼崎のまちづくりにには必要だと思います。ゆったりしたきれいな景観が広がるまちづくりを期待します。
- ・今私が住んでいる地域は住んだ時は二階建の住宅地域となっていましたが高層マンションに成って行くと3階建になり日照問題で困ります。
- ・戸建住宅地に接近した場所への高層マンション建設に対する規制（法的にクリアしていても）

○住宅供給

- ・JR立花駅周辺で3LDKなどのファミリー向け分譲マンションをさがすが、ワンルームしかなく、市外でさがすしかない。困っています
- ・分譲マンションの間取りがどれもこれも大きすぎる。1LDKのマンションや一戸建てがもっと増えて欲しい。買った家は、どんどん価値が下がるのに、賃貸は強気の値段で、足元見られている。契約の更新料も、意味不明。自転車はもちろん、バイクの場所も、もっと充実させて欲しい。停めるなど言う前に、場所を作れ

○市営住宅

- ・市営住宅を増して頂きたい ・市営住宅を増やしてほしい
- ・市営住宅を増やして下さる事を願っています ・市営住宅の単身者用をもっとふやしてほしい
- ・市営、県営住宅で単身者(寡婦)の割り当て数が少ない為、応募してもなかなか当たらない見通しです。わくを増やして欲しいです
- ・単身世帯で低所得者が入居できる市営住宅がない。はば広い地域に、つくってもらいたい。
- ・母子支援施設に入居して、施設長の推せんがあれば、市営に優先して入居させてほしい。自立したくても出ていくことができない。
- ・市営住宅に入居したいです。 ・古い低い住宅(市営)を高い住宅に変えて行く事。
- ・市営住宅が高齢化と老朽化で空室のところを沢山みかけるので今後の活用法を検討してほしい
- ・市営住宅は今後、高齢者、障害者が住めるバリアフリー(エレベーター)が必要と思います。
- ・空き家の様な市営もたくさんあるので、リフォームして住める様にしてほしい。
- ・市営住宅の家賃を上げて税金を削減、生活保護の方の住宅を市営住宅にして住ませて監視して不正を減らして下さい。(生活保護住宅を設置すればいいと思う)
- ・市営住宅を減らすなど、住宅行政の適正化が必要
- ・市営住宅の建てかえを順に行っているが、尼崎市は市営住宅の数が多すぎるのではないか、古いところは建てかえでなく市の財政のため売却すべき。

○空家対策

- ・空家の活用 ・空き家を利用し、住民が共有で使用できるようにすれば良いと思います
- ・そうでなくても空き家が多くなっているのだから、民間によりよいアイデアと実行を期待して、制度としてのバックアップにつとめるべきでは…。空き地を利用したりするのは、業者の方がアイデア、資金など、あると思うけど…
- ・所有者不明の空家の問題 ・民泊制度を簡略化して空き部屋を効率よく使いたい
- ・空屋を放置させない 活用しないなら、壊す。宅地並課税からはずす等
- ・空屋対策を進めて欲しい。 ・崩れかけの空家がよくある

○ペット対応住宅

- ・ペットOKの賃貸物件が増えてほしい
- ・1人ぐらしでペットを、とくにネコをかえるマンションがほしいです。多少高くてもかきたいです。ふえてほしい。

○住まいに係る費用

- ・高齢者施設入居の低額 収入の低い世帯では無理です ・家賃が高い。
- ・保障人なしでもっと家賃の安い住宅を作してほしい。1人ぐらしでもかんたんに入居できる所
- ・断熱性、耐震性等質の高い住宅に住みたいが、一般的な収入の世帯で尼崎市に戸建てを購入しようとすると建売住宅が予算的に精一杯である。環境に配慮、質の高い住宅に対しての補助があればいいと思う。

○治安、防犯

- ・場所によって治安の差があるように思う。駅前(阪神尼崎)での飲酒、タバコ、商店街のメイン通り以外はごみだらけで汚い。
- ・治安が悪いうさが気になる ・夜間の騒音への取り締まりを強くしてほしい
- ・尼崎は治安が悪いというイメージが強すぎる。最近は改善傾向にあると感じるが、尼崎市民以外の認識も変えていく必要があると思う。
- ・昼からスーパーの前などで、酒を飲んでいる無職の人達をどうにかして欲しい!他の地域の人に尼崎に住んでいると言うとイメージが悪い
- ・神戸市から移ってきました。自転車が多い事は納得がいきますが、無灯火運転や歩道走行など、マナーが悪すぎることに驚きました。事故がいつ起きてもおかしくない状況は危険ですよね。
- ・防犯上、宅配業者、郵便局の人…など、制服を着てると、信じてオートロックを解除したり、用もないのにエレベーター、非常階段をうろつく人が見かけるとどう対応するか考えますので、普段から住人があいさつ、声かけが常日頃、大事な事だと思います。
- ・近隣騒音に対する厳しい、罰則を設けるべき

○災害

- ・武庫川の氾濫防止、水害対策を促進して欲しいです。 ・温暖化の為河川の管理をお願いします
- ・賃貸住宅で古い建物(住居)を貸している貸主への火災、地震対策の指導を行ってほしい。

○暑さ対策

- ・西日が強く夏はクーラーがないと熱中症になる危険があるが、経済的には一日中クーラー使っている

- れない
- ・温暖化で35℃をこえる日が多いため“夏は涼しく”西日をさけたり、密集地をへらしたり、緑をふやすなど、熱中症で亡くなる方をへらして、子供も落ちつける環境づくりをしてほしい。自然にそったつくり方で、風とおし採光がよく省エネの建築方法でお金がかからず街並みがよければ人が集まってくると思います
- ・踏切、高速道路に近い場所は窓を開けない分のエアコン光熱費を補助すべきだと思います。
- ・暑さ対策として、「木カゲ」になるようなものを、増設してほしいです。

○子育て(世帯)への支援

- ・子育てしやすい環境作り ・市営以外の母子に対する助成
- ・子育て環境が充実する様な施策をお願いします。
- ・多子世帯への配慮が少ないのではないかと。食費を削ることはできず、一般的な教育を求めると住環境を下げるしかなくなる
- ・子育て世帯に対して住宅ローン等にあてられる補助金があれば助かります。子供を育てるのにはとにかくお金がかかります

○若年世帯への支援

- ・緑を大切に若い世代に住宅や子育てに支援を 若年ファミリー世帯に支援策をお願いします。
- ・若年世帯が居住し、安定した税収が確保出来るような、魅力のある街作りと各種手当の整備をお願いします
- ・商店街の活性化(若い世代との関わり方の立案)
- ・前問の3つ以外に若年世帯が尼崎へ転入。住みたいと思う環境づくりが必要。保育園など少い、私立がマンモス化、若年層が働きやすい環境づくり施策を望む。

○高齢者支援

- ・一人暮らしなので、高齢になっても家を借りることのできる制度がほしい。
- ・自分自身、独居であり、今後、介護が必要となった場合の不安がある。その際、高額な介護施設に入居する資金がない者向けの市営介護施設の充実

○生活保護

- ・生活保護は生活保護だけ集めて住ませればいい。 ・外国人の生活保護をなくして欲しい

○尼崎市の施策について

- ・ほとんど施策等について聞いた事がない。
- ・上記施策が行なわれている事実が不明。どうすれば市民、県民に知ってもらえるのか、検討すべき!アピールしなければやっていないのも同じ。
- ・「住宅、住環境に関する市や県の施策について」をあまりに知らなすぎたのでこれから住宅に関する事等相談したい事があれば利用したいと思います
- ・問21の施策について、全くというほど知りませんでした。マンションに住んでいますが、管理組合等への呼びかけはされていますか
- ・問21のような施策をされていることを全く知らなかったもので、調べてみようと思います。市民には公報されているとは思いますが、マンションの管理会社にも公報してほしいです。
- ・尼崎市の住宅・住環境に関する施策については、現状で何をしているのか、全く知りません。どのような手段で知ることが出来ますか

○情報提供

- ・市ほうを見ても民間の家の事がのってないで判からない
- ・住宅の耐震性を調べるのを阪神大震災前に立てた住宅にさせていただきたい。
- ・住宅の修理をする時、安心の店舗の紹介をお願いしたい。

○その他

- ・住宅の建て替えは、何年毎にされているのか。
- ・私道が多い地域で、問題点が多く発生し、行政に改善をお願いしているが私道故難しい。
- ・高齢者へのアンケートは考えて下さい。今はアンケートに参画できますが、将来認知が進むと、このようなアンケートは提出には協力できないと思います
- ・全く知らない状態でしたが今日を機に知る事が出来ました
- ・特になし。異動で尼崎に来ましたが住みやすいです
- ・今のところ安心して生活してます
- ・よい考えがうかびません。
- ・福祉関係にたずさわる人々へのバックアップ
- ・コミュニケーションが出て、1人でも淋しくならないような…

4) アンケート調査票

■あなたの世帯について

問1. あなたの年齢・性別をご記入ください。 ※年齢は、令和元年9月1日現在としてください。

■あなたの年齢 (歳) ■性別 ()

問2. あなたの世帯構成に○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------|----------|-----------|------------|
| 1. 一人住まい | 2. 夫婦のみ | 3. 夫婦+子ども | 4. あなた+子ども |
| 5. 夫婦(または、あなた)+その親 | 6. 三世帯同居 | 7. その他 | |

問3. あなたが現在同居している世帯の人数と年齢構成をご記入ください。

※年齢は、令和元年9月1日現在としてください。

- 同居の世帯人数(自分を含む) (人) ■年齢の内訳(自分を含む)
18歳未満(人)、18~64歳(人)、65歳以上(人)
- 18歳未満の方がおられる場合、その中で最も年下の方の就学等の状況(あてはまるひとつに○)
- | | | | |
|------------|-------------|---------|-----------------|
| 1. 未就園・未就学 | 2. 保育所・幼稚園等 | 3. 小中学校 | 4. 高校など(中学卒業済み) |
|------------|-------------|---------|-----------------|

問4. あなたが現在生計をともにしている世帯の、昨年1年間の収入の合計に○をつけてください。

※収入には、年金などを含まず。

- | | | | |
|------------|--------------|--------------|------------|
| 1. 0~200万円 | 2. 200~400万円 | 3. 400~800万円 | 4. 800万円以上 |
|------------|--------------|--------------|------------|

■あなたのお住まいについて

問5. 現在のお住まいについて、次の中から選び、○をつけてください。

※同居する親族が所有する場合は「1」または「2」を選んでください。

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. 自己所有の戸建住宅 | 2. 自己所有のマンション |
| 3. 親族所有の戸建住宅 | 4. 親族所有のマンション |
| 5. 民間賃貸住宅(戸建) | 6. 民間賃貸住宅(マンション・アパート・長屋) |
| 7. 市営住宅・県営住宅 | 8. URまたは公社の賃貸住宅 |
| 9. 社宅・寮・官舎 | 10. その他() |

問6. 現在のお住まいは、建てられてどのくらい経つものですか。○をつけてください。

- | | | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 1. 5年以内 | 2. 6~10年 | 3. 11~20年 | 4. 21~40年 | 5. 40年以上前 | 6. 不明 |
|---------|----------|-----------|-----------|-----------|-------|

問7. 現在のお住まいの広さはどの程度ですか。○をつけてください。

■延床面積(あなたの世帯の住宅の床面積の合計)

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|----------|
| 1. 25㎡未満 | 2. 25~50㎡未満 | 3. 50~80㎡未満 | 4. 80㎡以上 |
|----------|-------------|-------------|----------|

■間取り

- | | | | |
|---------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. ワンルーム・1K | 2. 1DK・1LDK・2K | 3. 2DK・2LDK・3K | 4. 3DK・3LDK・4K |
| 5. 4DK・4LDK以上 | | | |

問8. 現在のお住まいの町丁目をご記入ください。

(町名 . 丁目)

問9. 現在のお住まいから最も近い駅、駅からの距離についてお答えください。

<p>■鉄道路線名（○をつけてください）</p> <p>1. 阪急 2. JR 3. 阪神</p> <p>■駅名 （ ）</p>	<p>■駅からの距離（○をつけてください）</p> <p>1. 徒歩5分以内</p> <p>2. 徒歩5～10分程度</p> <p>3. それ以上</p>
--	---

問10. 現在のお住まいに係る「家賃（月額）」または「住宅ローン支払い（年額）」を（ ）内にご記入ください。これらの支払いがない場合は、「3. 支払いなし」に○をつけてください。

※「住宅ローン等の支払い」には、マンションの修繕積立金や管理費、借地料等も含まれます。

1. 家賃（月額・共益費を含む） （ 円/月）	2. 住宅ローン等の支払い（年額） （ 円/年）	3. 支払いなし
--	---	----------

問11. 現在のお住まいの居住期間についてお答えください。

<p>■いつから（○をつけてください）</p> <p>1. 生まれた時から住んでいる → 問14へ</p> <p>2. 市外・市内から転居してきた →</p>	<p>「2. 市外・市内から転居してきた」を選ばれた方は現在のお住まいの居住年数をご記入ください。</p> <p>（ 年）</p> <p>※1年未満の場合は0とご記入ください。</p>
--	--

問12. 現在のお住まいを選ぶにあたって、どのような条件で選ばれましたか。次のア～コの項目について、1（大変あてはまる）～5（全くあてはまらない）のうち、それぞれ1つだけ○をつけてください。

項目	1 大変 あては まる	2 やや あては まる	3 どちらとも いえない	4 あまり あてはま らない	5 全くあ てはま らない
例 住宅の広さ、間取りなどがよかったから	1	2	3	4	5
ア 住宅の広さ、間取りなどがよかったから	1	2	3	4	5
イ 住宅の価格や家賃が手ごろだったから	1	2	3	4	5
ウ 建物の外観や部屋の内装が気に入ったから	1	2	3	4	5
エ 住み慣れた地域だから	1	2	3	4	5
オ 実家や家族のそばに住みたかったから	1	2	3	4	5
カ 治安がよく、安全で安心して暮らせる場所だと思ったから	1	2	3	4	5
キ 通勤、通学、買い物、通院などに便利な場所だと思ったから	1	2	3	4	5
ク 子育てや教育環境に優れている場所だと思ったから	1	2	3	4	5
ケ 環境やまちなみが魅力的であったから	1	2	3	4	5
コ その他（ ）	1	2	3	4	5

問13. 現在のお住まいに入居する直前に住んでいた場所、住宅タイプを選び、○をつけてください。

<p>■場所</p> <p>1. 尼崎市内 2. 兵庫県内（尼崎市以外）</p> <p>3. 大阪府内 4. その他</p>	<p>「1. 尼崎市内」を選ばれた方は、町丁目をご記入ください。</p> <p>（町名 ・ 丁目）</p>
<p>■住宅タイプ</p> <p>1. 持家（戸建） 2. 持家（マンション） 3. 民間賃貸住宅（戸建）</p> <p>4. 民間賃貸住宅（マンション・アパート・長屋） 5. 市営住宅・県営住宅</p> <p>6. URまたは公社の賃貸住宅 7. 社宅・寮・官舎 8. その他（ ）</p>	

■現在のお住まい・住環境評価

問 14. 現在の「お住まい」と「住環境」について、どのように評価されていますか。次のア～タの項目について、1(満足)～5(不満)の5段階で評価し、あてはまる番号にそれぞれ1つだけ○をつけてください。 ※ 気にしていない場合は「3どちらともいえない」を選んでください。

【お住まい】

項目		1 満足	2 やや 満足	3* どちらとも いえない	4 やや 不満	5 不満
例	広さ・間取り	1	②	3	4	5
ア	広さ・間取り	1	2	3	4	5
イ	日当たり、風通し、騒音などの環境	1	2	3	4	5
ウ	建物の安全性(耐震性など災害時の心配のなさ)	1	2	3	4	5
エ	断熱性、省エネルギー性、創エネルギー機器の設置などの住宅の環境性能	1	2	3	4	5
オ	住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能	1	2	3	4	5
カ	住宅の維持にかかる手間や労力	1	2	3	4	5
キ	家賃や住宅ローンなどの支払い額	1	2	3	4	5

【住環境】

項目		1 満足	2 やや 満足	3* どちらとも いえない	4 やや 不満	5 不満
ク	災害(火災・地震・水害)などに対する安心感(避難のしやすさ、水害・津波の受けにくさなど)	1	2	3	4	5
ケ	防犯・治安に対する安心感	1	2	3	4	5
コ	外出のしやすさ、通勤・通学などの交通利便性	1	2	3	4	5
サ	買い物や福祉サービスなどの生活利便性	1	2	3	4	5
シ	子どもの教育環境	1	2	3	4	5
ス	子どもの遊び場、公園など	1	2	3	4	5
セ	地域の人とのつきあい	1	2	3	4	5
ソ	まちなみ、景観	1	2	3	4	5
タ	道路や歩道の整備などの交通安全性	1	2	3	4	5

問 15. 現在の「お住まい」に関して、将来的な不安を感じていることはありますか。

次のうち、あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 住宅ローンや家賃の支払いが続けられるか 2. 住宅そのものや設備などが古くなり、そのまま住み続けられるか 3. 住宅内や外部に段差があり、高齢となった時に住み続けられるか 4. 住宅の広さや間取りが、子どもの成長などに対応できるか 5. 住宅を維持管理、清掃などする労力が続くか 6. 居住者がいなくなった後の住宅の管理 7. 住宅を手放すときに買い手・借り手が見つかるか 8. 地域の自治会やコミュニティが続くか 9. 現在の住宅地の住みやすい環境が維持されるか 10. 地震などの災害時の安全性 11. 特に不安はない 12. その他 () |
|---|

■今後の意向

問 16. 現在のお住まいに住み続けたいと思いますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. できるだけ住み続けたい	→	問 20 へ
2. 転機がくれば引っ越したい	→	問 17 へ
3. 今の住まいや環境が気に入っていないので、できるだけ早く引っ越したい	→	問 18 へ
4. わからない		
5. その他 ()	→	問 20 へ

問 17. 【問 16 で 2 に ○ をつけた方のみ回答してください】

今後どのような「転機」に引っ越しますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 結婚	2. 出産	3. 子どもの成長	4. 子どもの就学	5. 子どもの独立
6. 自分や配偶者の高齢化	7. 親の高齢化	8. 資金が貯まったら	9. 転勤など仕事の都合	
10. いい住宅が見つかったら	11. その他 ()			

問 18. 【問 16 で 2～3 に ○ をつけた方のみ回答してください】

引っ越し先の場所と住宅の種類の希望について、お答えください。

■場所 (○をつけてください) 1. 現在の住宅の近く 2. 尼崎市内 3. 尼崎市外	■住宅の種類 (3つまで○をつけてください) 1. 新築の戸建住宅 (持家) 2. 中古の戸建住宅 (持家) 3. 新築のマンション (持家) 4. 中古のマンション (持家) 5. 高齢者向けサービスのある住宅や施設 6. 民間賃貸住宅 7. 市営住宅・県営住宅 8. URまたは公社の賃貸住宅 9. 親族の住宅 10. その他 ()
---	--

問 19. 【問 16 で 2～3 に ○ をつけた方のみ回答してください】

引っ越し先を検討するにあたって、どのような条件を重視しますか。次のア～タの項目について、重要度が1(高い)～5(低い)の5段階で評価し、それぞれ1つだけ○をつけてください。

項目		1 高い	2 やや 高い	3 どちらとも いえない	4 やや 低い	5 低い
例	広さ・間取り	1	②	3	4	5
ア	広さ・間取り	1	2	3	4	5
イ	日当たり、風通し、騒音などの環境	1	2	3	4	5
ウ	建物の安全性(耐震性など災害時の心配のなさ)	1	2	3	4	5
エ	断熱性、省エネルギー性、創エネルギー機器の設置などの住宅の環境性能	1	2	3	4	5
オ	住戸内や入口の段差解消や手すりの設置などバリアフリー性能	1	2	3	4	5
カ	住宅の維持にかかる手間や労力	1	2	3	4	5
キ	家賃や住宅ローンなどの支払い額	1	2	3	4	5
ク	災害(火災・地震・水害)などに対する安心感(避難のしやすさなど)	1	2	3	4	5
ケ	防犯・治安に対する安心感	1	2	3	4	5
コ	外出のしやすさ、通勤・通学などの交通利便性	1	2	3	4	5
サ	買い物や福祉サービスなどの生活利便性	1	2	3	4	5
シ	子どもの教育環境	1	2	3	4	5
ス	子どもの遊び場、公園など	1	2	3	4	5
セ	地域の人とのつきあい	1	2	3	4	5
ソ	まちなみ、景観	1	2	3	4	5
タ	道路や歩道の整備などの交通安全性	1	2	3	4	5

問 20. 【現在、持家（戸建・マンション）にお住まいの方のみ回答してください】

① 建替えやリフォームを考えていますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 建替えをしたいと考えている | 2. リフォームをしたいと考えている |
| 3. 今のところどちらも考えていない | |

② 【建替えまたはリフォームをしたいと考えている方のみ回答してください】

建替えやリフォームを考える上で困っていることとして、あてはまる全てに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|--------------|-----------|
| 1. 専門的なことを相談できる相手がない | 2. 手間や労力がかかる | |
| 3. 資金を確保することが困難 | 4. 特になし | 5. その他（ ） |

■住宅・住環境に関する市や県の施策について

問 21. 現在、尼崎市や兵庫県等で行っている次の施策や制度についてご存知でしょうか。次のア～コの項目について、1～4のうちあてはまる番号にそれぞれ1つだけ○をつけてください。

項目	1 利用し たこと がある	2 内容を 知って いる	3 聞いた ことが ある	4 全く知 らない
例 住宅の耐震診断、耐震改修への補助制度（市）	1	②	3	4
ア 住宅の耐震診断、耐震改修への補助制度（市）	1	2	3	4
イ 住まい・リフォームに関するセミナーの開催（市）	1	2	3	4
ウ リフォームに関する相談やアドバイザー派遣（県）	1	2	3	4
エ 空家活用アドバイザー派遣事業（市）	1	2	3	4
オ 空家エコリフォーム補助事業（市）	1	2	3	4
カ 新婚・子育てファミリー世帯向け空家改修費補助事業（市）	1	2	3	4
キ ひょうごあんしん賃貸住宅事業（県）	1	2	3	4
ク 分譲マンション共用部分へのバリアフリー化助成（市）	1	2	3	4
ケ マンション管理セミナーの開催（市）	1	2	3	4
コ 分譲マンションアドバイザー派遣事業（市）	1	2	3	4

問 22. 今後、尼崎市の住宅・住環境に関する施策として、どのようなことに重点的に取り組むべきと考えますか。次のうちから3つまで選び、○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 市営住宅の整備や維持管理の充実 |
| 2. 民間賃貸住宅で、高齢者や障がい者、外国人などが安心して入居しやすくなるための取り組み |
| 3. 住宅の耐震性の向上 |
| 4. 密集した住宅市街地の防災性向上や住環境の改善 |
| 5. 良質な空き家の有効活用の促進 |
| 6. 若年ファミリー世帯向けの住宅の供給促進 |
| 7. 環境に配慮した住宅、質の高い住宅の供給促進 |
| 8. 美しいまちなみや景観の形成支援 |
| 9. 行政による上記のような住宅・住環境に関する施策は、いずれも縮小すべき |
| 10. その他（ ） |

問 23. 尼崎市の住宅・住環境に関する施策等についてのご意見等をご記入ください。

--

